

令和7年度 社会教育委員会議 第1回定例会 次第

日時 令和7年9月10日(水) 午後6時30分～
会場 ムトスぷらざ 2階多目的ホール

1 開 会

2 あいさつ(熊谷教育長)

3 協議事項(進行:後藤座長)

- (1) 社会教育関係各課・館・所の令和6年度事業報告について 資料1
(参考資料) 令和7年度事業計画 資料2

4 教育委員会各課・館・所からの報告事項

5 今後の日程

期 日	会議等名	会 場
10月30日(木)～ 31日(金)	全国社会教育研究大会(岩手大会)	岩手県盛岡市
11月7日(金)	県社教委連絡協議会理事会(座長)	長野県庁
11月20日(木)～ 21日(金)	関東甲信越静社会教育研究大会(神奈川大会)	神奈川県横浜市
12月3日(水)	飯伊地区社会教育委員連絡協議会理事会	飯田合同庁舎
令和8年2月7日(土)	令和7年度 みらい創造教育推進フォーラム (一般参加として参加要請)	県公民館
2月13日(金)	県社教委連絡協議会理事会(座長)	長野県庁
2月15日(日)	第63回 飯田市公民館大会(来賓)	県公民館
2月中旬	社会教育委員会議 第2回定例会	市内社会教育施設
未定	飯伊社会教育委員連絡協議会 中北部ブロック研修会	大鹿村当番

6 その他

7 閉 会

社会教育関係各課・館・所の令和6年度事業報告

1 事業概要

事務事業名		小中学校キャリア教育推進事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む				
			3	“結いの心”に根ざす教育を実践し、豊かな心とリニア時代を生きる力を育む				
			2	飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
	法令・例規等							
事業目的		対象	小中学校児童生徒及び保護者、小中学校教職員、地域、事業所					
		意図	ふるさと飯田とのつながりを知り、誇りや愛着を持つとともに、ふるさと飯田に軸足を置きつつグローバルな視点・素養を持つ人材を育成する。					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・職場体験学習の実施やキャリア教育学校交付金の交付などにより、各校が実施するふるさと学習を支援しました。 ・中学生対象として、次代を担う人材を育成する「結いジュニアリーダー育成事業」や三遠南信地域の中学生との学び合いにより地元の魅力を再認識する「三遠南信中学生交流」を実施しました。 ・飯田東中学校の生徒が中心となり、りんご並木の魅力の発信や持続した維持管理のための並木サポーターの募集などの取組を支援しました。			キャリア教育推進交付金				1,452			
				キャリア教育研究委員会講師謝礼				15			
				キャリア教育バス・タクシー借上代				44			
				中学生の福祉・職場体験学習への支援				170			
				結いジュニアリーダー育成講座事業				26			
				りんご並木育成活動事業費				1,250			
				三遠南信中学生交流会事業費				677			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	小中一貫教育によるキャリア教育実施校数		校	28	28	28	28	28	28	28	28
	職場体験を受け入れる事業所数		所	280	196	200	178	200	240	280	280
	りんご並木アドバイザー委嘱人数		人			3	3	3	3	3	3
	三遠南信中学生交流会参加者		人			34	18	34	34	34	34
6年度 決算 (千円)	予算額		4,964	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		3,634	(そ) ふるさと寄附金							
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	2,700								
	一般財源		934								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	3	2	17	1	2,759	1,707	キャリア教育推進事業費
2	1	10	3	2	15	2	1,300	1,250	りんご並木育成活動事業費
3	1	10	3	2	15	3	905	677	三遠南信中学生交流事業費
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識			・市内小中学校が実施する地育力を生かしたふるさと学習を、飯田学園構想の「みらい創造科」と関連付けて支援し、各学園の特色や魅力ある学びの充実によるみらい創造教育の推進につなげていく必要があります。 ・「結いジュニアリーダー育成講座」や「三遠南信中学生交流会」は中学生が学校の枠を超えた交流を行う貴重な機会であり、今後も積極的に展開していく必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			・キャリア教育学校交付金の交付により、各学園・各小中学校のふるさと学習を支援していく必要があります。 ・「結いジュニアリーダー育成講座」や「三遠南信中学生交流会」は、目的意識を持った取組となるよう支援する必要があります。						
次年度に向けての取り組み			・学園の特色ある学びの充実に向け、学園をキャリア教育学校交付金の対象に加え支援を強化します。 ・児童生徒の将来を生き抜く力や広い視野を持つことを支援するため、「結いジュニアリーダー育成講座」、「三遠南信中学生交流会」や「職場体験」などみらい創造教育の具体的な取組を推進します。						

1 事業概要

事務事業名		地育力向上連携推進事業		会計	一般会計			
				事業区分	政策	実施区分	継続	
				開始	R2	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む				
			3	“結いの心”に根ざす教育を実践し、豊かな心とリニア時代を生きる力を育む				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
	法令・例規等		飯田市キャリア教育推進協議会設置要綱					
事業目的		対象	幼児期から高等教育期までの者、一般					
		意図	地域に誇りや愛着を持つとともに、ふるさと飯田に軸足を置きつつグローバルな視点で地域に貢献できる人材になる。地育力を活用したプログラムを展開する。					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・キャリア教育を推進するため関係機関と連携を進め、キャリア教育推進フォーラムで成果を共有しました。 ・高等学校の探究学習に地域人材を紹介するなど支援しました。また、高校生意識調査を実施しました。 ・伊那谷の自然と文化を支える人材を発掘するため、その魅力を伝えるトークイベントを実施しました。学輪 I I D A 全体会のポスターセッションに参加し、外部有識者などと意見交換し取組のアドバイスをもらいました。 ・小中学生の保護者を対象とした情報誌を発行しました。		会計年度任用職員人件費				3,353				
			地域人材育成のためのフォーラム等開催経費				99				
			伊那谷の自然と文化を支える人材育成				15				
			教育委員会情報誌 H a g u の発行				165				
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	地域人材育成に関わる会議等の開催数		回	4	4	5	14	5	14	5	12
	高校生を対象とした意識調査回数		回	1	0	1	1	1	1	1	1
	教育委員会情報誌の発行回数		回	3	3	3	3	3	3	3	2
	伊那谷の自然と文化人材育成講座参加者数		人					5	20	15	11
6年度 決算 (千円)	予算額		3,986	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		3,632	(そ) ふるさと寄附金							
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	400								
	一般財源		3,232								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	1	1	3	3,371	3,353	会計年度任用職員人件費
2	1	10	5	1	14	1	615	279	地育力向上連携推進事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識			・キャリア教育を推進するために、地域資源を生かすとともに、関係機関との連携を進めていく必要があります。 ・伊那谷の自然と文化を支える人材育成は、若年層の興味関心を惹くためのアプローチの方法を検討し、実践していく必要があります。 ・教育委員会の情報を直接保護者に届けることで、保護者の教育に関する理解を進める必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			・キャリア教育に関わる関係機関同士の情報共有が有効です。 ・伊那谷の自然と文化を支える人材育成は、外部有識者の知見の活用や学校との連携が有効です。 ・保護者が必要としている情報や教育委員会が伝えたい内容を厳選し、分かりやすい内容での情報発信に心掛けます。						
次年度に向けての取り組み			・発達段階ごとの取組をつなぐ切れ目のないキャリア教育を意識し、関係機関同士の連携と実践事例の共有を進めます。 ・伊那谷の自然と文化を支える人材育成に向け、外部有識者や高等学校における探究学習などとの連携を進めます。 ・小中学生の保護者を対象とした教育委員会情報誌H a g uを発行します。						

1 事業概要

事務事業名		平和学習・人権教育推進事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む				
			10	個性を尊重し、多様な価値観を認め合い、活動の場を広げる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
	法令・例規等		非核平和都市宣言					
		人権尊重都市宣言						
		飯田市差別の撤廃と人権の尊重に関する条例						
事業目的		対象	小中学生、高校生及び一般					
		意図	内外の戦争の惨禍の真実から平和について考え次世代に平和の大切さを語り継ぐ。人権尊重意識の高揚と多様性を認め合う社会を築こうとする心を育む。					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・飯田市平和祈念館展示・活用検討委員会を開催し、幅広い市民の意見をお聞きし、展示の考え方や資料の捉え方を整理しました。 ・飯田市平和祈念館に職員を配置し案内対応と資料整理を行いました。 ・満蒙開拓平和記念館自治体パートナー制度へ加入し運営を支援しました。 ・地区公民館を中心に人権学習会を開催しました。 ・小中学校の平和人権学習を支援し、高校生若者向けピースゼミでは能登半島地震支援・視察スタディツアーを実施しました。			平和祈念館の案内及び活用のための人件費				2,137			
				平和祈念館展示・活用検討委員会開催経費				126			
				平和祈念館の案内、活用、資料整理ほか				494			
				小中学校での平和学習支援				1,144			
				高校生若者対象の平和・人権・多文化学習支援				593			
				公民館等での人権学習支援				72			
				満蒙開拓平和記念館自治体パートナー制度協力金				250			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	満蒙記念館を活用した平和学習実施校数		校	5	8	5	7	6	9	6	9
	市平和祈念館を活用した平和学習実施校数		校			5	1	3	2	3	1
	市平和祈念館で案内を行った回数		回				13	20	55	50	29
	人権学習講座数		回	80	186	130	191	130	178	130	213
	教職員研修の実施回数		回	2	2	2	2	2	1	2	2
	高校生若者対象平和・人権・多文化学習講座参加者数		人			10	69	50	75	50	110
	飯田市平和祈念館展示・活用検討委員会の開催数		回				2	3	4	3	3
6年度 決算 (千円)	予算額		5,394	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		4,816	(県) 人権教育促進事業補助金（1／2）							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) ピースゼミ参加費							
		県支出金	32								
		地方債	0								
		その他	85								
		一般財源	4,699								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	1	1	3	2,442	2,137	会計年度任用職員人件費
2	1	10	5	1	10	5	138	72	人権教育推進事業費
3	1	10	5	1	10	6	2,814	2,607	平和学習推進事業費
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識			・戦争の歴史を風化させることなく平和の大切さを次世代に語り継いでいくため、学校教育及び社会教育の両面で平和教育を進め、飯田市平和祈念館の展示及び活用について幅広い市民の意見を聞きながら進めていく必要があります。 ・多文化共生、女性、同和、性的指向などといった、多様な人権を理解するため、学習活動に取り組んでいく必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			・飯田市平和祈念館の展示及び活用について、幅広い市民の意見を聞き、展示や活用に反映します。 ・若者、高校生、小中学生に対して、平和の大切さを次世代に語り継ぐための学習の機会を提供します。 ・公民館を中心として地域に根差した人権講座を開催します。						
次年度に向けての取り組み			・飯田市平和祈念館の展示及び活用について、幅広い市民の意見を聞き、より良い祈念館となるように検討します。 ・戦後80年にあたり特別展の開催、飯田市平和祈念館の案内、小中学校の平和学習支援、中・高校生及び若者を対象としたピースゼミを行います。また、各地区や公民館等で人権に関する講座や講演会を開催します。						

1 事業概要

事務事業名		社会教育運営事務			会計	一般会計		
					事業区分	経常	実施区分	継続
					開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
	法令・例規等		社会教育法					
事業目的		対象	市民及び社会教育関係団体					
		意図	学習環境を整えることにより、市民及び社会教育関係団体等の主体的、組織的な学習活動が活発に展開される。					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・社会教育委員会議を開催し、社会教育のあり方や課題について意見をいただき、関係者で情報共有しました。 ・教育功労者の審査、決定、表彰を行いました。 ・教育委員会共催又は後援依頼について審査及び決定により、市民の教育活動を支援し振興を図りました。 ・飯田ユネスコ協会の教育活動を支援しました。 ・愛宕蔵の適正な維持及び管理に努めました。 ・社会教育主事講習を受講し有資格者の増員を図りました。 ・結いなび I I D A の利用促進を図ってきましたが、民間による SNS の普及により、行政が運営するサイトの必要性が低下してきたため、年度末をもってサイトを閉鎖しました。			社会教育委員会議経費				367			
				教育功労者表彰経費				89			
				愛宕蔵の維持・管理費				1,234			
				社会教育主事講習				57			
				結いなび I I D A 管理運営費				660			
				社会教育事務経費				919			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	社会教育委員会議の開催数		回	3	2	3	2	3	2	4	3
	教育功労者表彰受賞者数		件	50	71	40	36	50	55	40	32
	共催・後援許可数		回	250	129	250	213	250	224	250	261
	ユネスコ協会活動支援数		回	4	1	4	4	4	4	4	4
	結いなび I I D A 閲覧者数		人		476	1,500	300	1,500	1,968	2,000	984
	結いなび I I D A 登録者数		人		239	500	263	500	265	500	277
6年度 決算 (千円)	予算額		3,532	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		3,326								
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
	一般財源		3,326								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	1	10	1	3,532	3,326	社会教育一般経費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識			・ 地域社会の大きな変化や人口減少社会を見据え、持続可能な地域づくりを実現するためには市民一人ひとりの自治意識の高揚が肝要であり、地育力を最大限に生かした主体的で組織的な学習活動を展開できる環境づくりが必要です。 ・ 時代に合わせた市民の学習活動が、展開されるように支援していく必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			・ 第2次教育振興基本計画後期の取組を基本においた、社会教育活動を展開します。 ・ 住民の主体的な活動を側面的に支援していくことが有効です。 ・ 有資格者による専門性の高い社会教育の推進体制を充実させます。						
次年度に向けての取り組み			・ 社会教育委員からの意見や提言をもとに第2次教育振興基本計画後期の取組の推進を図ります。 ・ 教育委員会による共催、後援などを通して、市民の主体的な活動を側面的に支援していきます。 ・ 職員に社会教育主事講習を受講させ、有資格者の増員を図ります。						

1 事業概要

事務事業名		科学実験教室推進事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	H11	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
	法令・例規等							
事業目的		対象	児童、生徒及び一般					
		意図	科学実験を通して、科学の楽しさや不思議さを学び、興味を持ってもらう。					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容		経費の内容						事業費(千円)		
	・ 南信州飯田おもしろ科学工房の活動を支援し、こどもや市民に科学のおもしろさ、不思議さを体験してもらうため、かざこし子どもの森公園を拠点に理科実験ミュージアムを開催しました。 ・ 出前工房や小中学校クラブ支援を通じて地域や学校へ取組の輪を広げ、科学に関する興味や関心を高めました。		理科実験ミュージアム運営事業補助金						1,050		
			その他の経費						0		
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	理科実験ミュージアム参加者数		人	2,000	2,517	2,000	2,189	2,000	3,649	2,000	5,114
	地域や学校への出前工房参加者数		人	2,000	2,112	2,000	1,976	2,000	3,387	2,000	3,799
	小中学校のクラブ支援事業参加者数		人	1,200	872	1,200	936	1,200	1,341	1,200	1,508
6年度 決算 (千円)	予算額		1,050	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		1,050								
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
		一般財源	1,050								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	1	10	4	1,050	1,050	科学実験教室推進事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識			・ 理科実験ミュージアムの実施、出前工房などの参加者が増加しており、そのニーズに対応するためにスタッフの拡充や育成が課題です。 ・ 事業を持続可能なものとするために、学校、PTA及び地域との連携・協力体制の構築が重要となります。						
上記の課題解決のための有効策			・ スタッフの拡充や育成について、学校、企業等と連携を図りながら、児童、生徒と共に行う理科実験に興味のある人材の発掘を行い、今後のおもしろ科学工房の中核となるような人材育成を支援します。 ・ 学校、PTA及び地域に対して、連携・協力することの必要性の周知を図ります。						
次年度に向けての取り組み			・ スタッフの募集について、学校や企業等へ働きかけを行い、人材の発掘、育成を支援します。 ・ ホームページの充実、チラシの配布などにより、学校、PTA及び地域が連携・協力することの必要性を周知します。 ・ こどもたちに「科学の楽しさや不思議さ」に興味を持ってもらう機会が増えるように、活動を充実させます。						

1 事業概要

事務事業名		わが家の結いタイム推進事業		会計	一般会計			
				事業区分	政策	実施区分	継続	
				開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
	法令・例規等		飯田市わが家の結いタイム推進協議会設置要綱					
事業目的		対象	幼児・小中学校児童生徒のいる家庭、地域					
		意図	家族がともに時間を過ごし、相互に成長することで生きる力を育む。基本的な生活習慣を身に付けるとともに、子供を育てる家庭の教育力を向上させる。					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・家庭教育の推進を図るため、あいさつ、会話、読書、お手伝いの4つの取組を柱においた「わが家の結いタイム」の啓発活動に取り組みました。 ・三行詩コンクールに取り組み、家族のふれあいの大切さを呼びかけました。 ・わが家の結いタイム推進協議会や関係課による情報交換の場で家庭教育の推進について協議し、各団体等の取組への反映を図りました。 ・パートナー企業認定制度を周知し、企業のワークライフバランス活動とわが家の結いタイムの取組の相乗効果によって働く世代の家族のふれあいが広がるよう取り組みました。		三行詩コンクール等による意識啓発				91				
		その他の経費				0					
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	保・小・中学校・企業への意識啓発回数		回	21	21	25	24	25	25	25	24
	取組事例集を活用した保育園・学校数		園・校			20	19	20	16	20	16
	啓発活動に取り組んでもらえた企業数		社			3	3	10	7	20	11
6年度 決算 (千円)	予算額		148	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		91								
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
		一般財源	91								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	1	10	7	148	91	家庭教育推進事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識			・わが家の結いタイム4つの柱（あいさつ・会話・お手伝い・読書）について学校・地域・家庭が連携し、その必要性を啓発することが求められます。 ・家庭におけるこどもとのコミュニケーション(会話やお手伝い等)を進めるには職場の理解や協力を得ることが必要です。 ・仕事と家庭との調和がとれた生活が送れるよう企業に啓発していくことが必要です。						
上記の課題解決のための有効策			・社会構造の変化に伴い、画一的な取組から時代に合った取組に啓発活動を柔軟に展開していく必要があります。 ・家庭以外の子育て世代へのアプローチとして、企業におけるワークライフバランスの取組との連携が有効です。						
次年度に向けての取り組み			・結いの日や推進月間を通じた啓発活動を柔軟に展開し、また身近で親しみやすい三行詩コンクールの取組を進めます。 ・企業におけるワークライフバランスの取組と連携し、パートナー企業認定制度の推進を図り、賛同いただく企業を増やします。						

1 事業概要

事務事業名		青少年育成事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策		実施区分	継続
					開始			終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画								
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画						
	法令・例規等		飯田市青少年問題協議会条例						
			飯田市青少年育成センター設置要綱						
事業目的		対象	小・中・高校生及びその家庭、地域						
		意図	多様な人との交流や様々な体験を通して健全な心を育む。青少年にとってよりよい社会環境の整備を図り、地域社会全体で健全育成を推進する。						

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容					事業費(千円)		
	・地域外のこどもたちとの交流や体験を通じ、ふるさつを見つめなおす機会として、伊勢市との小学生交流会を実施しました。 ・地域内のこどもたちの交流促進と市全体の子育て意識を育むために、飯田子どもまつりを共催しました。 ・青少年育成センターを運営し、青少年を健全に育む環境づくりについて協議しました。 ・重大な問題もなく青少年問題協議会は開催しませんでした。			伊勢市との小学生交流					615		
				飯田子どもまつり共催負担金等					150		
				青少年育成センターの運営					60		
			その他の経費					0			
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	伊勢市との交流飯田市参加児童数		人	24	27	30	0	30	21	30	20
	飯田子どもまつり参加者数		人	450	93	100	742	400	713	700	1,024
	青少年健全育成に関する啓発・研修回数		回	5	5	5	3	5	3	5	3
6年度 決算 (千円)	予算額		1,260	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		825								
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
	一般財源		825								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	2	10	1	964	765	青少年健全育成事業費
2	1	10	5	2	10	2	296	60	青少年育成センター事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識			・伊勢市との小学生交流は安全面や体験内容に配慮すべき課題があり、対面での交流から市民の主体的な学びの支援に切り替えていく必要があります。 ・いじめなどがSNS上の大人の目が届きにくい場所で行われ、トラブルに巻き込まれるケースがあります。						
上記の課題解決のための有効策			・今までの伊勢市との小学生交流の歴史や成果を総括し、伊勢市と連携して新たな取組を進めます。 ・自然体験を始めとする様々な体験機会を市民団体と協働して提供していきます。 ・青少年を取り巻く現状把握に努め、関係者で情報を共有しながら今後の活動を検討します。						
次年度に向けての取り組み			・伊勢市に関する市民の主体的な学びを支援するため、中央図書館での展示紹介や学校等の授業等の支援に取り組みます。 ・地域内のこどもたちの交流や親子での体験の機会を提供するために、飯田子どもまつりを共催します。 ・青少年育成センターを運営し、青少年を健全に育む環境づくりに取り組みます。						

1 事業概要

事務事業名		文化・スポーツ活動の体制整備事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	R5	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	5	文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市スポーツ推進計画					
	法令・例規等		社会教育法					
		スポーツ基本法						
事業目的		対象	小中学生、保護者、学校、文化芸術・スポーツ活動団体					
		意図	小中学生が、地域の中で主体的に文化芸術・スポーツ活動ができる環境を、学校・保護者・地域が一体となって整備する。					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・部活動の地域クラブ活動への移行に向け、支援コーディネーターを増員したなか、推進計画を策定しR 8年度末までの休日部活動の地域クラブ活動への移行目標の共有とそれに伴う課題についての協議推進体制の強化を図りました。 ・部活動の拠点校方式等の本格導入により、生徒の活動機会の確保に努めました。また、部活動指導員を配置し指導者を確保するとともに、指導の質の向上を図るための研修会を開催しました。 ・全市型競技別スポーツスクールや文化講座を開催し、中学生が様々な活動を体験できる機会を提供しました。			コーディネーター人件費				5,311			
				連携協議会等体制整備				452			
				指導者育成研修会・意識啓発等				198			
				スポーツスクール・文化講座等の開催				1,757			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	全市型競技別スポーツスクールの種目数		講座		15	16	16	16	15	15	15
	全市型競技別スポーツスクール延べ参加者数		人		797	1,400	1,429	1,500	1,537	1,500	1,306
	文化スクール等の講座数		講座					15	25	15	19
	文化スクール等延べ参加者数		人					200	115	200	97
	協議会の開催数		回					3	9	3	5
	保護者や地域への説明・懇談会等の開催数		回					9	48	9	113
	指導者研修会の開催数		回					3	5	5	5
6年度 決算 (千円)	予算額		10,911	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		7,718	(県) 部活動の地域クラブ活動への移行に向けた実証事業委託金（10／10）							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 文化系講座参加料 7千円							
		県支出金	4,464	(そ) ふるさと寄付金 100千円							
		地方債	0								
		その他	107								
		一般財源	3,147								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	1	1	3	6,467	5,311	会計年度任用職員人件費
2	1	10	6	1	11	12	4,444	2,407	文化・スポーツ活動体制整備事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識			・生涯にわたって主体的に文化芸術やスポーツ活動に親しむ心を育む土台となる小中学生期において、学校と地域クラブが連携して、生徒のニーズに応じた様々な活動機会を提供することが求められています。 ・当事者や関係者への理解を促すために今後も適切な方法で情報提供、説明会を実施するとともに、部活動が抱える課題を共有し、その解決に向けた取組を丁寧に進めていく必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			・国の補助制度を活用したコーディネーターの配置、指導者の育成、連携協議会等各分野関係者との課題解決に向けた協議を継続して実施します。 ・児童生徒やその保護者の理解をより深めていくために継続的に丁寧な説明の機会を設けるよう計画します。						
次年度に向けての取り組み			・部活動の地域クラブ移行に向け、公認地域クラブ設立のための認定要件の整備及び設立に向けた財政支援等を実施し、体制の整備に取り組みます。 ・児童生徒、保護者、地域指導者に理解を深めてもらえるよう、移行段階における取組やスケジュールなどを発信します。						

1 事業概要

事務事業名		競技スポーツ振興支援事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	5	文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市スポーツ推進計画					
	法令・例規等		スポーツ基本法					
事業目的		対象	市民					
		意図	競技スポーツ団体の活動や指導者育成を支援し、生涯にわたって継続的に競技スポーツに親しむ人口を増やす。全国的に活躍する選手を応援し、競技スポーツへの関心を高める。					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・中央道沿線都市親善スポーツ大会や駅伝大会など飯田市スポーツ協会が主催する大会や加盟団体が実施する各種教室や大会を支援し、県内外の幅広い年代の競技者との交流の促進や競技スポーツの普及及び競技力の向上に取組みました。 ・子どもたちが各種競技の一流プレーに触れる機会を提供し、競技スポーツへの関心を高めました。 ・指導者の資格取得など競技団体の活動や指導者の確保、育成の取組を支援しました。 ・全国規模の大会へ出場する選手の活躍を激励し、市ウェブサイト等で発信することにより、市民の競技スポーツへの関心を高めることに努めました。			飯田市スポーツ協会運営支援				7,500			
				中央道沿線都市親善スポーツ大会				144			
				市町村対抗駅伝競走大会				76			
				長野県縦断駅伝競走大会				80			
				競技スポーツ振興事業				485			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	指導者養成講座・実践機会の実施回数		回	5	5	5	2	5	2	5	2
	飯田市スポーツ協会関係事業への参加者数		人	190,000	96,169	190,000	108,574	190,000	113,190	190,000	123,460
	スポーツ大会等の開催数		大会	14	0	14	6	14	14	14	14
	飯田市スポーツ協会加盟団体		団体数	22	22	22	22	22	22	22	22
	H P等による情報発信の回数		回					12	13	12	14
6年度 決算 (千円)	予算額		8,431	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		8,285	(そ) 指導者養成講座等参加料							
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	10								
		一般財源	8,275								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	1	11	1	931	785	スポーツ事業費
2	1	10	6	1	11	7	7,500	7,500	飯田市スポーツ協会運営支援事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識			飯田市スポーツ協会の各競技団体を中心に、各種大会や教室を実施していますが、競技者の減少や指導者の育成は課題であり、生涯にわたってスポーツに親しむ競技人口の拡大に取り組む必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			競技人口の拡大やスポーツの楽しさを伝える指導者の育成を進めるために、引き続き飯田市スポーツ協会や各競技団体の活動を支援します。						
次年度に向けての取り組み			・競技力の向上、普及、指導者の育成に取り組む飯田市スポーツ協会の運営を支援するとともに、協会や民間スポーツクラブ等と連携して、ゲーム観戦や体験会等を実施し、一流のプレーに触れる機会を提供します。 ・全国規模の大会に出場する地元選手や団体を激励金等によりその活躍を応援し、選手の意欲を高められるよう努めます。						

1 事業概要

事務事業名		市民スポーツ推進事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	5	文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市スポーツ推進計画					
	法令・例規等		スポーツ基本法					
			飯田市スポーツ推進委員設置規則					
			飯田市スポーツ推進審議会条例					
事業目的		対象	市民					
		意図	様々なスポーツ機会の提供により、日常生活への運動習慣の定着とスポーツを通じたコミュニティの形成をめざす。運動好きの子どもを育むことで、生涯スポーツの基礎を築く。					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・スポーツ推進委員と連携して、ポッチャの体験会をはじめとするニュースポーツの普及に取り組み、市民が気軽に取 組めるスポーツ活動の習慣化を目指しました。 ・飯田やまびこマーチや風越山トレイルマラソン大会を開催し、多くの市民に参加いただくとともに、県内外へ飯田市を 広くPRしました。 ・こどもの運動能力の向上を目指し、園児や児童を対象とし たコーディネーショントレーニング教室を開催しました。 ・運動・スポーツに関するアンケート調査や現計画の振り返 りを基に、第3次飯田市スポーツ推進計画を策定しました。			スポーツ推進委員活動				1,397			
				市民スポーツ推進経費				1,187			
				飯田やまびこマーチ開催				2,370			
				風越山トレイルマラソン大会開催				2,000			
				コーディネーショントレーニング教室開催				182			
				スポーツ推進審議会、推進計画策定				128			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	スポーツ推進委員の活動回数（全市会議、研修・講習会指導）		回	100	67	100	74	100	70	100	80
	スポーツ推進審議会開催回数		回	2	2	2	1	2	2	4	4
	飯田やまびこマーチの市民参加者数		回	1,000	468	1,000	406	1,000	728	1,000	1,114
	風越山トレイルマラソン大会の市民参加者数		人	350	0	350	157	350	179	350	212
	コーディネーショントレーニング等開催回数		人	24	23	24	22	24	18	24	24
6年度 決算 (千円)	予算額		7,615	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		7,264	(そ) スポーツ振興くじ助成金							
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	1,144								
		一般財源	6,120								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	1	11	5	3,245	2,894	生涯スポーツ推進事業費
2	1	10	6	1	11	6	2,370	2,370	やまびこマーチ開催事業費
3	1	10	6	1	11	8	2,000	2,000	風越山トレイルマラソン大会開催事業費
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識			・市内各地区でニュースポーツを中心としたコミュニティスポーツが普及しつつある状況を維持向上できるよう、スポーツ推進委員と公民館との連携強化を維持向上していく必要があります。 ・運動習慣の定着を目指すために、各世代の状況や志向に合わせた運動やイベントなどスポーツに関わる機会を継続して提供していく必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			・日常的な運動習慣の定着に向けて、ウォーキングやニュースポーツ等誰もが取り組みやすい運動機会の提供に努めるとともに、生涯にわたってスポーツに触れる習慣を身につけるために、ニュースポーツの普及に努めます。 ・保育士、小学校教師向けの研修会を実施し、トレーニングを日常の中で実践できる人材の育成に努めます。						
次年度に向けての取り組み			第3次飯田市スポーツ推進計画に基づき、飯田やまびこマーチや風越山トレイルマラソン大会など、スポーツに親しむ機会を提供するとともに、各地区においてスポーツ推進委員と地域の連携を強化し、ウォーキングやニュースポーツの普及に努めます。また、こどもの体力・運動能力向上のため、幼少期の体幹トレーニング等の指導者研修会を実施します。						

1 事業概要

事務事業名		体育施設等維持管理・整備事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	S47	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	5	文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる				
			12	災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る				
	分野別計画			飯田市教育振興基本計画				
				飯田市スポーツ推進計画				
				飯田市教育委員会施設等総合管理計画				
	法令・例規等			長野県都市公園条例				
				飯田市体育施設条例及び体育施設条例施行規則ほか関係条例				
事業目的		対象	社会体育施設（施設数：44）学校開放施設（施設数：56）					
		意図	利用者が安全で良好な施設環境において、利用できる施設となるよう整備及び利便性を考えた管理運営を行います。					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・教育委員会施設等総合管理計画に基づき、山田体育館屋根改修、運動公園プールスライダー補修・ろ過機更新、トイレ改修9施設、総合運動場照明整備、体育館2施設の照明LED改修を実施しました。 ・子育て世代が利用しやすい環境を整備するため、アクアパークIIDAの25mプールに水深調整用のフロアを設置しました。 ・総合運動場の第2種公認を更新するため、改修工事を実施したほか必要な備品等を整備しました。 ・施設の劣化状況調査に着手しました（R6→7）。			体育施設管理人・事務補助人件費				40,972			
				指定管理料				45,400			
				体育施設維持管理経費				85,537			
				陸上競技場第2種公認更新				20,013			
				公共予約システムの整備・運用経費				2,112			
				予防保全のための施設改修（屋根外壁改修費ほか）				102,938			
				環境改善のための施設改修（照明LED化、トイレ改修）				237,901			
				アクアパークIIDAプール環境整備（プールフロア）				7,700			
				劣化状況調査業務委託				0			
その他の経費				13,960							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	社会体育施設年間利用者数		人	410,000	322,814	410,000	406,974	410,000	438,243	410,000	448,600
	学校開放体育施設年間利用者数		人	430,000	265,096	430,000	269,541	430,000	345,054	300,000	355,526
	勤労青少年ホーム年間利用者数		人	8,300	5,592	8,300	2,457	8,300	2,772	8,300	2,451
	予防保全のための施設改修		件							3	3
	環境改善のための施設改修		件							12	12
6年度 決算 (千円)	予算額		571,705	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		556,533	（国）地域脱炭素移行・再エネ推進交付金、（県）飯田運動公園管理委託金、（地）公共施設等適正管理推進（充当率90％）96,700千円、（地）緊急防災・減災（充当率100％）159,900千円、（地）脱炭素化推進（充当率90％）31,000千円、（地）一般補助施設（充当率75％）7,000千円、（そ）体育施設等使用料10,976千円、（そ）体育施設雑入4,090千円、（そ）スポーツ振興くじ助成金2,364千円、6→7繰越明許費2,276千円							
	財源の 状況	国庫支出金	18,898								
		県支出金	17,852								
		地方債	294,600								
		その他	17,430								
		一般財源	207,753								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	2	1	3	41,881	40,972	会計年度任用職員人件費
2	1	10	6	2	10	1	142,404	140,991	体育施設管理費
3	1	10	6	2	11	3	238,347	229,283	体育施設改修費
4	1	10	6	3	10	1	13,573	12,036	社会体育学校開放管理費
5	1	10	6	3	11	1	32,000	29,920	社会体育学校開放施設整備費（補助）
6	1	10	6	3	11	2	103,500	103,331	社会体育学校開放施設整備費（単独）
7									
振り返り課題認識			多くの施設等で老朽化が進んでいるため修繕や更新を進めています。安全な利用環境を提供するために日常的な施設点検と維持管理が必要です。また、応急避難施設の環境改善を含め、日々の管理と劣化度を踏まえ計画に沿って改修を進めていく必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			施設管理人による日常点検や専門業者による定期保守点検により、施設の不具合箇所を把握し、修繕などにより施設の機能を維持します。起債等を活用し計画的に改修を進めます。緊急性と必要性を考慮し、利用者の安全性を最優先に施設の維持管理に取り組みます。						
次年度に向けての取り組み			施設の適切な維持管理と教育委員会施設等総合管理計画等に基づき、照明のLED化やトイレの洋式化等の改修を計画的に進め、施設の長寿命化と環境改善を進めます。オンライン予約システムの利用促進を図るため、利便性が向上するよう受付窓口等で周知・支援に取り組みます。多目的運動場の芝生化について、関係者と協議を進めます。						

1 事業概要

事務事業名		文化財保護事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策		実施区分	継続
					開始			終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			名勝天龍峡保存管理計画						
			考古博物館活用基本方針						
	法令・例規等		文化財保護法、長野県文化財保護条例						
			飯田市文化財保護条例・同施行規則、飯田市文化財保護事業補助金交付要綱、文化財関連施設の設置条例・規則						
		飯田市美術博物館条例・同施行規則							
事業目的		対象	地域資源（自然・文化・歴史）、指定文化財（遠山の霜月祭・名勝天龍峡等）、文化財関連施設						
		意図	地域を特徴づける自然・歴史・文化資源を文化財に指定し、良好な状況で保ち後世に伝えとともに、活用することで、地域づくり・人づくりにつなげます。						

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・ 鳩ヶ嶺八幡宮随神門、長石寺本堂修理、毛賀くよとのシダレザクラ、畦地1号古墳、高岡第1号古墳環境整備、南本城城跡の遊歩道復旧事業への補助金交付のほか、ユネスコ無形文化遺産登録を目指す霜月祭保存会の活動を支援しました。 ・ 旧小笠原家書院建築400周年記念事業に参画し、学習会等の事業を支援しました。 ・ 旧飯田測候所の指定管理者の選定を進め、指定しました。 ・ 旧小笠原家書院と資料館、北田遺跡公園は指定管理とし、他の文化財関連施設は随時必要な修繕を実施しました。 ・ 考古博物館事業で、新たなワークショップとして「古代の鏡づくり」を開催しました。			文化財資産化事業経費				38			
				名勝天龍峡活用事業経費				4			
				旧小笠原家書院・小笠原資料館指定管理料（三穂まちづくり委員会）				3,016			
				北田遺跡公園指定管理料（上久堅地区まちづくり委員会）				370			
				指定文化財・文化財関連施設等管理運営経費				24,096			
				文化財保護事業補助金（霜月祭後継者育成）				560			
				所有者等が行う保護事業への補助金				2,715			
				考古博物館管理運営経費				14,355			
会計年度任用職員				3,506							
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	指定等文化財の数		件	190	190	191	191	191	192	192	192
	名勝天龍峡に関わる学習会等の開催数		回	5	4	5	4	5	4	5	2
	指定文化財の学習会等の開催数		回	2	1	2	1	2	4	2	5
	指定文化財や文化財施設等の情報発信数		回	85	60	85	76	85	55	85	65
	遠山の霜月祭に関する学習会や支援回数		回	5	4	5	3	5	3	5	5
	地域における文化財や関連施設の活用数		回	37	38	37	43	37	54	38	58
	旧小笠原家書院・小笠原資料館入館者数		人	2,260	731	1,500	967	1,500	1,366	2,000	1,893
	北田遺跡公園を活用した地域イベントへの参加人数		人	1,100	30	1,100	240	1,100	204	1,100	900
6年度 決算 (千円)	予算額		52,558	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		48,660	(地) 脱炭素化推進（充当率90%）							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 旧飯田測候所使用料 6千円 (そ) ふるさと基金繰入金 1,500千円							
		県支出金	0	(そ) 土地貸付料 25千円 (そ) 文化財保護活用課雑入 188千円							
		地方債	12,100	(そ) 考古博物館観覧料 201千円 (そ) 考古博物館施設使用料 2千円							
		その他	19,802	(そ) 諸収入 80千円 (そ) ふるさと寄附金 17,800千円							
		一般財源	16,758	6→7 繰越明許費 300千円							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	3	10	1	30,225	27,524	文化財管理事業費
2	1	10	5	3	10	3	3,320	3,275	文化財保護事業補助金
3	1	10	5	3	1	3	4,355	3,506	会計年度任用職員人件費
4	1	10	5	6	12	1	14,658	14,355	考古博物館管理運営事業費
5									
6									
7									
振返り課題認識			・ 地域や保存団体等が行う文化財の保存活用に対する取組に対し、継続的に支援していく必要があります。 ・ 地域に所在する文化財を多くの人に知ってもらうため、その価値や魅力を伝える取組を継続していく必要があります。 ・ 市民へ考古資料や埋蔵文化財についてもっと分かりやすく伝えることができるよう、考古博物館での常設展示やロビー展示、ワークショップの内容を検討していく必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			・ 地域や保存団体等と取組に関する情報を共有し、内容や緊急性等をふまえた支援の検討をします。 ・ 文化財に関する情報発信、地域や学校と連携した学習会等の内容について検討します。 ・ 考古博物館の来館者やワークショップ等の参加者によるアンケート等で感想を確認します。						
次年度に向けての取り組み			・ 地域や保存団体等が行う文化財の保存継承、活用等の取組について、支援します。 ・ 文化財情報を市ウェブサイト等で発信すると共に、地域と連携したガイド育成や学校等が行う学習会を支援します。 ・ 考古博物館でのロビー展示やワークショップの開催、常設展示の一部展示替え等の検討を進めていきます。						

1 事業概要

事務事業名		埋蔵文化財調査事業			会計	一般会計			
					事業区分	経常		実施区分	継続
					開始			終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			考古博物館活用基本方針						
	法令・例規等		文化財保護法						
		飯田市埋蔵文化財事前調査取扱要綱							
事業目的		対象	埋蔵文化財包蔵地						
		意図	国・県・市・個人及び民間事業者の土木工事等において、適切な保護措置を講じます。						

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	文化財保護法第93,94条に基づく届出による埋蔵文化財発掘調査や見学会等を以下のとおり行いました。 ・個人住宅、民間開発等の調査9件（上溝遺跡 大休遺跡 水城遺跡 八幡町遺跡 切石遺跡 矢剣遺跡 権現堂前遺跡 宮崎下遺跡 小伝馬町遺跡） ・リニア関連事業調査1件（ママ下遺跡） ・市事業に係る調査報告書1件（松尾城遺跡） ・ママ下遺跡の現地見学会で調査成果を公開しました。 ・考古博物館ロビーで、ママ下遺跡や市内遺跡出土の遺物をテーマにした展示を行いました。			個人住宅建設・民間開発に係る調査経費				1,836			
				市事業に係る調査経費				8,097			
				会計年度任用職員人件費				18,741			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	埋蔵文化財包蔵地の相談・照会件数		件	300	384	340	376	340	420	340	536
	文化財保護法に基づく届出等件数		件	280	291	280	272	280	255	280	301
	保護措置（立会調査）実施件数		件	260	187	260	155	200	134	200	117
	記録保存された埋蔵文化財包蔵地		件	10	7	10	15	10	9	10	10
	発掘調査報告書の累計数		件	315	315	316	316	317	318	320	319
	保護措置が円滑に行われなかった数		件	0	1	0	0	0	0	0	0
6年度 決算 (千円)	予算額		45,117	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		28,674	(国) 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（1／2）							
	財源の 状況	国庫支出金	1,845	(そ) 埋蔵文化財調査受託事業費収入（市受託）							
		県支出金	0	6→7 繰越明許費 13,150千円							
		地方債	0								
		その他	17,150								
		一般財源	9,679								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	3	11	1	2,846	1,836	埋蔵文化財調査事業費（補助）
2	1	10	5	3	12	1	2,665	2,017	埋蔵文化財調査事業費（単独）
3	1	10	5	3	13	2	0	0	埋蔵文化財調査事業費（県）
4	1	10	5	3	13	3	12,179	6,080	埋蔵文化財調査事業費（その他）
5	1	10	5	3	1	3	27,427	18,741	会計年度任用職員人件費
6									
7									
振返り課題認識			・ リニア関連事業が進み、埋蔵文化財を適切に保護するための発掘調査等に係る調整事業が増えています。 ・ 発掘調査や埋蔵文化財について市民の関心は高く、その成果や内容等を知っていただく機会を設ける必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			・ リニア関連事業については、関係機関との調整会議を随時開催し、各種事業の進捗状況の情報を共有します。 ・ 発掘調査が終了した遺跡は、調査成果を整理して記録保存するとともに、その内容を公開します。						
次年度に向けての取り組み			・ リニア関連事業は、関係機関と調整会議や保護協議を随時行い、保護措置に漏れないようにします。 ・ 発掘調査の成果は現地見学会の開催や考古博物館での展示、発掘調査報告書を通じて市民へ公開していきます。						

1 事業概要

事務事業名		飯田古墳群保存活用事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	H20	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			史跡飯田古墳群保存活用計画					
			考古博物館活用基本方針					
	法令・例規等		文化財保護法					
			長野県文化財保護条例					
			飯田市文化財保護条例・同施行規則					
事業目的		対象	国史跡指定された古墳等、保存活用すべきとした古墳					
		意図	全国に誇れる地域資産として後世に伝えていくとともに、活用することで、地域づくり・人づくりにつなげます。					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・御猿堂古墳（竜丘）の範囲確認調査を実施し、その成果を地区の文化祭等で発表しました。 ・地域や保存団体と連携して、高岡第1号古墳、大塚古墳、塚原二子塚古墳、馬背塚古墳等の環境整備を行いました。 ・下久堅、竜丘、松尾小学校等の古墳見学や、古墳に関する学習活動を支援しました。 ・地域の古墳探訪ツアーや学習会の活動を支援しました。 ・「いいだの古墳探検隊」を企画し、市民に飯田の古墳の価値を知ってもらえるよう、博物館と古墳を案内しました。 ・長野県宝「金銅装眉庇付冑」を美術博物館から移管し、考古博物館で展示しました。			発掘調査に係る経費				499			
				会計年度任用職員				501			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	範囲確認調査報告書に記載する古墳の数		基	1	1	2	2	1	1	1	1
	地域との連携による保護活動等の実施		回	10	3	10	5	10	5	10	5
	市内外への情報発信		回	6	9	6	8	10	21	10	20
	観光部局と連携した活用の取り組み		回	1	1	1	1	2	2	2	2
	学習会活動支援回数		回	12	6	12	8	12	10	12	13
6年度 決算 (千円)	予算額		1,500	特定財源内訳及び補足事項 (国) 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（1／2）							
	決算額		1,000								
	財源の 状況	国庫支出金	500								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
		一般財源	500								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	3	11	3	999	499	飯田古墳群保存活用事業費
2	1	10	5	3	1	3	501	501	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		飯田古墳群を適切に保存管理するために、多くの市民にその魅力や価値を知ってもらう必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		・ 飯田古墳群の確認調査を計画的に行い、その成果を公開し、普及活動につなげていきます。 ・ 飯田古墳群のガイダンス施設として、考古博物館の展示内容等を充実させていきます。 ・ 地域や保存団体と連携して古墳の活用を進め、その魅力や価値を伝えていきます。							
次年度に向けての取り組み		・ 範囲確認調査が完了していない古墳の実態を把握するため、御猿堂古墳（竜丘）の確認調査を実施します。 ・ 飯田古墳群の価値を高めるため、出土遺物について整理し、文化財指定に向けた取組を進めます。 ・ 考古博物館での展示やワークショップ等の活動を通じて飯田古墳群の情報を発信していきます。							

1 事業概要

事務事業名		恒川遺跡群保存活用事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	H13	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			史跡恒川官衙遺跡保存活用計画・史跡恒川官衙遺跡整備基本計画					
			考古博物館活用基本方針					
	法令・例規等		文化財保護法					
			長野県文化財保護条例					
			飯田市文化財保護条例・同施行規則					
事業目的		対象	国史跡指定地を含む恒川遺跡群					
		意図	恒川遺跡群の実態解明に向け調査・研究を進めるとともに、学習交流の拠点となる史跡公園を整備し、適切に保存活用を行うことで地域づくり・人づくりにつなげます。					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・ 史跡専門委員会、地域と構成する整備推進会議を経て、ガイダンス施設工事と展示実施設計を策定しました。 ・ 史跡恒川官衙遺跡・恒川遺跡群（正倉院エリア編）の発掘調査の成果をまとめる整理作業を実施し調査報告書を作成しました。 ・ 座光寺地域での史跡や公園への理解と関心が高まるようにガイダンス施設での展示内容の学習会やイメージＣＧを利用した恒川古代ツアーを実施しました。 ・ 史跡公園清水エリアの環境整備を地区と協働して行い、その他の未整備エリアも適切に維持管理しました。 ・ 浪漫の郷座光寺案内人の会の活動を支援しました。		恒川官衙遺跡専門委員会等経費				180				
			史跡公園整備費（委託料、工事費）				189,500				
			史跡整備に伴う発掘調査経費				2,905				
			史跡公園事業用地管理経費				3,180				
			会計年度任用職員				3,655				
		その他の経費				0					
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	整備進捗率累計（整備面積A＝2.16h a）		%	11.1	7	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.6
	整備・管理等における地域との協働回数		件	3	5	3	9	10	11	10	10
	史跡公園事業地の発掘調査進捗率		%	67.2	70	100	100	100	100	100	100
	情報発信回数		回	24	4	24	13	24	13	24	16
	史跡・発掘調査見学者数		人	160	100	160	314	160	70	160	360
	学習支援回数		回	3	4	5	6	5	5	5	6
	専門委員会の開催数		回	0	0	1	1	2	2	2	2
6年度 決算 (千円)	予算額		208,372	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		199,420	(国) 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（1／2）							
	財源の 状況	国庫支出金	51,137	(県) 文化財保護事業補助金（3／100）							
		県支出金	500	(地) 一般補助施設（充当率90％）44,100千円							
		地方債	107,900	(地) 一般単独（充当率75％）63,800千円							
		その他	0								
		一般財源	39,883								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	3	14	1	192,365	185,649	恒川遺跡群保存活用事業費（補助）
2	1	10	5	3	14	2	11,062	10,116	恒川遺跡群保存活用事業費（単独）
3	1	10	5	3	1	3	2,870	1,715	会計年度任用職員人件費（補助分）
4	1	10	5	3	1	3	2,075	1,940	会計年度任用職員人件費（単独分）
5									
6									
7									
振返り課題認識		・ 恒川官衙遺跡及び公園整備を多くの方々に知ってもらえるよう、史跡の価値や魅力の発信を強化する必要があります。 ・ 恒川官衙遺跡について、関心をもち、案内することができる人材を継続的に育成していく必要があります。 ・ 恒川史跡公園の運営管理等について、地域と具体的な内容を検討していく必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		・ 恒川官衙遺跡の価値や魅力を広く伝えるため、ガイダンス施設や公園の整備を継続的に進めていきます。 ・ 遺跡や公園整備について、多くの方々に知ってもらえるような機会の設定や発信を継続的に進めます。 ・ 遺跡を案内できる人材育成や公園の運営管理について、地域と継続的に検討を進めていきます。							
次年度に向けての取り組み		・ ガイダンス施設内の展示について、地域や外部有識者と検討して展示製作業務を進めていきます。 ・ 正倉院エリアの発掘調査報告書を参考に、当エリアの整備方針を整理します。 ・ 地域の保存団体と連携し、人材育成に向けた学習会等の開催や公園の運営管理の体制について検討をさらに進めます。							

1 事業概要

事務事業名		公民館維持管理事業			会計	一般会計		
					事業区分	経常	実施区分	継続
					開始	S29	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
	法令・例規等		社会教育法					
			飯田市公民館条例					
			建築基準法、消防法等の施設保全上の関係法令					
事業目的		対象	公民館施設及びその利用者					
		意図	施設の適正な維持管理により、市民へ安全安心で快適な学習環境を提供して社会教育の振興に努める					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容						事業費(千円)	
	・施設利用者が、安全安心、快適な環境で社会教育活動に取り組めるよう、公民館設備の法定検査、日常点検などを通じて、施設の維持管理に努めました。 ・公民館利用予約の利便性向上のために、施設予約システムの利用促進に努めました。			光熱水費、燃料費						49,574	
				消耗品費						2,774	
				修繕料						7,236	
				施設設備保守委託料等						52,649	
				施設敷地借地料						10,364	
				施設設備等借上料						36,000	
				共用管理負担金						7,774	
				施設改修工事費						6,503	
				会計年度任用職員						32,829	
その他の経費						16,398					
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	公民館利用回数		回	35,000	25,213	35,000	31,755	35,000	34,831	35,000	35,782
	公民館利用者数		人	620,000	349,107	620,000	422,343	620,000	596,774	620,000	544,559
6年度 決算 (千円)	予算額		239,858	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		222,101	(地) 公共施設等適正管理推進（充当率90％） 1,100千円							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(地) 脱炭素化推進（充当率90％） 2,000千円							
		県支出金	0	(そ) 公共物占用料 59千円							
		地方債	3,100	(そ) 飯田市公民館使用料 1,456千円、（そ）地区公民館使用料 6,721千円							
		その他	9,686	(そ) 諸収入 1,450千円							
		一般財源	209,315	6→7 繰越明許費 9,075千円							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	10	1	205,117	189,272	公民館管理・運営費
2	1	10	5	4	1	3	34,741	32,829	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識			飯田市公民館がムトスぶらぎへ移転し3年が経過した中で、引き続き利用者層やニーズの変化、利用者目線を大切にしたい対応が重要です。また、各公民館施設の老朽化が進行する中、利用者の安全安心、快適な環境を確保するため、適正な維持管理を実施していく必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			施設利用者の満足度向上へ、利用者からの要望把握に努め、法定検査、日常点検の強化等により、施設の安全確保、環境維持へ、適正かつ迅速に対応していくことが重要となります。						
次年度に向けての取り組み			施設の利用状況や利用者からの要望を把握し、利便性の向上へ引き続き取り組み、社会教育活動に支障をきたすことがないよう、法定検査、日常点検を通じた施設の維持管理を行います。						

1 事業概要

事務事業名		乳幼児親子学習交流支援事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む				
			6	結婚・出産・子育ての希望をかなえる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市の公民館活動基本方針・事業計画					
	法令・例規等		社会教育法					
			飯田市公民館条例					
事業目的		対象	3歳までのこどもとその保護者					
		意図	発達段階に応じた様々な活動の経験を通して、生きる力の基礎を獲得する。子育ての情報や知識を得たり悩みを共有するとともに、親同士の地域内のつながりができる。					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・各地区において保健課等と連携し、3歳までのこどもを持つ保護者を対象に、発達の段階に応じた様々な学習体験活動を実施し、保護者同士が交流する機会、子育てに関する情報交換や知識を学ぶ機会として、乳幼児学級を開催しました。 ・地域住民の方を講師に迎え、地域での世代間交流のきっかけや地域での協力関係が育まれるよう取り組みました。 ・平日昼間は仕事の都合等で参加が難しい保護者のために、ファミリーデーの開催など、家族で楽しむ子育て講座の運営に取り組みました。			乳幼児学級の開催				1,288			
			その他の経費				0				
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	学級・講座の開催回数		回	500	343	500	501	350	480	500	482
	学級・講座に参加した親子の延べ人数		人	9,000	6,059	9,000	9,969	6,500	7,469	9,000	7,590
6年度 決算 (千円)	予算額		1,288	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		1,288								
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
		一般財源	1,288								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	1,288	1,288	公民館事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識			少子化や親の早期職場復帰などの社会環境の変化により、乳幼児学級への参加者数は横ばい傾向にあります。平日昼間の乳幼児学級に参加できない保護者が、地域で孤立しないための取組が重要です。						
上記の課題解決のための有効策			各地区で継続的なつながりを育むことができるよう、参加者の意見を取り入れたり、地域住民を講師に迎え、世代間交流を含めた学級の運営、また、休日等に参加する講座には対象年齢の子育てをする保護者がどなたでも参加してもらえるよう、工夫した講座内容、情報の発信を行う必要があります。						
次年度に向けての取り組み			乳幼児学級は「情報提供」だけでなく、「共感・交流・つながりづくり」の場としての役割が重要です。地域の中で安心して子育てができる「居場所づくり」となるよう、各地区の特色を生かした内容の充実と参加者同士のネットワークが形成できるような場を提供していきます。						

1 事業概要

事務事業名		多様な学習交流支援事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む				
			5	文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる				
			9	20地区が輝く活き活きとした地域づくりを地域主体に進める				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市の公民館活動基本方針・事業計画					
	法令・例規等		社会教育法					
		飯田市公民館条例						
事業目的		対象	各地区住民、全市民					
		意図	地区の特色を生かした多様で主体的な学びを通して、地域の自治を担う人材の育成を目指す					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・全地区において対話を軸に、それぞれ特色ある地域資源を活用した活動から「自分たちの地域を自分たちで活かす・守る・育てる」住民自治を考えるきっかけづくりとなる地域住民主体の学習活動を支援しました。 ・各公民館の専門委員会における、主体的な文化事業、体育事業、広報事業などの展開を支援しました。 ・飯田市二十歳の集いでは、各地区で該当者による実行委員会を組織し、式典までに地域や人となつがり、式典終了後も引き続き各種活動に関わってもらえるよう支援しました。			多様な学習交流支援				3,674			
				芸術文化学習交流支援				720			
				郷土（地区）を学ぶ活動支援				671			
				健康学習交流支援				182			
				環境学習交流支援				275			
				人権平和・多文化交流学習交流支援				1,167			
				二十歳の集い補助金				2,000			
				会計年度任用職員				2,520			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	講座等開催数		回	1,500	1,315	1,500	1,452	1,500	1,379	1,500	1,586
	講座等延べ参加者人数		人	45,000	33,717	45,000	52,176	45,000	67,892	52,500	75,075
	専門委員・実行委員等の人数		人	895	890	895	871	895	890	870	894
6年度 決算 (千円)	予算額		12,141	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		11,209	(そ) 自治体国際化協会助成金							
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	842								
		一般財源	10,367								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	9,621	8,689	公民館事業費
2	1	10	5	4	1	3	2,520	2,520	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		少子高齢化、人口減少などの社会現象により地域の担い手が減少しています。持続的な地域づくりをするために地域住民一人ひとりの活躍や地域参画が求められています。							
上記の課題解決のための有効策		「楽しそう！面白そう！」を入口に、住民が集い地域への願いや関心事を対話し、学びを通じて仲間と共有し、実現に取り組むことで、達成感や楽しさ、地域での役割を実感できるよう公民館活動を支援していく必要があります。							
次年度に向けての取り組み		日常生活の中に「みんなの楽しい！大事！！」を生み出し、主体的に全世代が地域と関わり続けるために、住民同士の良好な関係性を育み、暮らしを営んでいる場（地域）をみんなで考えあい、未来へ紡いでいけるよう公民館活動を実施します。							

1 事業概要

事務事業名		高校生等次世代育成事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	H24	終了	R99
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市の公民館活動基本方針・事業計画					
	法令・例規等		社会教育法					
			飯田市公民館条例					
事業目的		対象	全住民、全市民（高校生～青壮年層）					
		意図	地域を知り様々な自治活動を支える人々に学ぶ取組を通して、地域への愛着と誇りを持つとともに、自身の生き方を考え主体的に行動できるようになる。					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・地域に誇りと愛着を持ちながら、広い視野で自身や飯田を捉え考え行動できる次世代の担い手を育むことを目的に高校生講座（現地学習：東北、カンボジア）を実施しました。 ・ムトスぶらざにおいて、対話を軸においた場づくり（学習交流活動）を実施し、対話を深める事で参加者同士がつながる、主体的な創発活動を支援しました。 ・飯田O I D E長姫高等学校の地域人教育や飯田風越高等学校などの探究学習における地域での実践活動を支援しました。			高校生講座				5,184			
				ムトスぶらざにおける学習交流・創発活動				2,669			
				高校等における探究学習支援				110			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	高校生講座に参加した生徒数		人	15	0	15	5	15	20	20	20
	高校生講座の回数		回	6	0	6	11	12	72	50	56
	ムトスぶらざふらっと会議参加者数		人			40	201	120	200	200	198
	ムトスぶらざでの学習交流活動参加者数		人							500	450
	地域人教育における地域とのコーディネート数		回							200	168
6年度 決算 (千円)	予算額		8,874	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		7,963								
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
	一般財源		7,963								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	8,874	7,963	公民館事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識			当地域の高校生の多くが、高校卒業後に進学や就職等で地域を離れる状況にあります。地域を離れる前に、自身の地域を知り「地域を語れる・好き・大切にする」想いが重要であり、将来的に飯田で暮らしたい気持ちや主体的に考え行動できる人を育てることができるよう支援することが必要です。						
上記の課題解決のための有効策			次世代育成事業では、個人学習の機会ではなく、同世代の仲間とともに「未来の担い手として育つための土台をつくる学びの場」として社会への参画・地域貢献・未来への視野を広げることを中心的なテーマとし、「自分と地域」の関係を見つめ直し、行動につながる学習の組立、支援の継続が重要です。						
次年度に向けての取り組み			高校生が様々な地域の方に出会い、地域での暮らしに理解を深め、誇りや愛着を育む学習交流活動への取組を支援し、ムトスぶらざにおいては、高校生などが気軽に相談できる窓口を設置し、新たな居場所づくりを実践していきます。						

1 事業概要

事務事業名		飯田コミュニティスクール推進事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	H29	終了	R99
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	3	“結いの心”に根ざす教育を実践し、豊かな心とリニア時代を生きる力を育む				
			4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む				
			6	結婚・出産・子育ての希望をかなえる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市の公民館活動基本方針・事業計画					
	法令・例規等		飯田市学校運営協議会規則					
			社会教育法					
			飯田市公民館条例					
事業目的		対象	小中学校、各地区住民、各家庭					
		意図	「めざす子供像」を共有し、学校、家庭、地域の三者が連携協働することにより、地域全体で子供を育む。					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・地域ぐるみでこどもを育てる環境づくりを進めるため、「飯田コミュニティスクール協働活動（地域学校協働活動）」を地域の特色を生かしながら推進しました。 ・各地区において、こどもやその保護者を中心に、地域特有の知識や実践を学ぶ機会や地域とのつながりを深める機会として、地域資源を活用した体験教室や放課後子ども教室、長期休暇の寺子屋事業などを実施しました。			親子学習交流活動				656			
				いいだC S 協働活動（地域学校協働活動）推進事業				412			
				コミュニティスクールボランティア保険				285			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	小中学校の学校運営協議会の開催回数		回	56	60	56	70	56	80	70	77
	学校支援ボランティア等の登録数		人	876	815	876	761	876	669	850	815
	いいだC S 協働活動推進事業の取組件数		件	15	15	15	25	15	36	20	41
	家庭教育の開催件数		件	100	309	100	384	100	647	350	555
	家庭教育に参加した延べ人数		人	4,000	9,936	4,000	9,294	4,000	12,772	9,000	8,348
6年度 決算 (千円)	予算額		2,032	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		1,353	(そ) ふるさと寄附金							
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	1,352								
	一般財源		1								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	10	2,032	1,353	飯田コミュニティスクール推進事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識			少子高齢化、核家族化の進行など、社会情勢や家庭環境が変化するなか、地域全体でこどもの学びや成長を支える取組の重要性が高まっています。また、飯田学園構想がスタートしていくなか、より地域と学校が協働する取組を進める必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			こどもたちの問いや願いを大切に、地域の特色を生かした学びを地域住民の方を講師に迎える等、多くの方々に関わってもらい機会を創出し、こども達の学びや成長を支える取組を充実させます。						
次年度に向けての取り組み			こどもたちの豊かな学びの場を目指した、各地域の特色を生かした学習の場の提供、加えて、こどもとその保護者を中心とした地域資源を活用した講座等を実施し、地域と家庭及び学校の連携を深めています。						

1 事業概要

事務事業名		公民館改修事業			会計	一般会計		
					事業区分	経常	実施区分	継続
					開始	S29	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
	法令・例規等		社会教育法					
		飯田市公民館条例						
		建築基準法、消防法等の施設保全上の関係法令						
事業目的		対象	公民館施設及びその利用者					
		意図	施設の適正な維持管理により、安全安心で快適な学習環境を提供し社会教育の振興に努める					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	教育委員会施設等総合管理計画に基づき、川路・三穂公民館の屋根及び外壁改修、橋北・座光寺・松尾・竜丘・川路・三穂・伊賀良・鼎公民館の照明のLED化を進めました。			施設改修工事費				93,320			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	改修実施箇所数		件	5	14	12	16	8	8	10	10
6年度 決算 (千円)	予算額		93,324	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		93,320	(地) 公共施設等適正管理推進（充当率90％） 35,400千円							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(地) 脱炭素化推進（充当率90％） 44,100千円							
		県支出金	0								
		地方債	79,500								
		その他	0								
		一般財源	13,820								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	12	2	93,324	93,320	公民館改修事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識			教育委員会施設等総合管理計画に基づき、屋根及び外壁の改修、照明のＬＥＤ化などを行いましたが、施設の老朽化が進行する中、引き続き各施設の状況を確認し、計画的に改修を進めていく必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			最終年となる教育委員会施設等総合管理計画に基づく改修を進めつつ、各施設の劣化状況等を的確に把握していくことが重要です。						
次年度に向けての取り組み			教育委員会施設等総合管理計画に基づく改修を進め、今後の計画的な改修に向けた劣化状況等を調査把握し、次期計画を策定します。						

1 事業概要

事務事業名		図書購入・提供事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			第4次 飯田市立図書館サービス計画					
	法令・例規等		図書館法					
			飯田市立図書館条例					
		公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準						
事業目的		対象	市民					
		意図	読みたい図書や知りたい情報を得て主体的に学び、心豊かな暮らしができる					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容		経費の内容						事業費(千円)		
	・各図書館で役割分担して多様な内容の図書を購入し提供しました。 ・データベースの使い方講座や、テーマ展示にあわせてレファレンス（調べもの支援）事例の紹介を行いました。 ・他部署と連携して起業や産業の図書利用を案内しました。 ・郷土資料の整理・保存を進め、レファレンスや図書リスト配布により利用を案内し、郷土学習を支援しました。 ・読むことが不自由な方に録音図書や大活字本を提供しました。 ・利用の利便性向上に向けて、スマートフォンで利用者番号を表示して貸出できることをPRしました。		一般（大人）向け図書購入費						23,571		
			郷土資料デジタル化業務委託料						1,035		
			情報探索データベース使用料						1,079		
			コンピュータシステム保守点検業務委託料						4,092		
			コンピュータシステム機器使用料						8,078		
			図書搬送業務委託料						1,697		
			書誌データ作成業務委託料						1,881		
			書誌データ利用料						858		
			製本業務委託料						677		
会計年度任用職員人件費						24,745					
その他の経費						1,824					
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	購入冊数		冊	21,000	20,245	21,000	20,321	20,500	20,233	21,000	19,807
	貸出利用者数		人	199,000	185,801	190,000	191,873	190,000	190,822	191,000	194,468
	レファレンス件数		件	2,900	2,259	2,800	2,336	2,500	2,593	2,500	2,462
	録音図書貸出タイトル数		件	2,400	1,804	2,000	1,829	2,000	1,223	1,900	1,553
	社会・経済・産業部門の蔵書冊数（中央）		冊	48,000	51,753	48,000	53,266	48,000	54,150	50,000	54,291
	地区住民1人あたりの分館貸出冊数		冊	1.8	1.3	1.5	1.6	1.5	1.6	1.6	1.5
	郷土資料の情報発信数		回	145	70	145	67	145	166	145	186
6年度 決算 (千円)	予算額		70,792	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		69,537	(そ) コンピュータシステム運営事業負担金 1,935千円 (そ) 図書館ネットワーク館搬送業務負担金 441千円							
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	2,376								
		一般財源	67,161								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	5	1	3	25,751	24,745	会計年度任用職員人件費
2	1	10	5	5	10	1	6,317	6,300	図書館管理・運営費
3	1	10	5	5	10	2	23,190	23,138	図書購入費
4	1	10	5	5	10	3	12,171	12,170	コンピュータシステム運営事業費
5	1	10	5	5	11	1	2,858	2,702	図書館事業費
6	1	10	5	5	11	2	505	482	ビジネス支援サービス事業費
7									
振り返り課題認識		より多くの市民の方が図書館を利用し、読書や学びを行うことができるよう、図書館利用の推進や読書推進の取組が必要です。また、誰もが求める図書や情報を的確に得られるための支援が求められます。							
上記の課題解決のための有効策		・ ニーズに応じられる蔵書の充実に取り組み、市民の皆さんの興味・関心を広げるための情報発信を行います。 ・ レファレンス（調べもの支援）の周知や、本・情報を探しやすい環境づくりに取り組みます。 ・ 図書館が利用しやすい場所、居心地の良い場所になるための取組を行います。							
次年度に向けての取り組み		・ 利用状況や地域の動きなどからニーズの把握に努めるとともに、新たな本に出会い興味が広がる機会をつくります。 ・ レファレンス事例の公開や郷土資料の活用促進、利便性向上のための資料のデジタル化を行います。 ・ 図書館を気軽に使っていただくための機会づくりを行います。							

1 事業概要

事務事業名		図書館管理運営事業			会計	一般会計			
					事業区分	経常		実施区分	継続
					開始			終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			第4次 飯田市立図書館サービス計画						
			飯田市教育委員会施設等総合管理計画						
	法令・例規等		図書館法						
			飯田市立図書館条例						
			公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準						
事業目的		対象	図書館利用者						
		意図	図書館を安全かつ快適に利用できる						

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・ゼロ・カーボンへの取組として、中央図書館遮熱ロールスクリーン設置工事、中央図書館照明LED化工事、伊賀良学習交流センター照明LED化工事を行いました。 ・飯田市教育委員会施設等総合管理計画に基づき、中央図書館屋根及び西側一部外壁改修工事、中央図書館空調設備更新工事を行いました。 ・利用者が安全で快適に利用できるよう、施設・設備の保守点検や分館も含めた施設修繕等を行いました。 ・今後の図書館サービスの充実を図るため、令和7年度から10年度までの4年間で計画期間とする「第5次飯田市立図書館サービス計画」を策定しました。			中央図書館空調設備更新工事				34,243			
				中央図書館屋根及び外壁改修工事				19,008			
				中央図書館照明LED化工事				22,132			
				中央図書館遮熱ロールスクリーン設置工事				390			
				伊賀良学習交流センター照明LED化工事				6,380			
				施設設備管理修繕				1,198			
				施設設備点検委託料				831			
				施設設備管理・保守委託料				8,236			
				図書館管理消耗品				4,251			
				会計年度任用職員人件費				32,677			
				その他の経費				14,182			
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	施設設備修繕件数		件	13	17	20	16	18	22	17	16
	施設管理に対する要望・クレーム		件	0	0	0	0	0	0	0	1
6年度 決算 (千円)	予算額		156,015	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		143,528	(地) 公共施設等適正管理推進（充当率90%） 47,900千円							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(地) 脱炭素化推進（充当率90%） 25,600千円							
		県支出金	0	(そ) 諸収入							
		地方債	73,500	6→7 繰越明許費 483千円							
		その他	815								
		一般財源	69,213								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	5	10	1	121,465	110,851	図書館管理・運営費
2	1	10	5	5	1	3	34,550	32,677	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識			・経年劣化により故障や破損が増えている施設設備の継続的な保守点検と計画的な修繕を実施し、利用者が安全で安心して利用できる施設管理が必要です。 ・ゼロ・カーボンの視点を取り入れた施設整備が求められています。						
上記の課題解決のための有効策			飯田市教育委員会施設等総合管理計画に基づき、予防保全型の改修やゼロ・カーボンの視点からの施設環境整備を行うとともに、施設設備の定期的な保守点検を実施します。						
次年度に向けての取り組み			上郷図書館照明LED化工事、上郷図書館受変電設備機器更新工事、中央図書館消火栓ポンプ用直流電源装置内蓄電池交換等を計画的に行います。また、施設設備等の定期点検を実施し、必要な修繕等を行うとともに、劣化状況調査結果に基づき、今後の改修・修繕内容を飯田市教育委員会施設等総合管理計画後期計画に反映させます。						

1 事業概要

事務事業名		子供読書活動推進事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	新規
					開始	R2	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	3	“結いの心”に根ざす教育を実践し、豊かな心とリニア時代を生きる力を育む				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			第4次 飯田市立図書館サービス計画					
	法令・例規等		図書館法					
			飯田市立図書館条例					
			子どもの読書活動推進に関する法律					
事業目的		対象	18歳以下の児童					
		意図	読書の機会が増え、楽しさを知り、読書習慣が形成される					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・ 7カ月児家庭と4歳児（年中児）への絵本プレゼント、 保育所への団体貸出や分館へ来館しての貸出による家庭への 絵本の持ち帰りを進めました。 ・ 学校図書館のコンピュータシステム導入支援、図書リスト を活用した読書推進など学校図書館と連携して小中学生の読 書環境の充実に向けて取り組みました。 ・ 小中学生の読書の実態を把握し今後の取組に活かすための 「飯田市児童生徒読書調査」を実施しました。 ・ 飯田駅前図書館で、高校生による紹介本展示や読書を通し て交流しあう企画を定期的に実施しました。 ・ 市民団体と協働して子供の読書の講座を行いました。			児童向け図書購入費				9,141			
				はじめまして絵本・おともだち絵本				1,641			
				読書啓発講座講師謝礼				141			
				会計年度任用職員人件費				2,525			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	はじめまして絵本を受け取った率		%	100	99.6	100	99.1	100	99.7	100	100
	絵本を家庭へ持ち帰っている保育所数		園	26	28	30	30	30	29	32	31
	学年別図書リスト作成数		件	2	2	1	1	1	1	0	0
	中・高生対象読書啓発事業		件	3	1	2	5	6	10	6	6
	セカンドブックを受け取った率		%	100	100	100	100	100	100	100	100
6年度 決算 (千円)	予算額		13,532	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		13,448	(そ) ふるさと寄附金							
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	9,692								
		一般財源	3,756								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	5	10	2	9,142	9,141	図書購入費
2	1	10	5	5	10	5	1,682	1,641	はじめまして絵本事業費
3	1	10	5	5	11	1	180	141	図書館事業費
4	1	10	5	5	1	3	2,528	2,525	会計年度任用職員人件費
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・ どの家庭でも乳幼児が絵本を楽しむ時間を持つために、保護者が読書の楽しさや重要性を知るための取組が必要です。 ・ 小学生が自発的に読書する時間が少なくなっていることや、学年が上がるにつれ読書や図書館から遠ざかる傾向があることが課題となっています。							
上記の課題解決のための有効策		関係機関と連携して、こどもの発達に沿った読書体験の充実や、図書館や読書に親しむ環境づくりに向けた取組を進めます。							
次年度に向けての取り組み		・ こどもの本に関する講座や講演会、市民の方と連携した講座等を開催します。 ・ 図書館への関心や読書意欲を高めるための企画を実施します。 ・ 保育所や学校等との連携を強め、現状や課題を共有し具体的な取組の実施に向けて検討を進めます。							

1 事業概要

事務事業名		図書館事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			第4次 飯田市立図書館サービス計画					
	法令・例規等		図書館法					
		飯田市立図書館条例						
事業目的		対象	市民					
		意図	読書を通じて、地域の学びが深まり交流が広がる					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・ 令和7年度の中央図書館開館110周年に向けて、市民の皆さんと一緒に記念事業の内容を検討しました。 ・ 文学講座や読書会、文章講座等を開催して市民の皆さんの読書活動や学習活動、読書を通じた交流活動を支援しました。 ・ 研究団体と協働して講座を開催し、自分で調べる体験や郷土を学ぶ機会を提供しました。 ・ 市民の皆さんと協働して、活字を読むことが不自由な方のための録音図書の製作や環境整備などを行いました。 ・ 分館では、地区の関係機関と連携して、本との出会いや地域の方と交流する企画を実施しました。		文章講座講師謝礼				72				
			録音図書製作研修講師謝礼				168				
			文学講座講師謝礼				10				
			点訳資料作成謝礼				14				
			ボランティア・イベント参加者保険料				19				
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	読書活動推進の各種講座等参加延べ人数		人	1,200	413	1,000	593	1,000	615	1,000	832
	ボランティアと協働で行った取組数		件	12	11	12	8	12	11	12	9
6年度 決算 (千円)	予算額		369	特定財源内訳及び補足事項 (そ) 諸収入							
	決算額		283								
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	72								
		一般財源	211								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	5	11	1	369	283	図書館事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識			郷土資料を使って学ぶ方の減少や、高齢化などによる市民運営の読書交流活動の減少が課題になっています。読書や学びへの関心が広がるよう、交流しながら学び合う場をつくる必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			一人ひとりが主体的に学ぶことや、図書館に集う市民の皆さんが交流し、主体的な活動を行う意欲や関心を持つことにつながるような機会づくりを行います。						
次年度に向けての取り組み			・ 中央図書館開館110周年記念事業を市民の皆さんと一緒にいき、新たな本との出会いや交流の機会を提供します。 ・ 文学講座や読書会、文章講座を開催し、本から学びを広げたり、交流により学びを深める場をつくります。 ・ 研究団体と協力して、郷土資料を活用して地域を学ぶ機会を提供します。						

1 事業概要

事務事業名		美術博物館管理事業			会計	一般会計		
					事業区分	経常	実施区分	継続
					開始	H1	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む				
	分野別計画			飯田市教育振興基本計画				
				飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン				
				飯田市教育委員会施設等総合管理計画				
	法令・例規等			博物館法				
				飯田市美術博物館条例				
事業目的		対象	美術博物館の施設（建物・設備・備品）、収蔵品					
		意図	適切な管理運営により、来館者の安全・安全を確保し学びの場を提供する。					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)					
	1 来館者が安全で安心して快適に施設を利用できる管理運営を行いました。 (1) 建物や機械設備の適正管理を行うとともに、教育委員会施設等総合管理計画に基づき、博物館としての機能を維持し、長寿命化するための照明機器LED化や空調設備等の改修を実施しました。 (2) POSレジシステムの効率的な運用を進めました。 2 博物館再登録に向けて情報収集を行いました。 3 小中高校生の展示観覧料金減免（無料化）を行いました。 4 美術博物館2028ビジョン・基本プランの中期計画の評価を行い、成果や課題を反映した後期計画を策定します。		委員等報酬・旅費				1,068					
			施設・設備等修繕				9,367					
			施設長寿命化工事				116,930					
			施設管理等委託				27,207					
			施設維持管理費（光熱水費・通信運搬費・保険料他）				21,941					
			施設運営費（パンフレット等印刷・事務消耗品・事業用借上他）				3,125					
			協議会負担金				119					
			キャッシュレス化				330					
		会計年度任用職員				21,761						
		その他の経費				0						
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	修繕・工事等を行った建物・設備の件数		件	25	23	25	27	25	21	25	21	
	施設管理に対する要望件数		件	0	1	0	0	0	2	0	2	
6年度 決算 (千円)	予算額		213,033	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額		201,848	(地) 脱炭素化推進（充当率90%） 22,200千円								
	財源の 状況	国庫支出金		0	(地) 公共施設等適正管理推進（充当率90%） 82,900千円							
		県支出金		0	(そ) 美術博物館観覧料 3,751千円							
		地方債		105,100	(そ) 美術博物館施設使用料 52千円							
		その他		3,993	(そ) 諸収入 190千円							
		一般財源		92,755	6→7 緑越明許費 762千円							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	10	1	189,041	180,087	美術博物館管理費
2	1	10	5	6	1	3	23,992	21,761	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識			・ 建物の経年劣化や設備の更新時期を踏まえ、計画的な改修を行い施設の機能を維持していく必要があります。 ・ 小規模な修繕が必要な箇所については、利用者や資料に影響がないように、事業スケジュールを調整して適切に対応していく必要があります。 ・ 博物館再登録にあたり、博物館機能を維持するため、適宜、改修を行う必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			・ 次期「教育委員会施設等総合管理計画」を策定します。 ・ 日常的な点検を行う中で、修繕が必要な箇所を早期に発見し、スケジュールを調整して事業に支障が出ないように対応していきます。						
次年度に向けての取り組み			・ 教育委員会施設等総合管理計画に基づき、日夏耿之介記念館の照明LED化など施設の長寿命化改修を実施します。 ・ 小中学生、高校生の展示観覧料金減免（無料化）を継続します。 ・ 次期「教育委員会施設等総合管理計画」を策定します。						

1 事業概要

事務事業名		美術博物館資料調査研究・収集保管事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む				
	分野別計画			飯田市教育振興基本計画				
				飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン				
	法令・例規等			博物館法				
				飯田市美術博物館条例				
事業目的		対象	伊那谷の自然、人文、美術に関する事象や資料					
		意図	調査、研究、整理し、市民に還元する					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容		経費の内容						事業費(千円)		
	・地域の自然、文化、美術を対象とした調査研究を関係する団体や研究者などと連携して継続的に行いました。 ・調査研究成果を、展示や講座等の学びの機会につなげると共に学会発表や研究紀要・自然史論集などで公表しました。 ・新たに寄贈された田中芳男関連資料を活用できるよう整理、修復を進めました。 ・資料等の整理登録作業を継続し、田中芳男関連資料のデータベース公開を行いました。 ・地域の資料を良好な状態で保存するため、保存環境測定などを行いました。 ・収蔵場所不足解消に向けた検討を進めました。		自然調査研究費						1,181		
			人文調査研究費						824		
			美術調査研究費						1,670		
			図書整理公開費						449		
			研究紀要・自然史論集印刷						831		
			【戦略重点】田中芳男の資料活用						945		
			共通調査研究費						170		
			会計年度任用職員						9,264		
その他の経費						0					
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	研究発表数		件	40	68	40	50	50	41	50	42
	資料登録件数／美術資料作品登録点数		点	20	506	20	316	500	585	20	770
	資料修復点数		点	3	1	3	3	3	1	3	10
	人文資料登録点数		点	100	10	100	23	150	1,506	50	8
	自然資料登録点数		点	50	198	50	32	100	6,336	100	2,412
6年度 決算 (千円)	予算額		16,567	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		15,334	(そ) 諸収入							
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	557								
		一般財源	14,777								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	27	6,617	6,070	美術博物館資料調査研究・収集保管事業費
2	1	10	5	6	1	3	9,950	9,264	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識			・地域の博物館活動として信頼性の高い展示や教育普及を行っていくためには、継続的な調査研究が必要です。また資料を多くの人が活用できるようにするために資料整理とデジタルデータ化も継続的に進める必要があります。 ・田中芳男関連資料などを活用するため、資料の整理・修復と研究を継続することが必要です。 ・収蔵スペースが慢性的に不足しており、棚の拡張などで対応していますが、新たな収蔵スペースの確保が必要です。						
上記の課題解決のための有効策			・市民の利用に応える博物館であるために、地域に根差した調査研究、資料収集を継続していく必要があります。 ・資料の整理登録を進め、一層のデータベース化とその公開を進める必要があります。 ・収蔵庫の整理を定期的に実施するとともに、館外の収蔵スペースの確保に努める必要があります。						
次年度に向けての取り組み			・当館の2028ビジョン・基本プラン後期計画に沿って、地域の特質を明らかにする調査研究活動を継続していきます。 ・田中芳男関連資料等の整理・修復を継続し、展示などでの活用を進めます。 ・館外の収蔵スペースの不足解消に向けて、社会教育機関を中心とした教育委員会の連携により改善していきます。						

1 事業概要

事務事業名		美術博物館展示公開事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	H1	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む				
			5	文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン					
	法令・例規等		博物館法					
		飯田市美術博物館条例						
事業目的		対象	来館者					
		意図	「伊那谷の自然と文化」への理解を深め、その魅力を発信する					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・美術分野は、菱田春草生誕150年記念特別展「創造の道筋」、特別陳列「飯田と富岡鉄斎」、第24回現代の創造展、菱田春草常設展示6期、コレクション展示5期を開催しました。 ・人文分野では、太田用成生誕180年記念「『七科約説』を生んだ飯田の医学・本草学」のほか、トピック展示で「伊豆木小笠原家と旧小笠原書院」「菱田家の人びと」「仏師井出嘉汕の眼と技」「修復を終えた田中芳男関係資料」を開催しました。 ・自然分野ではトピック展示で「そして化石は『標本』になる」「ギフチョウと伊那谷の春のチョウ」を開催しました。			【戦略重点】春草生誕150年特別展「創造の道筋」				9,567			
				美術常設・企画展示				4,737			
				人文特別陳列「飯田の医学・本草学」				1,043			
				文化常設・トピック展示				792			
				美術特別陳列「飯田と富岡鉄斎」				46			
				自然常設・トピック展示				813			
				次年度展覧会準備				4			
				全分野共通				1,233			
				その他の経費				0			
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	観覧者数		人	37,000	32,106	37,000	31,237	26,000	23,130	37,000	29,149
	展覧会開催数		回	32	33	32	33	21	23	22	29
6年度 決算 (千円)	予算額		20,157	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		18,235	(そ) 諸収入 1,427千円							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 地域振興基金 16,808千円							
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	18,235								
		一般財源	0								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	28	20,157	18,235	美術博物館展示公開事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識			・「伊那谷の自然と文化」の魅力を市民が学習し、自ら発信することにつなげるために、地域への愛着や誇りを感じられる展示が必要です。また市民の興味に応える展示、市民の創造を発表することのできる展覧会が必要です。 ・継続的な調査研究によって菱田春草の常設展示の内容を向上させ、来館者が菱田春草の出身地である飯田で春草芸術を鑑賞し、学ぶことのできる機会を提供する必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			・展覧会の企画に際して、時機をとらえたテーマで開催し、市民の興味に応えられるように工夫をします。 ・展示方法を研究し、学びや表現の多様化への対応を行っていきます。 ・アンケートなどによって、来館者が期待する展示についての情報収集を行います。						
次年度に向けての取り組み			・遠山郷に焦点をあて、企画展「高山植物と高山昆虫からたどる南アルプスの博物学の120年」、特別展「山とともに生きるー遠山郷のあゆみとくらしー」を開催します。 ・地域の創造性を高めるため、第25回現代の創造展を開催し、令和8年度向け「IIDAコレクション展」を準備します。						

1 事業概要

事務事業名		美術博物館教育普及・活動支援事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	H1	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン					
	法令・例規等		博物館法					
			飯田市美術博物館条例					
事業目的		対象	市民及び下伊那郡住民					
		意図	「伊那谷の自然と文化」の特性と魅力を美術博物館を活用して学び合う					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容					事業費(千円)			
	・ 自然講演会、自然・文化講座、春草講座等を25回実施し813人が参加しました。 ・ 地域と連携した見学会や講座等175回実施し4764人が参加しました。 ・ 歴史研究所と連携した古文書講座では延べ463人、子ども美術学校と中学生造形教室では延べ486人が参加しました。 ・ 「ワクワクびはくで夏休み2024」を開催し、484人が参加しました。 ・ 高校の探求学習への協力、遠山常民大学、菱田春草研究委員会、飯田鉄斎愛好会等への活動支援を行いました。			自然分野教育普及					194			
				人文分野教育普及					354			
				美術分野教育普及					575			
				総合教育普及					641			
				研究費助成					450			
				会計年度任用職員					2,777			
その他の経費					0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	講座・ワークショップ等参加者数		人	5,500	8,850	5,500	4,957	5,500	6,546	5,500	9,322	
	小中学校と連携した学習の機会		回	28	113	28	36	28	50	50	66	
	地域と連携した学習の機会		回	20	99	20	87	20	81	60	175	
6年度 決算 (千円)	予算額		5,557	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額		4,991	(そ) 美術博物館施設使用料 233千円								
	財源の 状況	国庫支出金		0	(そ) 美術博物館講座受講者負担金 173千円							
		県支出金		0	(そ) 諸収入 100千円							
		地方債		0								
		その他		506								
		一般財源		4,485								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	29	2,592	2,214	美術博物館教育普及・活動事業費
2	1	10	5	6	1	3	2,965	2,777	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識			・ 企画を考える際、時勢の変化を察知しその動向を見極めて対応していく柔軟な視点が一層求められます。 ・ 飯田学園構想の具体化に伴い、市内小中学校との連携のあり方について、従来よりもさらに踏み込んだ検討が必要です。 ・ D X化の推進に伴い、受入側と参加者側双方の負担軽減を図りつつ、講座等により参加しやすい制度づくりが必要です。						
上記の課題解決のための有効策			・ 座学だけでなく、参加者と双方向で学び合う機会を相対的に増やしていくことを検討します。 ・ 小中学校、高校での美術博物館活用に協力し、現場の負担軽減に配慮して意見交換を行っていきます。 ・ 講座等への参加方法を可能な部分からデジタル化し、利用の利便性を向上させていきます。						
次年度に向けての取り組み			・ こども達の創造の可能性を広げる講座やワークショップ、市民の主体的な学びを支援する取組を継続します。 ・ 学校の授業で美術博物館が有効活用できるよう学校や先生方と連携取しながら活用方法の工夫をしていきます。 ・ 配信に際しては、著作権等に留意しながら、可能な範囲で実施方法を改良していきます。						

1 事業概要

事務事業名		美術博物館プラネタリウム運営事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	H1	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン					
	法令・例規等		博物館法					
			飯田市美術博物館条例					
事業目的		対象	市民、来館者					
		意図	ふるさとの自然や文化、星空の持つ魅力に気づき、地域を大切にする心を育むとともに、地球を見つめ宇宙を夢見る広い視点と豊かな発想力を養う					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・年間テーマを「月、そして火星へ」とし、月や火星に関連した番組等により、天文・宇宙に関する番組や星空解説による投影を行いました（一般投影、予約投影、特別投影）。 ・地域や学校、民間の活動団体との連携による出前授業、観望会などを行い、天文の魅力を伝え、宇宙への関心を持つ機会を提供しました。 ・プラネタリウムに親しんでもらう機会として、プラネタリウム祭、防災イベント、月探索ロボット操縦体験等を開催しました。			番組投影				4,718			
				宇宙教育事業				103			
				研修旅費				55			
				事務消耗品費				673			
				機器保守・修繕				629			
				会計年度任用職員				3,154			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	プラネタリウム観覧者数		人	8,000	4,684	8,000	6,040	4,500	7,808	11,000	9,916
	プラネタリウム投影回数		回	400	278	400	440	250	330	500	450
	ドームイベント回数		回	12	18	12	8	4	9	5	10
	宇宙・天文教育回数（観望会・館外活動）		回	20	10	20	11	10	7	10	17
6年度 決算 (千円)	予算額		11,635	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		9,332	(そ) 美術博物館観覧料 1,038千円							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 諸収入 2千円							
		県支出金	0	(そ) ふるさと寄附金 5,200千円							
		地方債	0								
		その他	6,240								
		一般財源	3,092								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	30	6,399	6,178	美術博物館プラネタリウム運営事業費
2	1	10	5	6	1	3	5,236	3,154	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		プラネタリウム投影機器の経年劣化が進行しており、それによるトラブルが生じたことがありました。既存の機器の交換部品が確保できなくなっており投影機器の更新が必要です。							
上記の課題解決のための有効策		美術博物館のプラネタリウム活動に適した、投影機器の検討と更新が必要です。							
次年度に向けての取り組み		投影システムの情報を収集し、機器更新に向けた予算化への準備と調整を進めます。							

1 事業概要

事務事業名		上村山村文化資源保存伝習施設管理運営事業			会計	一般会計		
					事業区分	経常	実施区分	継続
					開始	H9	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン					
	法令・例規等		地方自治法					
			飯田市上村山村文化資源保存伝習施設条例					
事業目的		対象	上村山村文化資源保存伝習施設（まつり伝承館天伯、ねぎや）					
		意図	施設の適切な維持管理と文化資源の展示、保存、情報発信、及び多目的利用による地域の活性化					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・指定管理者との協働により、まつり伝承館「天伯」及び隣接する山村ふるさと保存館「ねぎや」の管理運営を行いました。また、施設の長寿命化として、「天伯」の屋根改修工事を実施しました。 ・映像機器の更新に向けて検討しました。 ・美術博物館で開催したトピック展示等の巡回を4回行いました。 ・霜月祭の伝承、後継者育成に取り組みました。 ・資料館にこだわらない地域の活性化につながる施設の利活用について検討を進めました。			保険料（建物共済）				28			
				指定管理業務委託料				3,067			
				施設警備				198			
				測量・借地料				109			
				施設長寿命化				16,131			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	観覧者数		人	1,200	249	1,200	596	1,000	395	1,000	770
	施設を活用した事業数		回	5	1	5	1	4	5	4	4
6年度 決算 (千円)	予算額		20,527	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		19,533	(地) 公共施設等適正管理推進（充当率90％）							
	財源の 状況	国庫支出金	0	6→7 繰越明許費 101千円							
		県支出金	0								
		地方債	13,900								
		その他	0								
		一般財源	5,633								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	13	1	20,527	19,533	上村山村文化資源保存伝習施設費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識			・ 利用者の安全を確保するため、建物の修繕をする必要があります。 ・ コロナ禍の観覧者減から回復の兆しはありますが、コロナ禍以前の水準に戻らない状況です。 ・ 令和7年度末に指定管理の契約が終了します。						
上記の課題解決のための有効策			・ 次期「教育委員会施設等総合管理計画」を策定します。 ・ 日常的な点検を行う中で、修繕が必要な箇所を早期に発見し、事業に支障が出ないように対応していきます。 ・ 指定管理の継続について地域協議会に諮ります。						
次年度に向けての取り組み			・ 長寿命化するために照明機器LED化改修を実施します。 ・ 資料館にこだわらない地域の活性化につながる施設の利活用についても念頭に、指定管理の継続を進めます。 ・ 次期「教育委員会施設等総合管理計画」を策定します。						

1 事業概要

事務事業名		南信濃民芸等関係施設管理運営事業		会計	一般会計			
				事業区分	経常	実施区分	継続	
				開始	H2	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン					
	法令・例規等		地方自治法					
			飯田市南信濃民芸等関係施設条例					
事業目的		対象	南信濃民芸等関係施設（遠山郷土館）					
		意図	施設の適切な維持管理と文化資源の展示、保存、情報発信、及び多目的利用による地域活性化					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・遠山郷の歴史とその中で育まれた霜月祭、文化財、地域ゆかりの作家の作品などの展示により地域の魅力を紹介発信しました。 ・遠山郷をテーマとした学習講演会（講演会・見学会）を4回、自然、人文分野の研究成果を基にしたトピック展示を年間で4回開催しました。 ・学校や地域団体等と連携して、施設の多目的な利活用をしました。		保険料（建物共済）				30				
			施設管理運営業務				1,023				
			施設設備保守等委託				338				
			借地料				435				
			修繕・工事				0				
			会計年度任用職員				2,514				
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	観覧者数		人	1,400	1,111	1,400	1,007	1,400	1,041	1,400	758
	施設利用者数		人	2,400	1,974	2,400	2,069	2,400	1,955	2,400	1,666
	施設を活用した事業数		回	6	6	6	8	8	8	8	8
6年度 決算 (千円)	予算額		5,209	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		4,340	(そ) 南信濃民芸等関係施設観覧料 212千円							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 諸収入 109千円							
		県支出金	0	6→7 繰越明許費 90千円							
		地方債	0								
		その他	321								
		一般財源	4,019								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	14	1	2,525	1,826	南信濃民芸等関係施設費
2	1	10	5	6	1	3	2,684	2,514	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識			・学習講演会や美術博物館の展示の巡回が定着し活用の機会は増えていますが、施設の魅力を発信する取組を継続する必要があります。 ・施設の老朽化に対応して適切に修繕し、利用者の安全を確保する必要があります。 ・地域と連携して地域の活性化につながる多目的な利活用の方法を考える必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			・次期「教育委員会施設等総合管理計画」を策定します。 ・日常的な点検を行う中で、修繕が必要な箇所を早期に発見し、事業に支障が出ないように対応していきます。						
次年度に向けての取り組み			・地域と連携し多目的な利用を考えていきます。 ・長寿命化するために照明機器LED化改修を実施します。 ・次期「教育委員会施設等総合管理計画」を策定します。						

1 事業概要

事務事業名		文化会館等管理運営事業		会計	一般会計		
				事業区分	経常	実施区分	継続
				開始	S47	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画	○	4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む			
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画				
	法令・例規等		飯田文化会館条例				
事業目的		対象	市民				
		意図	新文化会館改築までの間、既存の会館、人形劇場を安全・快適な環境で利用できるようにする				

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・ 飯田文化会館（人形劇場を含む）を安全、安心、快適に利用できるよう、日常的な維持管理と点検を行いました。 ・ 飯田文化会館（人形劇場を含む）、鼎文化センターの3つのホールを適切に利用できるよう舞台技術者に管理運営を委託しました。 ・ 公共施設予約システムの普及と安定した稼働に取り組みました。			文化会館管理費				45,162			
				ホール業務等委託費				24,080			
				施設・設備修繕費				0			
				緊急修理・小修繕				3,031			
				屋上防水工事				1,232			
				講習室床改修工事				2,167			
				ワイヤレスマイク設備改修工事				8,308			
				スロープ手摺取付工事				355			
				屋上飛散防止改修工事				550			
会計年度任用職員				5,115							
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	老朽化・陳腐化改善に係る要望件数		5件	5	3	5	5	5	11	5	20
6年度 決算 (千円)	予算額		95,275	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		90,000	(地) 公共施設等適正管理推進（充当率90％）							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 公共物占用料 29千円							
		県支出金	0	(そ) 文化会館使用料 14,846千円							
		地方債	7,700	(そ) 教育費雑入 1,075千円							
		その他	15,950								
		一般財源	66,350								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	10	1	48,988	45,162	文化会館管理費
2	1	10	5	7	10	2	25,208	24,080	ホール業務等委託事業費
3	1	10	5	7	10	3	15,886	15,643	文化会館施設整備事業費
4	1	10	5	7	1	3	5,193	5,115	会計年度任用職員人件費
5									
6									
7									
振返り課題認識			・ 緊急性の高いものから計画的な改修に努めていますが、修繕や機器更新を要する箇所が年々増えており、対応に苦慮しています。飯田文化会館は築53年、人形劇場は築37年を経過し、施設と設備の老朽化や陳腐化が進み、また、ユニバーサルデザインの導入が不十分です。市民が安全に、安心して使用できる整備が必要です。 ・ 令和4年度から公共施設予約システムを導入しましたが、十分に利用されていません。						
上記の課題解決のための有効策			・ 既存の施設と設備の維持管理と定期点検を実施し、市民が安全、安心、快適に施設を使用できるよう、優先度を見極めながら改修を進めます。 ・ 公共施設予約システムの安定稼働と利用促進に取り組みます。						
次年度に向けての取り組み			・ 既存の施設と設備の維持管理と定期点検を実施し、必要な改修を進めます。 ・ 公共施設予約システムの利用促進に向け、当館の利用団体を対象にシステムの利便性を周知します。						

1 事業概要

事務事業名		文化会館文化芸術事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	H21	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	5	文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる				
	分野別計画			飯田市教育振興基本計画				
				飯田市文化芸術振興基本方針				
	法令・例規等			文化芸術振興基本法				
				音楽文化の振興のための学習環境の整備等に関する法律				
				文化芸術推進基本計画				
事業目的		対象	市民、文化芸術の普及・振興を担う人材					
		意図	文化芸術の振興を図ることによって、市民が心豊かな生活を送るための一助とする					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容						事業費(千円)	
	・舞台芸術鑑賞事業は、「キーウ・クラシック・バレエ」を招聘し、バレエの魅力を幅広い年代に届けました。地元出身ロックユニット「GLIM SPANKY」の凱旋ライブを豊丘村と共同開催しました。 ・オーケストラと友に音楽祭の将来ビジョン実現に向け、安定した運営を継続するため、企業や個人からの協賛を募る宣伝活動をしました。 ・小中学生が生の舞台芸術を鑑賞できるように、主体となる学校を支援しました。 ・伊那谷文化芸術祭を飯田文化協会と共催することにより、市民が主体的に取り組む活動を支援しました。			舞台芸術鑑賞事業						420	
				市民舞台芸術創造支援事業						1,006	
				オーケストラと友に音楽祭開催事業						9,900	
				小中学生芸術鑑賞事業						471	
				会計年度任用職員						3,166	
その他の経費						0					
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	オーケストラと友に音楽祭参加者数		人	5,200	446	5,200	2,516	5,200	4,725	5,200	5,617
	伊那谷文化芸術祭参加者数（出演・鑑賞）		人	7,000	0	7,000	1,269	7,000	4,150	7,000	4,300
	舞台芸術創造支援事業参加団体・学校数		団体・校	70	13	70	6	70	10	70	17
	舞台芸術鑑賞事業数		事業	4	2	4	3	4	4	4	4
	小中学生芸術鑑賞事業数		校					10	8	10	10
6年度 決算 (千円)	予算額		20,275	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		14,963								
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
		一般財源	14,963								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	11	3	4,148	420	舞台芸術鑑賞事業費
2	1	10	5	7	11	5	1,007	1,006	市民舞台芸術創造支援事業費
3	1	10	5	7	11	7	11,000	9,900	オーケストラと友に音楽祭開催事業費
4	1	10	5	7	11	9	600	471	小中学生芸術鑑賞事業費
5	1	10	5	7	1	3	3,520	3,166	会計年度任用職員人件費
6									
7									
振返り課題認識		・オーケストラと友に音楽祭は、将来ビジョン実現のために安定した財源の確保や、こどもから大人まで楽しみ、学べる内容に充実する取組が必要です。 ・舞台芸術を行う市民のレベルアップと芸術文化振興のため、参加団体の維持や広がりが必要です。 ・児童や生徒が生の舞台芸術を鑑賞するために、主体となる学校が更に利用しやすい制度とすることが必要です。							
上記の課題解決のための有効策		・オーケストラと友に音楽祭は、こどもたちが参加しやすい計画を実行委員と協議し工夫していきます。 ・市民舞台芸術振興は、小・中・高等学校など参加者を広く公募し、広報宣伝にも取り組むことで充実を図ります。 ・より多くの小中学校が舞台芸術鑑賞を実施できるように、学校担当者にヒアリングを行い、支援制度を検討します。							
次年度に向けての取り組み		・オーケストラと友に音楽祭は、市民ニーズを把握しながらブラッシュアップし、財政健全化の取組を進めます。 ・市民舞台芸術創造支援事業は、引き続き広報活動を充実させ児童生徒の参加者の増加を図ります。 ・小中学生の舞台芸術鑑賞は、学校が更に利用しやすい制度とすることで実施校を増やし、事業の充実を図ります。							

1 事業概要

事務事業名		人形劇のまちづくり事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策		実施区分	継続
					開始			終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	5	文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる					
			4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			飯田市文化芸術振興基本方針						
			人形劇のまちづくりを推進する新たな仕組みに関する方針						
	法令・例規等								
事業目的		対象	市民						
		意図	人形劇フェスタのみならず、年間を通じて人形劇を鑑賞したり、体験したり、公演の企画運営を行い、人形劇のまちとしての魅力や価値を高めます。						

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・人形劇フェスタ、人形劇公演、巡回公演などを年間通じて実施し、市民が人形劇に触れる機会を創出しました。 ・人形劇活動に取り組む市内の小中学校へ講師を派遣し、制作支援を行いました。 ・伊那谷の伝統人形浄瑠璃を保存継承するために、後継者育成などの課題解決に向けて協議しました。 ・人形浄瑠璃施設の冷房需要に対応するため、今田人形の館及び黒田人形浄瑠璃伝承館に空調設備を設置しました。 ・人形劇の友・友好都市国際協会（A V I A M A）総会や「せかいの劇場」公演を通して海外劇団との交流を図りました。			いいだ人形劇フェスタ開催事業負担金				18,000			
				「いいだ人形劇センター」活動支援負担金				11,000			
				人形劇公演・巡回公演事業負担金				3,842			
				人形劇講座、地域劇団、人形劇活動への支援				3,186			
				人形劇のまち国際化推進事業費				452			
				伝統人形芝居保存伝承活動支援（空調整備含む）				20,235			
				「人形劇のまち飯田」運営協議会負担金				534			
				人形とけい塔設備保守委託料他				885			
				会計年度任用職員				6,876			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	ワッペン期間中の観劇者数		人	15,000	5,290	12,000	0	12,000	23,255	12,000	26,575
	人形劇公演（市・センター主催）観劇者数		人	4,000	5,595	4,000	8,535	4,000	8,021	4,000	8,578
	人形劇講座開催数		回	80	101	80	135	100	129	100	123
	伝統人形保存継承のための研修回数		回	19	3	19	19	19	20	19	17
	国外劇団の公演数		数	6	0	2	0	4	17	4	24
	学校人形劇取り組んでいる学校数		校	23	23	23	24	23	20	23	19
6年度 決算 (千円)	予算額		67,552	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		65,010	（地）一般事業（充当率75％）11,500千円 （地）脱炭素化推進事業（充当率90％）1,300千円 （そ）ふるさと寄附金 6→7 緑越明許費 917千円							
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	12,800								
		その他	6,024								
		一般財源	46,186								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	13	1	12,546	12,419	人形劇のまちづくり推進事業費
2	1	10	5	7	13	4	18,000	18,000	いいだ人形劇フェスタ開催事業費
3	1	10	5	7	13	10	3,842	3,842	人形劇公演事業費
4	1	10	5	7	13	11	3,357	3,186	人形劇創造支援事業費
5	1	10	5	7	13	12	1,298	452	人形劇のまち国際化推進事業費
6	1	10	5	7	13	14	21,430	20,235	伝統人形芝居振興事業費
7	1	10	5	7	1	3	7,079	6,876	会計年度任用職員人件費
振り返り課題認識			・フェスタの観劇者数は前年度より増加したものの、コロナ禍前の数字には戻っていません。併せて、物価高騰により諸経費が増加しており、これまでと同規模の開催が可能なのかも含めて検討する必要があります。また、協賛を増やすなどの収入確保についても検討が必要です。 ・少子高齢化の影響により、伝統人形浄瑠璃の保存継承が困難になってきており、人材育成が喫緊の課題です。						
上記の課題解決のための有効策			・今後もフェスタを持続可能な運営にしていくために、実行委員会で継続的に検討していく必要があります。 ・伝統人形浄瑠璃の保存継承は、短期的な課題解決ができないため、長期的な視点を持ちながら、今からできることを関係団体と協議検討し、具体的な実践を積み重ねていくことが必要です。						
次年度に向けての取り組み			・実行委員による「フェスタの未来を語る会」を実施し、今後のあり方を検討します。 ・伝統人形浄瑠璃は伊那谷四座で初心者向けの三味線体験会を実施し、体験者を増やすとともに座員の研さんを図ります。						

1 事業概要

事務事業名		竹田人形館管理運営事業			会計	一般会計		
					事業区分	経常	実施区分	継続
					開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	5	文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			人形劇のまちづくりを推進する新たな仕組みに関する方針					
	法令・例規等		竹田扇之助記念国際糸操り人形館設置条例					
事業目的		対象	市民					
		意図	1 人形美術の素晴らしさを鑑賞できるようにする。2 人形劇のまちへの理解を深める。3 竹田人形の糸操り人形技術の継承。					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容						事業費(千円)	
	・市民に身近な人形館として、市内の保育園、小学校、公民館活動などで訪れていただき、人形劇や糸操りを身近に感じる機会を提供しました。 ・こどもを対象としたワークショップを新規に実施しました。 ・1月の初春を寿ぐ竹田人形館公演は、チケットが完売し、リピーターを含めて、人形劇の魅力を多くの方に伝えることができました。 ・GLIM SPANKY凱旋公演に関連する特別展や隣接する麻績校舎の記念公演などの効果もあり、入館者数は昨年度対比で921人の増加となりました。			人形館維持管理費用						3,894	
				企画展、展示替えに関する費用						220	
				会計年度任用職員						4,818	
その他の経費						0					
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	竹田人形館の年間入館者数		人	3,700	1,656	3,700	2,440	3,700	2,108	3,700	3,029
	実演宣伝数		回	5	2	5	8	5	5	5	3
	営業活動数		回	2	2	2	3	2	1	2	1
6年度 決算 (千円)	予算額		11,105	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		8,932	(そ) 竹田人形観覧料 566千円							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) グッズ販売手数料 35千円							
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	601								
		一般財源	8,331								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	13	2	5,704	4,114	竹田人形館管理費
2	1	10	5	7	1	3	5,401	4,818	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識			・こども向けのワークショップやGLIM SPANKYの特別展、麻績校舎の記念公演により入館者数が増えました。 ・季節やイベントにより入館者数が左右されるため、閑散期にも入館者の増加につながる新たな企画などの検討が必要です。 ・当館の展示だけでなく、外部と連携した企画展示が必要です。						
上記の課題解決のための有効策			・入館者の増加を目指して、継続的な広報や営業、展示の検討などを実施します。 ・市内の伝統人形浄瑠璃（今田、黒田、伊豆木など）や美博、川本人形美術館などと連携した展示について研究することで新たな誘客に取り組みます。また、SNSを活用した広報を研究します。						
次年度に向けての取り組み			・当館の特徴や魅力を知ってもらうための機会を増やすために、新たな企画や講座の提供を行っていきます。 ・ブログだけでなく、SNSを活用した取組を進めていきます。 ・飯田下伊那の小中学校や商業施設（観光施設など）への営業を積極的に進めていきます。						

1 事業概要

事務事業名		川本人形美術館管理運営事業			会計	一般会計		
					事業区分	経常	実施区分	継続
					開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	5	文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			人形劇のまちづくりを推進する新たな仕組みに関する方針					
	法令・例規等		飯田市地域人形劇センター条例					
事業目的		対象	市民					
		意図	1 人形美術の素晴らしさを鑑賞できるようにする。2 人形劇のまちへの理解を深める。3 施設を活用した多彩な活動を実施してもらう。					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容		経費の内容						事業費(千円)		
	・人形展だけでなく人形衣裳展を今年初めて開催しました。 また、関連企画として川本氏が収集した布地を使用した匂い袋作成等のワークショップを9回開催しました。 ・川本喜八郎生誕100年記念企画として、川本氏ゆかりの方々によるトークショーや軌跡のパネル展など、様々な催しを行いました。これらの成果として、入館者数は昨年度対比788人の増加となりました。 ・SNS（X）を通じて、イベント告知やブログ更新など、定期的に情報発信しました。		施設管理業務委託料						23,131		
			施設修繕費						3,600		
			共用部管理負担金						6,625		
			施設改修工事他						235		
その他の経費						0					
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	川本喜八郎人形美術館の年間入館者数		人	20,000	6,510	20,000	10,060	20,000	11,902	20,000	12,690
	企画展、展示替え、ワークショップ [※] の開催数		回	10	10	10	22	10	17	10	20
	営業活動数		回	15	11	15	11	15	13	15	15
	情報誌発行部数		数	28,000	27,700	28,000	27,400	28,000	26,700	28,000	26,600
6年度 決算 (千円)	予算額		34,639	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		33,591								
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
		一般財源	33,591								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	13	9	34,639	33,591	地域人形劇センター管理費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識			・入館者が増加傾向にありますが、目標値の20,000人には届きませんでした。川本喜八郎生誕100年に合わせた企画の実施や広報活動を充実させる必要があります。 ・開館から18年が経過し、施設空調の故障が各所で生じており補修の必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			・川本喜八郎生誕100年の年であることを広く周知するため、その手法を関係者と協議検討し、着実に実践する必要があります。 ・施設の計画的な保全を行っていく必要があります。						
次年度に向けての取り組み			・広報いいだ（特集記事）やSNSでの発信を通して川本美術館の魅力を市民へ広報していきます。 ・継続的に地域や他施設と連携した事業に取り組みます。 ・適切な施設の保全に向けた検討をしていきます。						

1 事業概要

事務事業名		文化施設整備事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	R4	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	5	文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
	法令・例規等							
事業目的		対象	市民					
		意図	飯田市の文化芸術活動の拠点施設としての新文化会館の建て替えに向けた検討を進めます。					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・基本計画づくりを進めるため、専門家会議を設置して、基本計画の検討に関する意見聴取を行いました。 ・新文化会館整備検討委員会において、施設の整備方法が基本構想の実現にどのように影響するのかについて意見聴取を行いました。 ・専門家会議、新文化会館整備検討委員会の様子を広く市民の皆さんへ周知するため、定期的にニュースレターを発行するなど、広報活動を実施しました。 ・基本構想の基本方針の1つ「集う」を考えるための市民ワークショップを実施しました。			基本計画策定費等				5,559			
			その他の経費				0				
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	ワークショップ		回			4	2	4	2	4	3
	検討会議（検討委員会、専門委員会等）		回			5	5	5	6	6	3
	ニュースレターの発行		回					5	6	5	3
6年度 決算 (千円)	予算額		19,968	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		5,559	6→7 繰越明許費 6,000千円							
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
		一般財源	5,559								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	14	1	19,968	5,559	文化施設整備事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識			施設を一体的に整備する方法に加えて、施設を複数箇所に分散して整備する方法も選択肢として検討することから、当初、基本計画を令和6年度に策定するとしていましたが、令和7年度にかけて計画づくりを進めることとし、引き続き検討を進める必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			専門家会議と新文化会館整備検討委員会を開催し、基本計画づくりを進めます。検討状況を広く市民の皆さんへ周知するため、定期的にニュースレターや情報誌を発行するなど、広報活動を実施します。						
次年度に向けての取り組み			新文化会館の基本構想の実現に向けて、建設候補地の選定を行うとともに基本計画づくりを進めます。また、検討状況をさまざまな手段で市民の皆さんへお伝えします。						

1 事業概要

事務事業名		歴史研究所管理事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	H15	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
		○	飯田市歴史研究所第5期中期計画					
	法令・例規等		飯田市歴史研究所条例					
		飯田市歴史研究所管理運営規則						
事業目的		対象	市民、研究者等					
		意図	研究所の適正な管理運営を行い、地域遺産である史料を現在および未来の市民や研究者等に活用してもらう。					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・第5期中期計画に基づく事業を評価して、成果や課題を反映した計画素案を作成。さらに庁議、教育委員会、市議会、歴史研究所協議会等での意見聴取やパブリックコメントを経て、歴史研究所第6期中期計画を策定しました。 ・押洞書庫と周辺環境の整備を行いました。 ・所管する書庫の使用状況の確認及び収蔵場所の確保に向けた検討をしました。 ・旧役場文書及び収蔵場所の現状を確認し、市の歴史公文書管理の課題について所内の意見を集約し、関係部署との情報共有を行いました。			会計年度任用職員（レファレンス）				2,297			
				歴史研究所運営経費				1,479			
				歴史研究所施設維持経費				3,187			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	開所日数		日	246	192	245	246	247	247	251	251
	施設の利用者数		人	250	255	300	266	300	294	300	342
	相談・資料照会等数（単年度）		件	200	220	150	212	150	262	200	294
	新たに収集した史料数		件	10	19	25	13	25	5	15	8
	新たに公開した史料数		件	10	10	10	14	10	12	15	12
6年度 決算 (千円)	予算額		7,841	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		6,963	(そ) 歴史研究所寄附金 100千円							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 職員駐車場借地料負担金 55千円							
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	155								
		一般財源	6,808								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	8	10	1	5,145	4,666	歴史研究所管理費
2	1	10	5	8	1	3	2,696	2,297	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識			・地域団体の解散、家の建替えや後継者の不在等により、所蔵者による史料保存が困難になってきています。地域や市民からの史料受入れと、市非現用文書からの歴史公文書への移管に対して、現在の書庫だけでは数年後には収蔵しきれなくなることが予想されます。継続した収蔵場所の確保に向けた取組が必要です。 ・老朽化した施設の維持管理が必要です。						
上記の課題解決のための有効策			・他の社会教育機関等と連携した史料の収蔵場所の確保と保存方法についての研究・検討を行います。 ・施設の点検と必要な修繕を行います。						
次年度に向けての取り組み			・書庫内に見つけた空きスペースに棚を設置して、文書箱約60個分の収蔵場所を確保します。 ・他の社会教育機関等と連携した史料の収蔵場所の確保と保存方法についての研究・検討を継続していきます。 ・施設の点検を定期的に行い、必要な修繕の対応をしていきます。						

1 事業概要

事務事業名		歴史研究所事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	H15	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市歴史研究所第5期中期計画					
	法令・例規等		飯田市歴史研究所条例					
			飯田市歴史研究所管理運営規則					
事業目的		対象	市民、研究者等					
		意図 <td colspan="5">歴史的価値を有する記録を収集し、保存して広く利用に供するとともに、調査研究をし、その成果を市民に還元することにより将来の地域づくりにつなげる</td>	歴史的価値を有する記録を収集し、保存して広く利用に供するとともに、調査研究をし、その成果を市民に還元することにより将来の地域づくりにつなげる					

2 事業内容

6年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・主催する地域史研究集会、ワークショップ2回、飯田アカデミア4回を会場とオンライン併用で実施して、学びの場を提供しました。学校や地域団体に研究員等を講師として13回派遣して、地域の学習活動を支援しました。 ・研究成果として、「年報」と「史料で読む飯田・下伊那の歴史4 満洲移民と青少年義勇軍」の2冊を発行しました。 ・旧小笠原家書院築400周年年祭に合わせた地域史講座を開催したほか、地区実行委員会事業への協力や図書館や美術博物館の講座の講師を特任研究員が担当して、事業全体を支援しました。 ・美術博物館と共催の古文書講座を月2回開催しました。			会計年度任用職員（研究員、研究補助）				11,246			
				研究集会、年報発行				1,518			
				史料調査研究活動				1,577			
				教育普及活動				1,205			
				地域史編さん・出版				753			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	刊行物、論文数		件	10	22	10	9	10	11	10	25
	地域史研究集会参加者数（延べ人数）		人	150	197	150	244	150	156	180	137
	地域史講座等参加者数（延べ人数）		人	120	100	120	202	80	153	150	88
	飯田アカデミア参加者数（延べ人数）		人	160	110	200	170	150	356	280	266
	歴研ゼミナール等参加者数		人	500	455	500	548	500	508	550	523
	認定した市民研究員数（単年度）		人	1	0	1	0	1	0	1	0
	地域団体との共同調査研究数		件	2	2	2	2	2	2	2	2
6年度 決算 (千円)	予算額		18,003	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		16,299	(そ) 出版物等売却代 553千円							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 諸収入 42千円							
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	595								
		一般財源	15,704								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	8	11	1	3,818	3,095	歴史研究所調査研究事業費
2	1	10	5	8	11	2	1,498	1,205	歴史研究所教育事業費
3	1	10	5	8	11	4	838	753	市誌編さん事業費
4	1	10	5	8	1	3	11,849	11,246	会計年度任用職員人件費
5									
6									
7									
振返り課題認識			・主催する講座等の参加者は高齢者層が多く、地域の歴史について次代を担う人材となる年齢層にどう伝えていくかが課題になります。 ・地域史研究に関わる人材を育成していく必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			・主催する講座等とは別に、小中学生、高校生を対象とした出前講座などの学習機会の開設に向けて取り組みます。 ・古文書講座に、読解能力の向上を目的とした中級講座を新設し、地域史研究に関わる人材育成事業に位置づけて取り組みます。						
次年度に向けての取り組み			・小中学校や高校での学習機会の開設に向けて、学校と関係機関が情報共有や意見交換などを行い、学習機会を提供できる体制づくりに取り組みます。 ・美術博物館と共催の古文書講座を前半は初級講座、後半は中級講座の二段階に分けて開催します。						

事業No.	事業名
264	文化財保護事業

＝ 補足資料 ＝

成果の補足説明					
飯田市考古博物館入館者数					
区分	個人	団体	減免	無料	計
一般	873 人	122 人	43 人	人	1,038 人
高校生			15		15
小中学生			286		286
無料				1,307	1,307
計	873	122	344	1,307	2,646
観覧料収入					201,000 円

事業No.	事業名
274	図書購入・提供事業

＝ 補足資料 ＝

成 果 の 補 足 説 明

1 個人貸出状況（延べ数）

	一 般		児 童	
	貸出冊数(冊)	貸出人数(人)	貸出冊数(冊)	貸出人数(人)
中 央	251,530	77,151	65,277	13,697
駅 前	16,720	6,300	4,940	1,227
鼎	50,041	16,116	23,346	5,303
上 郷	81,353	26,660	43,006	10,203
分 館	47,891	17,117	49,588	15,330
合 計	447,535	143,344	186,157	45,760

	計	
	貸出冊数(冊)	貸出人数(人)
中 央	316,807	90,848
駅 前	21,660	7,527
鼎	73,387	21,419
上 郷	124,359	36,863
分 館	97,479	32,447
合 計	633,692	189,104

※「一般」は16歳以上の利用者をいう。
「児童」は0歳から15歳までの利用者をいう。

2 団体貸出状況（延べ数）

	貸出冊数(冊)	貸出団体数(団体)
中 央	10,851	1,506
駅 前	512	75
鼎	4,960	532
上 郷	18,299	1,727
分 館	24,077	1,524
合 計	58,699	5,364

※「団体」とは、高齢者介護施設や学校・保育園など
利用登録した団体をいう。

※「一般」は16歳以上の利用者をいう。
「児童」は0歳から15歳までの利用者をいう。

※「団体」とは、高齢者介護施設や学校・保育園など
利用登録した団体をいう。

(参考資料)

社会教育関係各課・館・所の令和7年度事業計画

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		小中学校キャリア教育推進事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		学校教育課			開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる					
			3	飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
	法令・例規等								
事業目的		対象	小中学校児童生徒及び保護者、小中学校教職員、地域、事業所						
		意図	ふるさと飯田とのつながりを知り、誇りや愛着を持つとともに、ふるさと飯田に軸足を置きつつグローバルな視点・素養を持つ人材を育成する。						

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	リニア中央新幹線や三遠南信自動車道開通後のグローバル社会を見据え、地域の歴史や文化への深い理解とアイデンティティを大切にしつつ、予測不能な社会を生き抜くために必要な力や広い視野を有する人材の育成が求められています。地育力を活用した環境学習、ふるさと学習、体験学習、職場・福祉体験等を、園・小・中・高が一貫した理念で推進し、子供たちの多様な自己実現の可能性を拡げる飯田型キャリア教育の充実が重要です。
リスク及び機会(ISO)	

7年度取組	取組内容		経費の内容		事業費(千円)
	・ふるさとを愛し、ふるさとの未来と自分の夢を主体的に創造していける子供を育成する飯田のキャリア教育を「飯田学園構想」の中で特設教科を軸として推進します。 ・職場体験、福祉体験、地育力を活用したふるさと学習など、各校が実施するキャリア教育活動を支援します。 ・中学生を対象に次代を担う人材を育成する「結いジュニアリーダー育成事業」を実施します。 ・飯田東中学校りんご並木後援会等と連携し、飯田東中学校のりんご並木における学習活動を支援します。また、りんご並木の今後の管理方法や中学校を支える仕組みについて検討します。 ・三遠南信地域の中学生在が相互に学ぶ学習交流活動を、浜松市と豊橋市との連携のもと実施します。		キャリア教育学校交付金		2,500
			キャリア教育研究委員会講師謝礼		45
			キャリア教育バス・タクシー借上代		50
			中学生の福祉・職場体験学習への支援		336
			結いジュニアリーダー育成講座事業		52
			りんご並木育成活動事業費		1,429
			三遠南信中学生交流会事業費		854
			その他の経費		0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	小中一貫教育によるキャリア教育実施校数	校	28							
	職場体験を受け入れる事業所数	所	280							
	りんご並木アドバイザー委嘱人数	人	3							
	三遠南信中学生交流会参加者	人	34							
	学園地域コーディネーター配置人数	人	9							

7年度予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項	
	事業費 計		5,266	(そ) ふるさと寄附金	
	国庫支出金		0		
	県支出金		0		
	地方債		0		
	その他		2,900		
	一般財源		2,366		

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	3	2	17	1	2,983 0	キャリア教育推進事業費
2	1	10	3	2	15	2	1,429 0	りんご並木育成活動事業費
3	1	10	3	2	15	3	854 0	三遠南信中学生交流事業費
4								
5								
6								
7								

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		地育力向上連携推進事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名		生涯学習・スポーツ課			開始	R2	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる				
			3	飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
	法令・例規等		飯田市キャリア教育推進協議会設置要綱					
事業目的		対象	幼児期から高等教育期までの者、一般					
		意図	地域に誇りや愛着を持つとともに、ふるさと飯田に軸足を置きつつグローバルな視点で地域に貢献できる人材になる。地育力を活用したプログラムを展開する。					

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・幼児期から高等教育期まで一貫した地域人育成を確立するために、全体をつなぐコーディネート機能を充実させる必要があります。その上で、園小連携、小中連携・一貫教育、中学校と高等学校との連携を進め、地域人材確保に向け地元企業との連携も進めていく取組が必要です。
リスク及び機会(ISO)	・伊那谷の自然と文化を支えていく人材確保に向けた取組を進めていく必要があります。
	・教育委員会の情報を直接保護者に届け、教育に関する理解を深めていく必要があります。

7年度取組	取組内容		経費の内容		事業費(千円)
	・キャリア教育推進協議会や、市内横断的な連携会議を開催し、こどもや若者の生きる力を育むことや、未来の地域の担い手となる人づくりの大切さを共有して、地育力を活用したキャリア教育に取り組みます。また、関係機関・団体等が連携してキャリア教育推進フォーラムを開催します。 ・市内高等学校が求める探究学習の相談窓口の一元化による高校の学びを支援します。また、高校生を対象とした意識調査を実施し、今後の展開に活かします。 ・伊那谷の自然と文化を支える人材育成を行います。 ・小中学生の保護者を対象とした情報誌H a g uを発行します。		キャリア教育推進コーディネーター人件費		4,306
			地域人材育成のためのフォーラム等開催経費		171
			伊那谷の自然と文化を支える人材育成		163
			教育委員会情報誌H a g uの発行		288
			その他の経費		0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	地域人育成に関わる会議等の開催数	回	14							
	高校生を対象とした意識調査回数	回	1							
	教育委員会情報誌の発行回数	回	3							
	伊那谷の自然と文化人材育成講座参加者数	人	25							

7年度予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項					
	事業費 計		4,928	(そ) ふるさと寄附金					
	国庫支出金		0						
	県支出金		0						
	地方債		0						
	その他		600						
	一般財源		4,328						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額	現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	1	1	3	4,306	0	会計年度任用職員人件費
2	1	10	5	1	14	1	622	0	地育力向上連携推進事業費
3									
4									
5									
6									
7									

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		平和学習・人権教育推進事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名		生涯学習・スポーツ課			開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
	法令・例規等		非核平和都市宣言					
			人権尊重都市宣言					
			飯田市差別の撤廃と人権の尊重に関する条例					
事業目的		対象	小中学生、高校生及び一般					
		意図	内外の戦争の惨禍の真実から平和について考え次世代に平和の大切さを語り継ぐ。人権尊重意識の高揚と多様性を認め合う社会を築こうとする心を育む。					

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)リスク及び機会(ISO)	・戦争の歴史を風化させることなく、その悲惨さや平和の大切さを次世代に語り継いでいくため、学校教育及び社会教育の両面で平和教育を進めるとともに、飯田市平和祈念館の展示及び活用について幅広い市民の意見を聞きながら進めていく必要があります。 ・偏見や差別をはじめ、女性、外国籍、同和、性的思考など、多様化する人権課題を把握し、学習活動として取り組んでいく必要があります。
------------------------------------	---

7年度取組	取組内容		経費の内容		事業費(千円)
	・飯田市平和祈念館展示・活用検討委員会を開催し、幅広い市民の意見をお聞きし、より良い祈念館となるように検討します。 ・飯田市平和祈念館の案内と収集した資料の整理を行います。 ・飯田市平和祈念館や満蒙開拓平和記念館を活用した、市内小中学校の平和学習の支援と、高校生・若者を対象とした平和・多文化学習講座を行います。 ・満蒙開拓平和記念館自治体パートナー制度へ加入し運営を支援します。 ・各地区や公民館等において、関係団体と連携した人権尊重に関する講座や講演会を開催します。		平和祈念館の案内及び活用のための人件費		2,760
			平和祈念館展示・活用検討委員会開催経費		308
			平和祈念館の案内、活用、資料整理ほか		866
			小中学校での平和学習支援		1,607
			高校生若者対象の平和・人権・多文化学習支援		265
			公民館等での人権学習支援		138
			満蒙開拓平和記念館自治体パートナー制度協力金		250
			その他の経費		0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	満蒙記念館を活用した平和学習実施校数	校	10							
	市平和祈念館を活用した平和学習実施校数	校	3							
	市平和祈念館で案内を行った回数	回	50							
	人権学習講座数	回	130							
	教職員研修の実施回数	回	2							
	高校生若者対象平和・人権・多文化学習講座参加者数	人	70							
	飯田市平和祈念館展示・活用検討委員会の開催数	回	3							

7年度予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項						
	事業費 計		6,194	(県)人権教育促進事業補助金(1/2)						
	国庫支出金		0							
	県支出金		75							
	地方債		0							
	その他		0							
	一般財源		6,119							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	1	1	3	2,760 0	会計年度任用職員人件費
2	1	10	5	1	10	5	138 0	人権教育推進事業費
3	1	10	5	1	10	6	3,296 0	平和学習推進事業費
4								
5								
6								
7								

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		社会教育運営事務			会計	一般会計			
					事業区分	経常	実施区分	継続	
担当課等名		生涯学習・スポーツ課			開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画								
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画						
	法令・例規等		社会教育法						
事業目的		対象	市民及び社会教育関係団体						
		意図	学習環境を整えることにより、市民及び社会教育関係団体等の主体的、組織的な学習活動が活発に展開される。						

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・これからの地域社会の大きな変化や人口減少社会への対応を見据え、持続可能な地域づくりを実現するためには市民一人ひとりの自治意識の高揚が肝要であり、飯田の持つ地育力を最大限に活かした主体的で組織的な学習活動を展開できる環境づくりが必要です。
リスク及び機会(ISO)	・こうした市民の学習活動の基盤整備を進めるとともに、側面的な支援を継続するための専門職の育成も求められています。

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・社会教育委員会議を開催し、社会教育のあり方や推進についての意見や提言等を施策に反映します。 ・教育功労者の審査、決定、表彰を行います。 ・市民主体の教育活動に対し、教育委員会への後援又は共催依頼について審査・決定します。 ・飯田ユネスコ協会の活動を支援します。 ・愛宕蔵を維持、管理します。 ・住民の主体的な学びあいを支援する公民館主事の専門性を確保するため、職員の社会教育主事の資格取得を進めます。			社会教育委員会議経費				422			
				教育功労者表彰経費				154			
				愛宕蔵の維持・管理費				1,096			
				社会教育主事の資格取得				286			
				社会教育事務経費				882			
その他の経費				0							
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	社会教育委員会議の開催数		回	3							
	教育功労者表彰受賞者数		件	50							
	共催・後援許可数		回	250							
	ユネスコ協会活動支援数		回	4							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		2,840								
	国庫支出金		0								
	県支出金		0								
	地方債		0								
	その他		0								
	一般財源		2,840								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額	現計予算額	中事業名(科目名称)	
1	1	10	5	1	10	1	2,840	0	社会教育一般経費	
2										
3										
4										
5										
6										
7										

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		科学実験教室推進事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名		生涯学習・スポーツ課			開始	H11	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
法令・例規等								
事業目的		対象	児童、生徒及び一般					
		意図	科学実験を通して、科学の楽しさや不思議さを学び、興味を持ってもらう。					

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・理科実験ミュージアムの実施や出前工房などの依頼に対応するため、スタッフの拡充や育成が課題です。 ・子供たちの体験活動の一つとして充実させるために、学校・PTA・地域との連携体制の構築も重要となります。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容	事業費(千円)
	・南信州飯田おもしろ科学工房の活動を支援し、子供や市民に科学のおもしろさ、不思議さを体験してもらうため、かざこし子どもの森公園を拠点に理科実験ミュージアムを開催します。 ・また、出前工房（出前方式の科学実験教室）や科学実験講座を通じて学校、地域へ理科実験を広げ、科学に関する興味や関心を高めます。 ・それぞれの活動において生徒や企業等のボランティアスタッフを募集し、活動継続のための人材育成に取り組みます。		理科実験ミュージアム運営事業補助金	1,050
			その他の経費	0

活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	理科実験ミュージアム参加者数	人	3,500							
	地域や学校への出前工房参加者数	人	3,000							
	小中学校のクラブ支援事業参加者数	人	1,200							

7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項						
	事業費 計		1,050							
	国庫支出金		0							
	県支出金		0							
	地方債		0							
	その他		0							
	一般財源		1,050							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	1	10	4	1,050 0	科学実験教室推進事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		わが家の結いタイム推進事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名		生涯学習・スポーツ課			開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
法令・例規等		飯田市わが家の結いタイム推進協議会設置要綱						
事業目的		対象	幼児・小中学校児童生徒のいる家庭、地域					
		意図	家族がともに時間を過ごし、相互に成長することで生きる力を育む。基本的な生活習慣を身に付けるとともに、こどもを育てる家庭の教育力を向上させる。					

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・家庭は、こどもが日常生活の中で基本的な生活習慣、社会的なマナー等を身につけていく上で重要な役割を担っています。キャリア教育推進協議会等においても、家庭教育はキャリア教育で育みたい力（人とつながる力など）を身につける上で基礎となる重要な役割があることが再確認されています。
リスク及び機会(ISO)	・コロナ禍の市民意識調査において、家庭におけるこどもとのコミュニケーション(会話やお手伝い等)の頻度が低下している状況にあります。

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・家族と一緒に過ごす時間を「わが家の結いタイム」として、結いの日（第3日曜日）、推進月間（7・11・2月）を中心に啓発活動を行います。 ・わが家の結いタイムの取組の理解と各家庭の実践につなげていくために、三行詩コンクールを実施します。 ・わが家の結いタイム推進協議会を開催し、学校や地域と連携した家庭教育の推進について協議し、各団体等の取組に反映します。 ・子育てや家庭教育の充実のためには、職場の理解や協力が必要なことから、パートナー企業認定制度の認定企業の拡大に取り組めます。		三行詩コンクール等による意識啓発				93				
			企業向け意識啓発				60				
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	保・小・中学校・企業への意識啓発回数		回	25							
	取組事例集を活用した保育園・学校数		園・校	20							
	啓発活動に取り組んでもらえた企業数		社	20							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		153								
	国庫支出金		0								
	県支出金		0								
	地方債		0								
	その他		0								
	一般財源		153								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	1	10	7	153 0	家庭教育推進事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		青少年育成事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名		生涯学習・スポーツ課			開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
	法令・例規等		飯田市青少年問題協議会条例					
		飯田市青少年育成センター設置要綱						
事業目的		対象	小・中・高校生及びその家庭、地域					
		意図	多様な人との交流や様々な体験を通して健全な心を育む。青少年にとってよりよい社会環境の整備を図り、地域社会全体で健全育成を推進する。					

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)リスク及び機会(ISO)	・国立青少年教育振興機構の調査によると、自然体験が多いこどもほど自己肯定感が高い傾向にあります。 ・社会の環境変化により、自然体験は減少傾向となっているため、こどもたちに様々な体験機会を提供できるようにしていく必要があります。 ・県内の少年非行は減少傾向にあります。一方で、地域や家庭の目が届きづらいインターネット上でトラブルに巻き込まれるケースも増えてきています。
------------------------------------	---

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)			
	・伊勢市との小学生交流会は対面での交流を取りやめ、今までの交流の成果を振り返りつつ、海のある街の生活を紹介し、自ら興味を持って主体的な学びを行うきっかけを作っていく形に切り替えます。 ・親子での体験や地域内のこどもたちの交流の機会を提供するために、飯田子どもまつりを共催します。 ・青少年育成センターを運営し、青少年を取り巻く現状把握に努め、関係者とともに、青少年を健全に育む環境づくりに取り組みます。 ・青少年に係る重大な問題が発生した際に、青少年問題協議会を開催し、関係者により対策を協議します。		伊勢市との小学生交流				93			
			飯田子どもまつり共催負担金等				150			
			青少年問題協議会の開催				31			
			青少年育成センターの運営				154			
その他の経費				0						
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	青少年健全育成に関する会議の開催数	回	2							
	飯田子どもまつり参加者数	人	1,000							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項						
	事業費 計		428							
	国庫支出金		0							
	県支出金		0							
	地方債		0							
	その他		0							
	一般財源		428							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	2	10	1	274 0	青少年健全育成事業費
2	1	10	5	2	10	2	154 0	青少年育成センター事業費
3								
4								
5								
6								
7								

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		文化・スポーツ活動の体制整備事業		会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名		生涯学習・スポーツ課		開始	R5	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画	○	3	飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる			
	分野別計画			飯田市教育振興基本計画			
				飯田市スポーツ推進計画			
				学校部活動の地域クラブ活動への移行に向けた推進計画			
	法令・例規等			社会教育法			
				スポーツ基本法			
事業目的		対象	小中学生、保護者、学校、文化芸術・スポーツ活動団体				
		意図	小中学生が、地域の中で主体的に文化芸術・スポーツ活動ができる環境を、学校・保護者・地域が一体となって整備する。				

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・学校部活動の地域クラブ活動への移行に向けた推進計画に基づき、令和8年度末までに休日の移行を目指した取組を進めるとともに、持続可能な地域クラブ運営の体制づくりに向けた支援が必要です。 ・指導者の育成、会場確保、参加費や送迎等の保護者負担は、引き続きの課題であるため、平日の移行とあわせて、連携協議会等での検討を進めていきます。
リスク及び機会(ISO)	・学校、保護者、地域の理解を得ながら進めていく必要があります。

7年度取組	取組内容		経費の内容	事業費(千円)
	・部活動の地域クラブ活動への移行に向けて支援コーディネーターを配置するとともに関係団体による連携協議会を開催します。 ・部活動指導員や地域指導者の質の向上を図るための研修会を開催します。 ・教育委員会が公認する地域クラブへの活動支援を通じて、持続可能な運営体制の構築をめざします。 ・児童生徒や保護者の理解を深めるために、移行段階における取組やスケジュールなどの情報発信を行います。 ・地域での多様な活動の場としてのスポーツスクールや文化講座を開催します。 ・スクールや講座、地域クラブに参加する生活困窮家庭の生徒に対し、参加費用の一部を補助します。		コーディネーター人件費	6,650
			連携協議会等体制整備の経費	610
			指導者育成研修会・意識啓発等	750
			公認地域クラブ活動支援補助金	2,000
			体験型スポーツスクール・文化講座等の開催	1,210
			生活困窮家庭へのクラブ参加費助成	1,200
			その他の経費	0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	連携協議会等の開催数	回	3							
	指導者研修会の開催数	回	5							
	文化講座等の講座数	講座	30							
	スポーツスクール等の講座数	講座	35							
	保護者や地域への説明・懇談会の開催数	回	69							
	公認地域クラブ数	団体	20							

7年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項	
	事業費 計	12,420	(県) 部活動の地域移行等に向けた実証事業委託金 (10/10)	
	国庫支出金	0	(そ) 文化講座参加者保険料	
	県支出金	7,738		
	地方債	0		
	その他	25		
	一般財源	4,657		

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	1	1	3	6,650 0	会計年度任用職員人件費
2	1	10	6	1	11	12	5,770 0	文化・スポーツ活動体制整備事業費
3								
4								
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		競技スポーツ振興支援事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		生涯学習・スポーツ課			開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			飯田市スポーツ推進計画						
	法令・例規等		スポーツ基本法						
事業目的		対象	市民						
		意図	競技スポーツ団体の活動や指導者育成を支援し、生涯にわたって継続的に競技スポーツに親しむ人口を増やす。全国的に活躍する選手を応援し、競技スポーツへの関心を高める。						

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)リスク及び機会(ISO)	・人口減少にともない、競技人口も減少傾向にあります。市民の競技スポーツへの関心を拡大し、生涯にわたって各競技スポーツに親しむ競技者やサポーターを増やすことで、結果として全国的・国際的に活躍する選手の育成につなげます。 ・競技スポーツの楽しさを伝え、選手の成長やニーズに応じた適切な指導力を有する人材の育成が求められることから、飯田市スポーツ協会の活動を支援し、連携して取り組んでいく必要があります。
------------------------------------	---

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・競技人口の拡大や競技力向上に取り組む飯田市スポーツ協会の運営や各競技団体の活動、指導者育成を支援します。 ・スポーツ協会や民間スポーツクラブ等とも連携してスポーツ教室の開催、ゲーム観戦など一流のプレーに触れ交流できる機会を提供します。 ・中央道沿線都市親善スポーツ大会の開催や県縦断駅伝競走大会、市町村対抗駅伝競走大会等への参加を通じて、市民の競技スポーツへの関心を高めます。 ・全国大会に出場する地元選手や団体等に対し、激励金等によりその活躍を応援し、WEBサイト等で広く市民に発信します。		飯田市スポーツ協会運営支援				7,500				
			中央道沿線都市親善スポーツ大会				200				
			市町村対抗駅伝競走大会				105				
			長野県縦断駅伝競走大会				80				
			競技スポーツ振興事業				504				
		その他の経費				0					
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	指導者養成講座・実践機会の実施回数		回	3							
	飯田市スポーツ協会関係事業への参加者数		人	115,000							
	スポーツ大会等の開催数		大会	14							
	飯田市スポーツ協会加盟団体		団体	22							
	HP等による情報発信の回数		回	12							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		8,389								
	国庫支出金		0								
	県支出金		0								
	地方債		0								
	その他		0								
	一般財源		8,389								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	1	11	1	889 0	スポーツ事業費
2	1	10	6	1	11	7	7,500 0	飯田市スポーツ協会運営支援事業費
3								
4								
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		市民スポーツ推進事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		生涯学習・スポーツ課			開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			飯田市スポーツ推進計画						
	法令・例規等		スポーツ基本法						
			飯田市スポーツ推進委員設置規則						
			飯田市スポーツ推進審議会条例						
事業目的		対象	市民						
		意図	様々なスポーツ機会の提供により、日常生活への運動習慣の定着とスポーツを通じたコミュニティの形成をめざす。運動好きのこどもを育むことで、生涯スポーツの基礎を築く。						

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)		・ こどもの運動習慣の二極化の課題に対し、運動好きのこどもを育むことが生涯スポーツに親しむ人材の育成につながることから、幼少期のスポーツによる健康・体力の向上を目指す取組を進めます。 ・ 成人の日常的なスポーツ習慣の定着を目指すとともに、スポーツ活動や大会を支えるための指導者やボランティア等のスポーツ人材の発掘・育成が課題です。 ・ 障がい者や高齢者も含め、全ての人が継続的に楽しめるスポーツの推進が必要です。									
リスク及び機会(ISO)											
7年度 取組	取組内容				経費の内容				事業費(千円)		
	・ 飯田市スポーツ推進計画に基づき、市民のスポーツ活動を支援します。 ・ スポーツ推進委員と連携して、日常的なウォーキングや多世代が交流できるニュースポーツの普及に取り組み、市民の運動習慣の定着をめざします。 ・ 飯田やまびこマーチや風越山トレイルマラソン大会を開催し、多くの市民に参加いただくとともに、県内外へ飯田市を広くPRしていきます。 ・ こどもの体力・運動能力向上のため、園児や親子を対象としたコーディネーショントレーニング教室を実施するとともに、幼少期の体幹トレーニング等の指導者研修会を実施します。				スポーツ推進審議会				77		
					スポーツ推進委員活動				2,643		
					飯田やまびこマーチ開催				2,370		
					風越山トレイルマラソン大会開催				1,500		
					幼少期の運動能力向上事業				288		
					市民スポーツ推進事業				431		
その他の経費				0							
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	スポーツ推進委員の活動回数 (全市会議・研修・講習会指導)		回	100							
	スポーツ推進審議会開催回数		回	2							
	飯田やまびこマーチの参加者数		人	1,500							
	風越山トレイルマラソン大会の参加者数		人	500							
	コーディネーショントレーニング・指導者研修会等開催回数		回	24							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		7,309	(県) 地域発元気づくり支援金 (3／4)							
	国庫支出金		0								
	県支出金		1,125								
	地方債		0								
	その他		0								
	一般財源		6,184								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	1	11	5	3,439 0	生涯スポーツ推進事業費
2	1	10	6	1	11	6	2,370 0	やまびこマーチ開催事業費
3	1	10	6	1	11	8	1,500 0	風越山トレイルマラソン大会開催事業費
4								
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		2028国民スポーツ大会開催準備事業		会計	一般会計			
				事業区分	経常	実施区分	新規	
担当課等名		生涯学習・スポーツ課		開始	R7	終了	R10	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
		○	飯田市スポーツ推進計画					
	法令・例規等		スポーツ基本法					
事業目的		対象	飯田市民					
		意図	2028年に開催する国民スポーツ大会の開催運営の準備を進め、市民の競技スポーツへの関心を高める。					

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・2028国民スポーツ大会の際に、本市で開催を予定している弓道競技と高等学校野球（軟式）競技の開催に向けて、県や各競技団体との協議を行い、準備を進めていく必要があります。 ・本大会を契機として捉え、市民の競技スポーツへの関心を高めるとともに、この地域のスポーツ振興へつなげていくことが求められています。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・大会開催に向けて、県や競技団体との協議を進めるとともに、今後の準備の参考とするために、先催県への視察を実施します。 ・準備委員会を立ち上げ、今後の大会運営等について検討していきます。 ・市民の競技スポーツへの関心を高め、機運を醸成するために、広報活動に努めます。		準備委員会等の開催				51				
			会議出席、先催県視察旅費等				310				
			意識啓発のための広報活動等				60				
		その他の経費				0					
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	準備委員会等の開催		回	2							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		421								
	国庫支出金		0								
	県支出金		0								
	地方債		0								
	その他		0								
	一般財源		421								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	1	11	13	421 0	2028国民スポーツ大会運営事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		体育施設等維持管理・整備事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		生涯学習・スポーツ課			開始	S47	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			飯田市スポーツ推進計画						
			飯田市教育委員会施設等総合管理計画						
	法令・例規等		長野県都市公園条例						
			飯田市体育施設条例及び体育施設条例施行規則ほか						
事業目的		対象	社会体育施設（施設数：44）学校開放施設（施設数：56）						
		意図	利用者が安全で良好な施設環境のなかで利用できるよう、施設整備と利便性を考慮した維持管理運営を図ります。						

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・施設の老朽化が進む中、緊急性や安全性を考慮した施設整備が求められています。教育委員会施設等総合管理計画に基づき、誰もが安全にスポーツに親しめる利用環境の整備と応急避難施設としての役割を踏まえ、計画的に施設整備を実施し、利用者の安全と利便性を考えた施設の維持管理運営が必要です。
リスク及び機会(ISO)	

7年度取組	取組内容		経費の内容		事業費(千円)
	・体育施設を安全で良好な利用環境となるよう維持管理に努め、施設等総合管理計画に基づき施設の改修を進めます。 ・予防保全：運動公園プールろ過機更新・スライダー補修 ・環境改善：鼎体育館他3施設、座光寺小学校他1施設のトイレ改修、鼎体育館他1施設の照明LED化整備 ・屋外運動場の夜間照明LED化整備を進めます。（桐林運動場、松尾小学校他6施設） ・公共施設予約システムによる申請後の許可証発行等の事務手続きの電子化を進めます。 ・民間の持つ専門性やノウハウを活用し、利用者の利便性や安全性・サービスの向上、管理運営の効率化を図るため、指定管理による運用を行います。		体育施設の受付、管理のための人件費		55,635
			予防保全のための施設改修		74,000
			環境改善のための施設改修		206,000
			屋外運動場の夜間照明LED化整備		260,000
			公共予約システムの管理運用経費		2,249
			指定管理料		45,280
			社会体育施設の維持管理経費		102,393
			社会体育学校開放施設の維持管理経費		17,109
			その他の経費		0

活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	社会体育施設年間利用者数	人	430,000							
	学校開放体育施設年間利用者数	人	340,000							
	勤労青少年ホーム年間利用者数	人	3,000							
	予防保全のための施設改修	件	2							
	環境改善のための施設改修	件	16							

7年度予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項						
	事業費 計		762,666	（国）学校施設環境改善交付金2,734千円、（国）地域脱炭素移行・再エネ推進交付金153,333千円、（県）飯田運動公園管理委託金、（地）公共施設等適正管理推進（充当率90％）66,600千円、（地）緊急防災・減災（充当率100％）166,000千円、（地）脱炭素化推進（充当率90％）63,000千円、（地）一般補助施設等（充当率90％）57,500千円、（そ）広域的体育施設使用料6,223千円、（そ）地区体育施設使用料577千円、（そ）飯田運動公園使用料3,200千円、（そ）社会体育学校開放施設使用料70千円、（そ）電話使用料他雑入3,221千円						
	国庫支出金		156,067							
	県支出金		16,274							
	地方債		353,100							
	その他		13,291							
	一般財源		223,934							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	2	1	3	55,635 0	会計年度任用職員人件費
2	1	10	6	2	10	1	139,983 0	体育施設管理費
3	1	10	6	2	11	3	269,939 0	体育施設改修費
4	1	10	6	3	10	1	14,609 0	社会体育学校開放管理費
5	1	10	6	3	11	2	282,500 0	社会体育学校開放施設整備費
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		文化財保護事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		文化財保護活用課			開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画								
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画						
			名勝天龍峡保存管理計画						
			考古博物館活用基本方針						
	法令・例規等		文化財保護法、長野県文化財保護条例						
			飯田市文化財保護条例・同施行規則、飯田市文化財保護事業補助金交付要綱、文化財関連施設の設置条例・規則						
			飯田市美術博物館条例・同施行規則						
事業目的	対象	地域資源（自然・文化・歴史）、指定文化財（遠山の霜月祭・名勝天龍峡等）、文化財関連施設							
	意図	地域を特徴づける自然・歴史・文化資源を文化財に指定し、良好な状況で保ち後世に伝えるとともに、活用することで、地域づくり・人づくりにつなげます。							

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・所有者、地域主体による文化財の保存修復、伝承、及び後継者育成に対する支援の継続が必要です。 ・地域資産の価値を明確化するための調査を実施し、地域に埋もれた文化資産の顕在化に努める必要があります。 ・旧飯田測候所の指定管理化に伴い、施設管理の面において事業者や地域との更なる連携強化が求められます。 ・教育普及活動の充実のため、より参加しやすいワークショップや出前講座等の検討が必要です。
リスク及び機会(ISO)	・考古博物館の認知度向上に向け、展示手法や展示内容の検討及び効果的なPRが必要です。

7年度取組	取組内容		経費の内容		事業費(千円)
	・当館所蔵の重要考古資料（溝口の塚古墳出土品・宮垣外遺跡出土品他）の重文指定を目指し、準備や段階的調査に着手します。 ・名勝天龍峡活用促進に向けた取組の一環として、案内媒体を更新します。 ・所有者、地域主体による文化財保護活用事業及び保存継承に向けた取組を支援します。 ・文化財関連施設の維持管理について、地域や指定管理団体との連携を密にし、必要な支援及び指導に努めます。 ・考古博における展示解説機能の充実化及びあらゆる世代向けのPRに対応するため、多様な情報媒体の活用を推進します。 ・指定等文化財及び関連イベントに関する情報発信効果の検証を進め、より効果的な広報に努めます。		文化財資産化事業経費		169
			名勝天龍峡活用事業経費		381
			旧小笠原家書院・小笠原資料館指定管理料		3,286
			北田遺跡公園指定管理料		370
			旧飯田測候所指定管理料		3,558
			指定文化財・文化財関連施設等管理運営経費		12,148
			所有者等が行う保護事業及び後継者育成に対する補助金		1,110
			考古博物館管理運営経費		10,628
			会計年度任用職員		3,312
			その他の経費		0

活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	指定等文化財の数	件	192							
	名勝天龍峡に関わる学習会等の開催数	回	5							
	指定文化財の学習会等の開催数	回	2							
	指定文化財や文化財施設等の情報発信数	回	85							
	遠山の霜月祭に関する学習会や支援回数	回	5							
	地域における文化財や関連施設の活用数	回	38							
	旧小笠原家書院・小笠原資料館入館者数	人	2,000							
7年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計	34,962	(そ)文化財保護活用課雑入 150千円 (そ)財産収入 17千円							
	国庫支出金	0	(そ)ふるさと基金 1,000千円 (そ)考古博物館観覧料 277千円							
	県支出金	0	(そ)考古博物館図録等売却代 100千円 (そ)考古博物館施設使用料 10千円							
	地方債	0	(そ)考古博物館講座受講者負担金 100千円							
	その他	20,356	(そ)コピーサービス 1千円 (そ)考古博物館雑入 1千円							
	一般財源	14,606	(そ)ふるさと寄付金18,700千円							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	3	10	1	19,912 0	文化財管理事業費
2	1	10	5	3	10	3	1,110 0	文化財保護事業補助金
3	1	10	5	6	12	1	10,628 0	考古博物館管理運営事業費
4	1	10	5	3	1	3	3,312 0	会計年度任用職員人件費
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		埋蔵文化財調査事業			会計	一般会計			
					事業区分	経常	実施区分	継続	
担当課等名		文化財保護活用課			開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画								
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画						
			考古博物館活用基本方針						
	法令・例規等		文化財保護法						
			飯田市埋蔵文化財事前調査取扱要綱						
事業目的		対象	埋蔵文化財包蔵地						
		意図	国・県・市・個人及び民間事業者の土木工事等において、適切な保護措置を講じます。						

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)		・文化財保護法に基づく届出による埋蔵文化財発掘調査を実施し、調査成果を記録保存するとともに、調査の必要性を事業者向け説明会で周知しました。引き続き必要な発掘調査を実施し、調査成果の記録保存に努めます。 ・リニア整備、関連事業の進捗により、埋蔵文化財の調査等が増加しています。事業者、関係機関との連携を密にして、保護措置に漏れが生じないよう適切に対応します。
リスク及び機会(ISO)		

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・埋蔵文化財包蔵地の取り扱いを、公式Webサイトや事業者向け説明会で周知し、文化財保護法及び必要な届出等について注意喚起します。 ・個人住宅の建設、民間開発に伴う発掘調査の実施、調査成果を整理して記録保存します（市内遺跡）。 ・公共事業に伴う発掘調査の実施、調査成果を整理して記録保存します（的場遺跡等）。 ・リニア整備、関連事業に係る用地、道路新設・拡幅等の試掘・確認調査・発掘調査を実施し、確実な保護措置を講じます（ママ下遺跡）。		個人住宅建設・民間開発に係る調査経費				9,509				
			県事業に係る調査経費				0				
			市事業に係る調査経費				2,598				
			会計年度任用職員人件費				17,029				
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	埋蔵文化財包蔵地の相談・照会件数		件	340							
	文化財保護法に基づく届出等件数		件	280							
	保護措置（立会調査）実施件数		件	200							
	記録保存された埋蔵文化財包蔵地		件	10							
	発掘調査報告書の累計数		件	320							
	保護措置が円滑に行われなかった数		件	0							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		29,136	(国) 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（1／2） (そ) 埋蔵文化財調査受託事業収入							
	国庫支出金		2,525								
	県支出金		0								
	地方債		0								
	その他		10,800								
	一般財源		15,811								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	3	11	1	3,857 0	埋蔵文化財調査事業費(補助)
2	1	10	5	3	12	1	5,273 0	埋蔵文化財調査事業費(単独)
3	1	10	5	3	13	2	0 0	埋蔵文化財調査事業費(県)
4	1	10	5	3	13	3	2,977 0	埋蔵文化財調査事業費(その他)
5	1	10	5	3	1	3	17,029 0	会計年度任用職員人件費
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		飯田古墳群保存活用事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		文化財保護活用課			開始	H20	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			史跡飯田古墳群保存活用計画						
			考古博物館活用基本方針						
	法令・例規等		文化財保護法						
			長野県文化財保護条例						
			飯田市文化財保護条例・同施行規則						
事業目的		対象	国史跡指定された古墳等、保存活用すべきとした古墳						
		意図	全国に誇れる地域資産として後世に伝えていくとともに、活用することで、地域づくり・人づくりにつなげます。						

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・ 史跡飯田古墳群の追加指定に向け、御猿堂古墳(竜丘)の範囲確認調査を行い、古墳の規模を把握しました。調査成果は史跡の追加指定の根拠にするともに、地区への回覧、地区文化祭で速報しました。より正確な規模の把握を目的に、引き続き御猿堂古墳での範囲確認調査を実施します。
リスク及び機会(ISO)	・ 史跡飯田古墳群の探訪ツアー、考古博物館における甲冑展示やワークショップ(鏡づくり)等を行いました。これらの活動を通じて飯田古墳群の周知を進めます。

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・ 史跡飯田古墳群御猿堂古墳(竜丘)の規模を把握する範囲確認調査を実施します。 ・ 出土遺物の価値を高めるため、茶柄山古墳出土鉄製品の保存処理を行います。 ・ 石室の安全管理や将来的な修復整備、活用のために3D計測を実施します。 ・ 飯田古墳群の価値や魅力を知っていただくため、公式We b サイト・広報誌等、より効果的な情報発信に努めるとともに、公民館事業と連携した学習機会を作ります。		発掘調査に係る経費				924				
			会計年度任用職員				1,079				
			保存活用に関する経費				1,640				
		その他の経費				0					
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	範囲確認調査報告書に記載する古墳の数		基	1							
	地域との連携による保護活動等の実施		回	10							
	市内外への情報発信		回	10							
	観光部局と連携した活用の取り組み		回	2							
	学習会活動支援回数		回	12							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		3,643	(国) 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 (1 / 2)							
	国庫支出金		1,000								
	県支出金		0								
	地方債		0								
	その他		0								
	一般財源		2,643								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	3	11	3	924 0	飯田古墳群保存活用事業費
2	1	10	5	3	12	1	1,640 0	埋蔵文化財調査事業費 (単独)
3	1	10	5	3	1	3	1,079 0	会計年度任用職員人件費
4								
5								
6								
7								

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		恒川遺跡群保存活用事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		文化財保護活用課			開始	H13	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			史跡恒川官衙遺跡保存活用計画・史跡恒川官衙遺跡整備基本計画						
			考古博物館活用基本方針						
	法令・例規等		文化財保護法						
			長野県文化財保護条例						
			飯田市文化財保護条例・同施行規則						
事業目的		対象	国史跡指定地を含む恒川遺跡群						
		意図	恒川遺跡群の実態解明に向け調査・研究を進めるとともに、学習交流の拠点となる史跡公園を整備し、適切に保存活用を行うことで地域づくり・人づくりにつなげます。						

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・史跡恒川官衙遺跡ガイダンス施設工事・展示実施設計は、文化財保護等の専門家による専門委員会、地域関係団体による整備推進会議で検討を行い進めています。引き続きガイダンス施設整備事業を計画的に推進します。 ・地域、保存団体と連携して、史跡や史跡公園の利活用、座光寺地域の歴史・文化資源の案内人育成に取り組んでいます。今後は、ガイダンス施設の事業、運営管理等の仕組みづくりを進めます。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)			
	・「史跡恒川官衙遺跡」の保存活用の拠点として、令和6年度より整備に着手しているガイダンス施設の展示に向けた整備を行います。施設では、展示を通じて史跡の歴史的な価値を分かりやすく紹介するとともに、その価値を理解し自分達で発信できる人材の育成を地域と協働して取り組みます。 ・地域と連携してガイダンス施設の事業、運営管理等の仕組みづくりを進めます。 ・正倉院エリア整備の計画について文化庁協議を始めます。 ・公園整備の基となる発掘調査報告書を、公式Webサイト等で公開するとともに、地域で調査成果を学ぶ機会を作ります。 ・開発に伴う発掘調査や整理作業を実施します。 ・史跡公園事業用地等を適切に管理します。		恒川官衙遺跡専門委員会等経費				145			
			史跡公園整備費（需用費、委託料、工事費）				115,856			
			史跡整備に伴う発掘調査経費				421			
			開発に伴う発掘調査経費（恒川遺跡群）				1,454			
			史跡公園事業用地管理経費				5,793			
			会計年度任用職員				8,814			
その他の経費				0						
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	整備進捗率累計（整備面積A=2.22ha）	%	20.1							
	整備・管理等における地域との協働回数	件	10							
	史跡公園事業地の発掘調査進捗率	%	100							
	情報発信回数	回	24							
	史跡・発掘調査見学者数	人	160							
	学習支援回数	回	5							
	専門委員会の開催数	回	2							
7年度 予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計	132,483	(国) 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（1／2）							
	国庫支出金	48,112	(県) 文化財保護事業補助金（3／100、上限500千円）（県随伴補助）							
	県支出金	500	(地) 一般補助施設整備等（充当率90％）41,100千円							
	地方債	55,900	(地) 脱炭素化推進（充当率90％）6,400千円							
	その他	0	(地) 地方道路等整備（充当率90％）8,400千円							
	一般財源	27,971								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	3	14	1	92,528 0	恒川遺跡群保存活用事業費（補助）
2	1	10	5	3	14	2	31,141 0	恒川遺跡群保存活用事業費（単独）
3	1	10	5	3	1	3	8,814 0	会計年度任用職員人件費
4								
5								
6								
7								

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		公民館維持管理事業			会計	一般会計		
					事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名		公民館			開始	S29	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
	法令・例規等		社会教育法					
		飯田市公民館条例						
		建築基準法、消防法等の施設保全上の関係法令						
事業目的		対象	公民館施設及びその利用者					
		意図	施設の適正な維持管理により、市民へ安全安心で快適な学習環境を提供して社会教育の振興に努める					

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・施設の老朽化が進むなか利用者が安全安心な環境で活動が行えるよう、経年劣化に伴う破損や法定点検等で指摘された不良個所について迅速に対応するなど、適正な維持管理が求められています。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容	事業費(千円)
	・公民館利用者が、安全安心な環境で活動ができるよう、施設の整備や、サービスの向上に努めます。 ・施設予約システムを運用し利用者のサービス向上に努めます。 ・各公民館においてフリーW i - F i の環境を提供します。 ・設備の法定検査等を行い施設の適切な維持管理を行います。 ・小規模な修繕は迅速に対応します。		光熱水費、燃料費	51,319
			通信運搬費	5,733
			修繕料	7,100
			施設設備保守委託料等	58,723
			施設敷地借地料	10,365
			施設設備等借上料	36,000
			共用管理負担金	7,224
			施設改修工事費	2,810
			人件費	55,481
			その他の経費	9,911

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	公民館利用回数	回	33,000							
	公民館利用者数	人	600,000							

7年度 予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項	
	事業費 計	244,666	(地) 公共施設等適正管理推進 (充当率90%)	
	国庫支出金	0	(そ) 公共物等占有料 137千円	
	県支出金	0	(そ) 飯田市公民館使用料 1,490千円	
	地方債	2,200	(そ) 地区公民館使用料 6,200千円	
	その他	8,292	(そ) 諸収入 465千円	
	一般財源	234,174		

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	10	1	189,185 0	公民館管理・運営費
2	1	10	5	4	1	3	45,457 0	会計年度任用職員人件費
3	1	10	5	4	1	1	10,024 0	人件費
4								
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		乳幼児親子学習交流支援事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		公民館			開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	3	飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			こども若者まんなかプラン						
			飯田市公民館活動基本方針						
	法令・例規等		社会教育法						
			飯田市公民館条例						
事業目的		対象	3歳までのこどもとその保護者						
		意図	発達段階に応じた様々な活動の経験を通して、生きる力の基礎を獲得する。子育ての情報や知識を得たり悩みを共有するとともに、保護者同士の地域内のつながりができる。						

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・各地区において乳幼児が減少傾向にあり、隣接地区と合同で開催するなど、参加者の学びやつながりを広げる必要があります。 ・発達段階に応じた子育てに関する学習や親子間の交流の機会を、参加者のニーズや悩みに寄り添いながら開催し、子育て世代の仲間づくりや地域とのつながりをつくる必要があります。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	1 各地区において、3歳までのこどもと保護者を対象に乳幼児学級を開催します。保護者同士が交流する機会を提供し、子育てに関する悩みの相談、情報の交換、必要な知識を学ぶ機会をつくれます。 ・保健課等と連携し、0歳から3歳まで発達段階に応じた様々な学習体験活動を実施します。 ・学級講座のなかで、地域住民の方を講師に迎えるなど、地域とつながる機会を創出します。 ・平日の参加が困難な保護者のために、ファミリーデーなど休日に学級を開催するなど、参加しやすい環境を整えます。		乳幼児学級の開催				1,256				
		その他の経費				0					
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	学級・講座の開催回数		回	450							
	学級・講座に参加した親子の延べ人数		人	7,500							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		1,256								
	国庫支出金		0								
	県支出金		0								
	地方債		0								
	その他		0								
	一般財源		1,256								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	1,256 0	公民館事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		多様な学習交流支援事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		公民館			開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる					
			2	人がつながり助け合い、社会基盤を強化して安全・安心なまちをつくる					
			3	飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			飯田市公民館基本方針						
	法令・例規等		社会教育法						
			飯田市公民館条例						
事業目的		対象	各地区住民、全市民						
		意図	地区の特色を生かした多様で主体的な学びを通して、地域の自治を担う人材の育成を目指す						

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価) リスク及び機会(ISO)	・地域コミュニティの基盤となる地域への誇りと愛着の醸成や、住民同士の協調的な関係を構築するためには、地域の価値や魅力に触れる学習や住民同士のつながりを大切に交流など、地域に着目した多様な学習や交流が重要です。 ・住民が仲間とともに主体的に楽しみながら事業を企画運営する専門委員会事業など、公民館における様々な学習の場を通じて、当事者意識をもった担い手を育む必要があります。
--	--

7年度 取組	取組内容		経費の内容		事業費(千円)
	1 「楽しそう、面白そう」を入口に、住民が集い対話する場づくり、住民同士のつながりや主体性を大切にしながら願いや関心事に応える多様な学びや交流を展開します。 ・芸術文化や伝統文化への理解を深め地域振興につなげます。 ・郷土を学ぶ学習交流を通じて、ふるさと意識を醸成します。 ・健康学習や交流を通じて、健康への関心を高めます。 ・ゼロカーボンシティの実現にむけ、環境学習や保全活動を支援します。 ・人権平和や多文化共生学習を通して、平和を尊ぶとともに、多様性への理解を深めます。 ・二十歳の集いを通じて成人が地域を学ぶ機会を創出し、地域への愛着やふるさと意識を醸成します。		多様な学習交流支援		4,101
			芸術文化学習交流支援		885
			郷土(地区)を学ぶ活動支援		1,086
			健康学習交流支援		235
			環境学習交流支援		340
			人権平和・多文化学習交流支援		1,391
			二十歳(はたち)の集い補助金		2,000
			会計年度任用職員		3,083
			その他の経費		0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	講座等開催数	回	1,400							
	講座等延べ参加者人数	人	65,000							
	専門委員・実行委員等の人数	人	870							

7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項	
	事業費 計		13,121	(そ) 自治体国際化協会助成金 (10／10)	
	国庫支出金		0		
	県支出金		0		
	地方債		0		
	その他		1,083		
	一般財源		12,038		

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	10,038 0	公民館事業費
2	1	10	5	4	1	3	3,083 0	会計年度任用職員人件費
3								
4								
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		高校生等次世代育成事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		公民館			開始	H24	終了	R99	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる					
			3	飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			飯田市公民館活動基本方針						
	法令・例規等		社会教育法						
		飯田市公民館条例							
事業目的		対象	全市民（高校生～青壮年層）						
		意図	地域を知り様々な自治活動を支える人々に学ぶ取組を通して、地域への愛着と誇りを持つとともに、自身の生き方を考え主体的に行動できるようになる。						

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・当地域は、高校卒業後に多くの若者が進学や就職等で地域を離れる状況にあり、地域の将来を担う高校生など次代を担う人材を対象にした学習交流活動の重要性が高まっています。 ・高校生など若者を対象に、地域づくりの実践者など多様な主体との学習交流や、自身の願いや想いを仲間との学びを通じて実現する創発活動の支援などを通じて、地域に心根を置きながら主体的に考え行動できる人材を育みます。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	1 地域に心根を置きながら、広い視野で自身や地域を捉え行動できる人材の育むため、以下の事業に取り組みます。 ・地域内外の様々な事例に学び、ふるさとへの理解を深め、自身や地域のあり方を考える「高校生講座」を実施します。 ・創発コーディネートマネージャ等と連携し、「ふらっと会議」や「はびらぼ」など多様な世代が集い対話する場をつくり、自身の願いや想いを仲間と共有し、協力しながら実現する創発活動を支援します。 ・飯田OIDE長姫高等学校の地域人教育など、高校生の探究学習において、高校生が地域に学ぶ実践的な学習を支援します。		高校生講座				5,720				
			ムトスぶらざにおける学習交流・創発活動				3,150				
			高校等における探究学習支援				260				
		その他の経費				0					
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	高校生講座に参加した生徒数		人	20							
	高校生講座の回数		回	50							
	ムトスぶらざふらっと会議参加者数		人	200							
	ムトスぶらざでの学習交流活動参加者数		人	300							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		9,130								
	国庫支出金		0								
	県支出金		0								
	地方債		0								
	その他		0								
	一般財源		9,130								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	9,130 0	公民館事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		飯田コミュニティスクール推進事業		会計	一般会計			
				事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		公民館		開始	H29	終了	R99	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	3	飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市公民館基本方針					
	法令・例規等		飯田市学校運営協議会規則					
			社会教育法					
			飯田市公民館条例					
事業目的		対象	小中学校、各地区住民、各家庭					
		意図	学校、家庭、地域などで「めざすこども像」を共有し、連携協働することにより、地域全体でこどもを育む。					

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・家庭環境や社会環境などが変化するなか、地域の将来を担うこども達の学びや成長を地域、学校、家庭など多様な主体が連携協力しながら支えていくことの重要性が高まっています。 ・令和7年度より「飯田学園構想」がスタートするなか、「学園の目指すこども像」の実現に向け、地域に着目した学習や交流を通じて地域への誇りや愛着を育み、地域の将来を担う人材を育みます。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	1 地域、学校、家庭などの連携のもと実践する、地域や学校の特色を生かした「いいだＣＳ協働活動」（地域学校協働活動）を支援します。 ・こどもや保護者を対象に、地域の自然、歴史、文化など地域の価値や魅力に触れる学習活動を実施します。 ・小学生を対象にした長期休暇の寺子屋事業など、こども達が地域に学び多様な世代と交流する取組を、地域の多様な人材が関わりながら実施します。 ・中学校と連携し、中学生が地域や公民館の活動に主体的に関わるボランティア活動などを支援します。		親子学習交流(家庭教育)活動				1,040				
			いいだCS協働活動（地域学校協働活動）推進事業				495				
			コミュニティスクールボランティア保険				375				
		その他の経費				0					
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	小中学校の学校運営協議会の開催回数		回	70							
	学校支援ボランティアの登録数		人	800							
	いいだCS協働活動推進事業の取組件数		件	35							
	家庭教育の開催件数		件	650							
	家庭教育に参加した延べ人数		人	11,000							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		1,910	(そ) ふるさと寄附金							
	国庫支出金		0								
	県支出金		0								
	地方債		0								
	その他		1,900								
	一般財源		10								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額	現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	10	1,910	0	飯田コミュニティスクール推進事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

1 事業概要

事務事業名		公民館改修事業			会計	一般会計		
					事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名		公民館			開始	S29	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
	法令・例規等		社会教育法					
		飯田市公民館条例						
		建築基準法、消防法等の施設保全上の関係法令						
事業目的		対象	公民館施設及びその利用者					
		意図	施設の適正な維持管理や改修により、安全安心で快適な学習環境を提供し社会教育の振興に努める。					

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・老朽化が進んでいる公民館の必要な改修については、飯田市教育委員会施設等総合管理計画に基づき、長期的な視点から計画的に実施する必要があります。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容		事業費(千円)
	・飯田市教育委員会施設等総合管理計画に基づき、老朽化した施設の改修を計画的に進めます。		施設改修工事費		75,724
			その他の経費		0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	改修実施箇所数	件	3							

7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項						
	事業費 計		75,724	(地) 公共施設等適正管理推進 (充当率90%)						
	国庫支出金		0							
	県支出金		0							
	地方債		68,100							
	その他		0							
		一般財源	7,624							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	12	2	75,724 0	公民館改修事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		図書購入・提供事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		中央図書館			開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画								
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
		○	飯田市立図書館サービス計画						
	法令・例規等		図書館法						
			飯田市立図書館条例						
			公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準						
事業目的		対象	市民						
		意図	読みたい図書や知りたい情報を得て主体的に学び、心豊かな暮らしができる						

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	コロナ禍により減少した図書館利用は回復してきていますが、より多くの市民の方が図書館を利用し、読書や学びを行うことができるよう、図書館利用の推進や読書推進の取組が必要です。 ・利用しやすい場所になるための取組や、市民の皆さんの興味・関心を広げる情報発信が求められます。 ・求める図書や情報を的確に得るために、情報探索支援や調べもの支援（レファレンス）の強化が必要です。 ・郷土資料の活用促進や利用の利便性向上が求められます。
リスク及び機会(ISO)	

7年度取組	取組内容		経費の内容		事業費(千円)
	・市内各図書館で役割分担して多様な図書を収集・提供します ・市民の皆さんが新たな本に出会い、興味・関心が広がる機会をつくります。 ・司書の調べもの支援（レファレンス）事例の紹介や、利用者の方が支援を受けやすい環境づくりに取り組みます。 ・分館を含めた全図書館で、気軽に来館していただくための機会づくりに取り組みます。 ・郷土資料を収集・提供し、郷土学習を支援します。 ・郷土新聞のデジタル化を行います。 ・読むことが不自由な方へ録音図書や大活字本等を提供します。		一般(大人)向け図書購入費		24,154
			郷土資料デジタル化業務		1,595
			情報探索データベース使用料		1,291
			コンピュータシステム保守点検業務委託料		4,092
			コンピュータシステム機器使用料		8,079
			図書搬送業務委託料		1,909
			書誌データ作成業務委託料		1,881
			書誌データ利用料		858
			製本業務委託料		674
			その他の経費		1,373

活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	購入冊数	冊	21,000							
	貸出利用者数	人	190,000							
	レファレンス件数	件	2,600							
	郷土資料の貸出冊数	件	6,000							
	地区住民1人あたりの分館貸出冊数	冊	1.6							

7年度予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項	
	事業費 計		45,906	(そ) コンピュータシステム運営事業負担金 1,934千円	
	国庫支出金		0	(そ) 図書館ネットワーク館搬送業務負担金 515千円	
	県支出金		0	(そ) 諸収入 36千円	
	地方債		0		
	その他		2,485		
一般財源			43,421		

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	5	10	1	6,537 0	図書館管理・運営費
2	1	10	5	5	10	2	23,712 0	図書購入費
3	1	10	5	5	10	3	12,171 0	コンピュータシステム運営事業費
4	1	10	5	5	11	1	2,982 0	図書館事業費
5	1	10	5	5	11	2	504 0	ビジネス支援サービス事業費
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		図書館管理運営事業			会計	一般会計			
					事業区分	経常	実施区分	継続	
担当課等名		中央図書館			開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画								
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			飯田市立図書館サービス計画						
		○	飯田市教育委員会施設等総合管理計画						
	法令・例規等		図書館法						
			飯田市立図書館条例						
			公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準						
事業目的		対象	図書館利用者						
		意図	図書館を安全かつ快適に利用できる						

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・安全で安心して利用できる施設の管理運営が必要です。 ・施設設備の経年劣化等による破損、故障が増えており、継続的な保守点検と計画的な修繕を施す必要があります。 ・令和8年度を始期とする飯田市教育委員会施設等総合管理計画の後期計画に、計画的な改修や修繕予定を反映させる必要があります。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	・図書館を安全で快適に利用できるよう、施設管理及び保守整備を行います。 ・ゼロカーボンへの取組として、上郷図書館照明LED化工事をを行います。 ・施設設備の安全性確保のため、上郷図書館受変電設備の機器更新工事、中央図書館消火栓ポンプ用直流電源装置内蓄電池更新を行います。 ・図書館施設劣化状況調査結果に基づき、計画的な改修や修繕内容を飯田市教育委員会施設等総合管理計画の後期計画に反映させます。	上郷図書館照明LED化工事	16,500
		上郷図書館受変電設備機器更新工事	2,200
		中央図書館直流電源装置蓄電池更新工事	2,035
		施設設備点検委託料	831
		施設設備管理修繕	700
		施設設備管理・保守委託料	9,533
		図書館管理消耗品	2,348
		事務用機器借上料	304
		会計年度任用職員人件費	78,768
		その他の経費	16,531

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	施設設備修繕件数	件	15							

7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項	
	事業費 計		129,750		
	国庫支出金		0		
	県支出金		0		
	地方債		18,500		
	その他		826		
	一般財源		110,424	(地) 公共施設等適正管理推進 (充当率90%) 3,700千円 (地) 脱炭素化推進 (充当率90%) 14,800千円 (そ) 諸収入	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	5	10	1	50,982 0	図書館管理・運営費
2	1	10	5	5	1	3	78,768 0	会計年度任用職員人件費
3								
4								
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		こども読書活動推進事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		中央図書館			開始	R2	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	3	飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			飯田市立図書館サービス計画						
	法令・例規等		図書館法						
			飯田市立図書館条例						
			子どもの読書活動推進に関する法律						
事業目的		対象	乳幼児・児童・生徒						
		意図	読書の機会が増え、楽しさを知り、読書習慣が形成される						

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・乳幼児期の読んでもらう読書から小学生期の文字だけの本を自分で読む読書への移行や、学年が上がるにつれ読書や図書館利用から遠ざかる傾向があることが課題となっています。読書を楽しむ体験を充実させ、読む意欲を育むことが必要です。 ・関係機関と連携し、こどもの発達に沿って継続的に取り組むことがことが求められます。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・ 7か月児と4歳児（年中児）への絵本プレゼントや、分館や保育所を通じた貸出により、各家庭に絵本が届く取組を進めます。 ・ 小中学生の自発的な読書や読書環境の整備に向けて、学校図書館との連携・協力を進めます。学年別図書リストの活用やこども向けの企画など、読書意欲を高めるための取組を実施します。 ・ 飯田駅前図書館を中心に、高校生が本や図書館に親しむきっかけとなるような機会を作ります。 ・ 親子で気兼ねなく図書館を使えるように呼びかけを行います。 ・ こどもに関わる人が、読書について学ぶ講座を開催します。 ・ さまざまな立場の市民や関係機関が、連携・協力してこどもへの読書推進ができるような体制づくりに向けて取り組みます。		児童向け図書購入費				8,584				
			はじめまして絵本・おともだち絵本				1,660				
			読書啓発講座講師謝礼・旅費				190				
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	はじめまして絵本を受け取った率		%	100							
	おともだち絵本を受け取った率		%	100							
	絵本を家庭へ持ち帰っている保育所数		園	32							
	小中学生対象の読書推進企画		件	7							
	高校生対象の読書推進企画		件	5							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		10,434	(そ) ふるさと寄附金							
	国庫支出金		0								
	県支出金		0								
	地方債		0								
	その他		1,600								
	一般財源		8,834								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	5	10	2	8,584 0	図書購入費
2	1	10	5	5	10	5	1,660 0	はじめまして絵本事業費
3	1	10	5	5	11	1	190 0	図書館事業費
4								
5								
6								
7								

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		図書館事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		中央図書館			開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			飯田市立図書館サービス計画						
	法令・例規等		図書館法						
			飯田市立図書館条例						
事業目的		対象	市民						
		意図	読書活動を通じて、地域の学びが深まり交流が広がる						

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・郷土資料を使って学ぶ人の減少や、高齢化などによる市民運営の読書交流活動減少が課題になっています。読書や学びへの意欲や関心が広がるよう、市民の皆さんと協働して、共に学びあい交流する場をつくることが大切です。 ・一人ひとりが主体的に学び、地域の価値や魅力を知り次世代へ繋げていくために、郷土ゆかりの資料（郷土資料）を活用した学びの機会を提供することが求められます。
リスク及び機会(ISO)	

7年度取組	取組内容		経費の内容	事業費(千円)
	・市民の皆さんと協働し、中央図書館開館110周年記念事業としてシンポジウムや図書館の歩み展示、ミニ企画を集めた図書館マルシェなどを行います。 ・文学講座や読書会の開催などにより、市民の皆さんの読書活動と読書を通じた交流活動を支援します。 ・研究団体と協働して講座を開催し、郷土を学ぶ機会をつくります。 ・文章講座を開催し書くことによる学習を推進します。 ・市民の皆さんと協働して、目の不自由な方のための録音図書製作や、資料整理、環境整備などの取組を行います。 ・分館では、地区の方や関係機関と連携して、読書や交流が広がるための企画を実施します。		中央図書館開館110周年記念シンポジウム講師謝礼	75
			中央図書館開館110周年記念事業印刷業務委託	997
			中央図書館開館110周年記念事業消耗品費	290
			中央図書館110周年記念動画作成謝礼	30
			文章講座講師謝礼	120
			録音図書製作研修講師謝礼	180
			文学講座講師謝礼	20
			点訳資料作成謝礼	14
			ボランティア・イベント参加者保険料	28
			その他の経費	103

活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	講座・企画等開催数	件	31							
	講座・企画等参加延べ人数	人	1,200							

7年度予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項						
	事業費 計		1,857	(県) 元気づくり支援金 (3/4)						
	国庫支出金		0	(そ) 諸収入						
	県支出金		1,098							
	地方債		0							
	その他		120							
	一般財源		639							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	5	11	1	1,857 0	図書館事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		美術博物館管理事業			会計	一般会計			
					事業区分	経常	実施区分	継続	
担当課等名		美術博物館			開始	H1	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画								
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画						
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン						
			飯田市教育委員会施設等総合管理計画						
	法令・例規等		博物館法						
			飯田市美術博物館条例						
事業目的		対象	美術博物館の施設（建物・設備・備品）、収蔵品						
		意図	適切な管理運営により、来館者の安全・安全を確保し学びの場を提供する。						

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・来館者が安全安心で快適に利用できる施設の管理運営が必要です。 ・建物や設備の経年劣化には計画的な改修を行い、小規模な修繕が必要な箇所は、その都度適切な対応をしていきます。 ・登録博物館としての必要な設備を維持する必要があります。 ・2027年蛍光ランプの製造・輸出入の廃止に備え、LED照明への段階的な更新を行います。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容	事業費(千円)
	1 来館者が安全で安心して快適に施設を利用できる管理運営を行います。		委員等報酬・旅費	1,541
	(1) 建物や機械設備の適正管理を行うとともに、教育委員会施設等総合管理計画に基づき、博物館としての機能を維持し、長寿命化するために空調設備等の改修や照明機器LED化を実施します。		施設・設備等修繕	5,165
	2 博物館活動に関連する組織に加盟し、研修や情報収集などを行います。		施設管理等委託	28,539
	3 小中学生、高校生の展示観覧料金減免(無料化)を継続します。		施設改修工事	9,623
	4 第二次施設等総合管理計画(2026ー2035)の準備をします。		施設維持管理費(光熱水費・通信運搬費・保険料他)	30,644
			施設運営費(パンフレット等印刷・事務消耗品・事業用借上他)	4,737
			協議会負担金	132
			会計年度任用職員	28,290
			その他の経費	0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	修繕・工事等を行った建物・設備の件数	件	25							
	施設管理に対する要望件数	件	0							

7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項	
	事業費 計		108,671	(地) 公共施設等適正管理推進事業債(充当率90%) 7,900千円	
	国庫支出金		0	(地) 脱炭素化推進事業債(充当率90%) 600千円	
	県支出金		0	(そ) 美術博物館観覧料 4,133千円	
	地方債		8,500	(そ) 諸収入 560千円	
	その他		4,693		
	一般財源		95,478		

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	10	1	80,381 0	美術博物館管理費
2	1	10	5	6	1	3	28,290 0	会計年度任用職員人件費
3								
4								
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		美術博物館資料調査研究・収集保管事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名		美術博物館			開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン					
	法令・例規等		博物館法					
			飯田市美術博物館条例					
事業目的		対象	伊那谷の自然、人文、美術に関する事象や資料					
		意図	調査、研究、整理し、市民に還元する					

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・地域に根ざした博物館活動を行うために、事象や資料を地域資源化する継続的な調査研究が必要です。 ・調査研究の成果を市民が利活用できるようにするために、資料を整理しデータベース化を進めることが必要です。 ・貴重な資料や地域ゆかりの作品が散逸しないための対応および、緊急の収蔵場所の確保が必要です。 ・若手の調査研究スキルを磨くため、学会参加や論文執筆など積極的に行える体制を整えていく必要があります。 ・資料の保存環境をモニタリングし、改善を図ります。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容	事業費(千円)
	・地域の自然、文化、美術を対象とした調査研究を関係する団体や研究者などと連携して継続的に行います。 ・調査研究成果を展示や講座等の学びの機会につなげると共に学会発表や研究紀要・自然史論集などで公表します。 ・田中芳男関連資料を活用できるよう整理、修復を進めます。 ・長谷川コレクションの利活用を進めます。 ・資料等の整理登録作業を継続し、展示公開やデジタル情報を活用した閲覧の環境を整えていきます。 ・地域の資料を良好な状態で保存するための環境を整えます。 ・収蔵場所不足解消に向けた検討を進めます。		自然調査研究費	1,899
			人文調査研究費	833
			美術調査研究費	2,408
			図書整理公開費	35
			研究紀要	660
			共通調査研究費	91
			会計年度任用職員	12,432
			その他の経費	0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	研究発表数	件	50							
	美術資料作品登録点数	点	20							
	資料修復点数	点	3							
	人文資料登録点数	点	50							
	自然資料登録点数	点	100							

7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項						
	事業費 計		18,358	(そ) 諸収入						
	国庫支出金		0							
	県支出金		0							
	地方債		0							
	その他		1,150							
		一般財源	17,208							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	27	5,926 0	美術博物館資料調査研究・収集保管事業費
2	1	10	5	6	1	3	12,432 0	会計年度任用職員人件費
3								
4								
5								
6								
7								

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		美術博物館展示公開事業		会計	一般会計			
				事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		美術博物館		開始	H1	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン					
	法令・例規等		博物館法					
			飯田市美術博物館条例					
事業目的		対象	来館者					
		意図	「伊那谷の自然と文化」への理解を深め、その魅力を発信する					

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・「伊那谷の自然と文化」への理解と魅力を発信するため、地域の自然の特性や文化の多様性、菱田春草や田中芳男などの郷土の先人の業績を紹介し、地域への愛着や誇りを育む企画が必要です。
リスク及び機会(ISO)	・時節を捉えたテーマを特別展・企画展・トピック展示等で開催し、市民の関心を高める必要があります。
	・来館者の知性や感性を刺激し、学びにつながる展示が求められています。
	・市民の創造を支援し、地域の創造力を高める展覧会が必要です。

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	1 調査研究の成果を展示公開し、「伊那谷の自然と文化」の魅力を発信し学びにつなげます。 (1) 美術分野では、企画展「写真家60周年記念展 水谷章人の世界」と「第25回現代の創造展」を開催し、現代作家による企画展「IIDAセクション展」を準備します。また菱田春草常設展7本、複製画と鑑賞学習展1本、美術コレクション展4本を開催します。 (2) 人文分野では、特別展「山とともに生きるー遠山郷の歩みとくらしー」。自然分野では、企画展「高山植物と高山昆虫からたどる 南アルプス博物学の120年」を開催します。また人文分野で4本、自然分野で3本のトピック展示を開催します。		自然常設・トピック展示				213				
			文化常設・トピック展示				518				
			美術常設・企画展示				9,568				
			柳田國男館・日夏耿之介記念館展示				150				
			次年度展覧会準備				408				
			全分野共通				182				
			【戦略重点】南アルプス博物学展				1,708				
			【戦略重点】遠山郷特別展				6,402				
その他の経費				0							
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	観覧者数		人	37,000							
	展覧会開催数		回	23							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		19,149	(そ) 地域振興基金繰入金 18,149千円 (そ) 諸収入 1,000千円							
	国庫支出金		0								
	県支出金		0								
	地方債		0								
	その他		19,149								
	一般財源		0								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額	現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	28	19,149	0	美術博物館展示公開事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

1 事業概要

事務事業名		美術博物館教育普及・活動支援事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名		美術博物館			開始	H1	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン					
	法令・例規等		博物館法					
			飯田市美術博物館条例					
事業目的		対象	市民及び下伊那郡住民					
		意図	「伊那谷の自然と文化」の特性と魅力を美術博物館を活用して学び合う					

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・市民が新たな発見や学びの楽しさを気軽に体験できる場の提供と市民や地域等の関心に応える多様な学びを支援する事業が求められています ・小・中学校、高校や地区公民館等地域の団体や施設と連携した「学び」への取組が必要です。 ・地域の「学び」を支える次代の人材育成や活動団体の活性化支援に取り組んでいく必要があります。 ・出前授業に対応できる教材を充実させる必要があります。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容	事業費(千円)
	・多様な学習活動を通して、当館や市民の調査研究の成果を発信し、地域の自然と文化を守り、活用する人材を生み出します。 ・南アルプスエコ・ジオパークや身の周りの自然や地域の歴史をテーマに、講座やワークショップなどを開催します。 ・菱田春草や田中芳男など展示事業と関連した講座等を開催し、地域の文化や歴史への興味を広め、理解を深めます。 ・美術学校、写真賞など子ども達の創造の可能性を高めるワークショップやイベント、総合学習など小・中学校、高校と連携した出前授業などを行います。 ・地域の学びを支える研究団体等との事業の開催や活動支援によりボランティアガイド養成など次代の人材育成につなげます。		自然分野教育普及	236
			人文分野教育普及	641
			美術分野教育普及	976
			総合教育普及	859
			研究費助成	450
			施設改修工事	220
			会計年度任用職員	3,926
			その他の経費	0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	講座・ワークショップ等参加者数	人	5,500							
	小中学校と連携した学習の機会	回	50							
	地域と連携した学習の機会	回	60							

7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項	
	事業費 計		7,308		
	国庫支出金		0		
	県支出金		0		
	地方債		0		
	その他		810		
		一般財源	6,498		

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	29	3,382 0	美術博物館教育普及・活動事業費
2	1	10	5	6	1	3	3,926 0	会計年度任用職員人件費
3								
4								
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		美術博物館プラネタリウム運営事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		美術博物館			開始	H1	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画								
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画						
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン						
	法令・例規等		博物館法						
		飯田市美術博物館条例							
事業目的		対象	市民、来館者						
		意図	ふるさとの自然や文化、星空の持つ魅力に気づき、地域を大切にする心を育むとともに、地球を見つめ宇宙を夢見る広い視点と豊かな発想力を養う						

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・プラネタリウムの投影を通して天文の魅力や地球環境の尊さを発信していく必要があります。 ・プラネタリウム番組や観望会により、こども達の星空や宇宙への関心を高める取組を継続する必要があります。 ・投影機器の老朽化による不具合が生じており、安定した投影を継続するために機器の更新を行う必要があります。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・天文・宇宙に関する番組や星空解説による投影を行います。（一般投影、予約投影、特別投影） ・学校での天文の学びや未就学児童の星空との出会いのための学習投影を行います。 ・地域や学校、民間の活動団体との連携による出前授業、観望会などを行い、天文の魅力を伝え、宇宙への関心を持つ機会にしていきます。 ・プラネタリウムに親しんでもらう機会としてプラネタリウムまつり等を開催します。 ・プラネタリウムの機器更新に向けての情報収集を継続します。		番組投影				5,381				
			天文普及				40				
			研修旅費				140				
			事務消耗品費				200				
			機器保守・修繕				700				
			会計年度任用職員				8,763				
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	プラネタリウム観覧者数		人	11,000							
	プラネタリウム投影回数		回	500							
	ドームイベント回数		回	5							
	宇宙・天文教育回数（観望会・館外活動）		回	10							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		15,224	(そ) 美術博物館観覧料 1,100千円 (そ) ふるさと寄附金 5,300千円							
	国庫支出金		0								
	県支出金		0								
	地方債		0								
	その他		6,400								
	一般財源		8,824								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	30	6,461 0	美術博物館プラネタリウム運営事業費
2	1	10	5	6	1	3	8,763 0	会計年度任用職員人件費
3								
4								
5								
6								
7								

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		上村山村文化資源保存伝習施設管理運営事業			会計	一般会計			
					事業区分	経常	実施区分	継続	
担当課等名		美術博物館			開始	H9	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画								
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画						
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン						
	法令・例規等		地方自治法						
		飯田市上村山村文化資源保存伝習施設条例							
事業目的		対象	上村山村文化資源保存伝習施設（まつり伝承館天伯、ねぎや）						
		意図	施設の適切な維持管理と文化資源の展示、保存、情報発信、及び多目的利用による地域の活性化						

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・地域と連携して施設を観光事業などの多目的な利活用により地域の活性化に繋げる取組が必要です。 ・施設の在り方を検討する必要があります。 ・展示内容、機器の更新について可能な部分から実施していく必要があります。 ・施設の老朽化に対して、利用者の安全を確保するため修繕をする必要があります。 ・2027年蛍光ランプの製造・輸出入の廃止に備え、LED照明への更新を行います。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・指定管理者との協働により、まつり伝承館「天伯」及び隣接する山村ふるさと保存館「ねぎや」の管理運営を行います。 ・展示内容や機器の更新を検討し、霜月祭をはじめとした遠山地域の山村文化の魅力を紹介します。 ・美術博物館で開催したトピック展示等の巡回を行います。 ・霜月祭の伝承、後継者育成に地域や保存会などと連携して施設の利活用について検討します。 ・施設のあり方と指定管理者制度更新についての検討をします。 ・照明機器LED化を実施します。			保険料（建物共済）				30			
				指定管理業務委託料				3,255			
				施設警備				198			
				施設改修工事				7,623			
				その他の経費				0			
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	観覧者数		人	1,000							
	施設を活用した事業数		回	4							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		11,106	(地) 脱炭素化推進事業債（充当率90％） 6,800千円							
	国庫支出金		0								
	県支出金		0								
	地方債		6,800								
	その他		0								
	一般財源		4,306								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	13	1	11,106 0	上村山村文化資源保存伝習施設費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		南信濃民芸等関係施設管理運営事業			会計	一般会計			
					事業区分	経常	実施区分	継続	
担当課等名		美術博物館			開始	H2	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画								
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画						
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン						
	法令・例規等		地方自治法						
		飯田市南信濃民芸等関係施設条例							
事業目的		対象	南信濃民芸等関係施設（遠山郷土館）						
		意図	施設の適切な維持管理と文化資源の展示、保存、情報発信、及び多目的利用による地域活性化						

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・ 遠山郷をテーマとした学習講演会の開催や美術博物館の展示事業と連動した展示内容の更新について、地域の団体との連携を進めて地域が主体となった事業運営の仕組みづくりに取り組む必要があります。 ・ 施設の老朽化に対して、利用者の安全を確保するため修繕をする必要があります。 ・ 施設の在り方を検討していく必要があります。 ・ 2027年の蛍光ランプ製造・輸出入の廃止に備え、LED照明への更新を行います。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容		事業費(千円)
	・ 遠山郷の歴史と、その中で育まれた霜月祭、文化財、地域ゆかりの作家の作品などの展示により地域の魅力を紹介発信します。 ・ 遠山郷をテーマとした学習講演会(講演会・見学会)を4回、自然、人文分野の研究成果を基にしたトピック展示を年間で4回開催します。 ・ 公民館や地域団体等と連携して、施設の多目的な利活用を目指します。 ・ 施設のあり方と指定管理管理制度更新の検証をします。 ・ 照明機器LED化を実施します。		保険料(建物共済)		32
			施設管理運営業務		1,210
			施設設備保守等委託		409
			借地料		436
			施設改修工事		10,395
			会計年度任用職員		3,089
			その他の経費		0

活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	観覧者数	人	1,400							
	施設利用者数	人	2,400							
	施設を活用した事業数	回	8							

7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項						
	事業費 計		15,571	(地) 脱炭素化推進事業債（充当率90%）						
	国庫支出金		0	(そ) 南信濃民芸等関係施設観覧料 327千円						
	県支出金		0	(そ) 南信濃民芸等関係施設使用料 1千円						
	地方債		9,300							
	その他		328							
一般財源			5,943							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	14	1	12,482 0	南信濃民芸等関係施設費
2	1	10	5	6	1	3	3,089 0	会計年度任用職員人件費
3								
4								
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		文化会館等管理運営事業			会計	一般会計		
					事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名		文化会館			開始	S47	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
	法令・例規等		飯田文化会館条例					
事業目的		対象	市民					
		意図	新しい文化会館の開館まで、既存の施設・設備を安全、安心、快適な環境で利用できるようにする。					

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	飯田文化会館は築50年を経過し、施設・設備の老朽化、陳腐化、耐震性、バリアフリーやアメニティの課題を抱えています。市民に安心して使用していただけるよう、新文化会館の改築まで計画的に、施設・設備の更新や修繕を実施していきます。また、施設使用者の利便性を高められるよう、公共施設予約システムの普及に取り組みます。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容	事業費(千円)
	・飯田文化会館を安全、安心、快適に使用できるよう、日常的に維持管理、点検を実施します。 ・老朽化した施設・設備の更新や修繕を適時適切に実施します。 ・飯田文化会館、人形劇場、鼎文化センターの3つのホールを円滑に利用できるよう舞台技術者に管理運営を委託します。		文化会館管理費	46,864
			ホール業務等委託費	26,814
			施設・設備修繕費	0
			緊急修理・小修繕	2,500
			高圧電気設備改修工事	8,150
			ホール舞台吊物設備改修工事	1,205
			人形劇場舞台照明設備改修工事	3,432
			会館棟照明LED化改修工事	4,400
			会計年度任用職員	7,100
			その他の経費	0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	老朽化改善に係る更新及び修繕	箇所	5							

7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項						
	事業費 計		100,465	(地) 公共施設等適正管理推進(充当率90%) 11,300千円						
	国庫支出金		0	(地) 脱炭素化推進(充当率90%) 3,900千円						
	県支出金		0	(そ) 公共物占用料 118千円						
	地方債		15,200	(そ) 文化会館使用料 17,200千円						
	その他		18,661	(そ) 諸収入 1,343千円						
	一般財源		66,604							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	10	1	46,864 0	文化会館管理費
2	1	10	5	7	10	2	26,814 0	ホール業務等委託事業費
3	1	10	5	7	10	3	19,687 0	文化会館施設整備事業費
4	1	10	5	7	1	3	7,100 0	会計年度任用職員人件費
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		文化会館文化芸術事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		文化会館			開始	H21	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			飯田市文化芸術振興基本方針						
	法令・例規等		文化芸術振興基本法						
			音楽文化の振興のための学習環境の整備等に関する法律						
		文化芸術推進基本計画							
事業目的		対象	市民、文化芸術の普及・振興を担う人材						
		意図	文化芸術の振興を図ることによって、市民が心豊かな生活を送るための一助とする						

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価) リスク及び機会(ISO)	・市民が心豊かな生活を送られるように、市民のニーズに応えながら多様な舞台芸術を鑑賞する機会を提供する必要があります。 ・舞台芸術活動への支援や団体が発表する場の提供をしていく必要があります。 ・オーケストラと友に音楽祭は、安定した財源の確保や、こどもから大人まで楽しみ学べる内容に充実する取り組みや、音楽の魅力を地域へ広報していく必要があります。
--	---

7年度 取組	取組内容		経費の内容		事業費(千円)
	・市民が優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供します。 ・市民が行う舞台芸術の技術向上・創造活動を支援します。 ・オーケストラと友に音楽祭の将来ビジョン実現に向けて、事業内容の充実や持続可能な財政運営を図り、幅広い年齢層がオーケストラやクラシック音楽に触れる機会をつくります。 ・小中学校が行う舞台芸術鑑賞を支援します。 ・伊那谷文化芸術祭を飯田文化協会と共催し、市民が主体的に取り組む舞台芸術の発表・交流の場をつくります。		舞台芸術鑑賞事業		4,115
			市民舞台芸術創造支援事業		1,007
			オーケストラと友に音楽祭開催事業		11,000
			小中学生芸術鑑賞事業		764
			会計年度任用職員		4,429
			その他の経費		0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	オーケストラと友に音楽祭参加者数	人	5,200							
	伊那谷文化芸術祭参加者数(出演・鑑賞)	人	7,000							
	舞台芸術創造支援事業参加団体・学校数	団体・校	70							
	舞台芸術鑑賞事業数	事業	4							
	小中学生芸術鑑賞事業数	校	15							

7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項						
	事業費 計		21,315	(そ) ふるさと基金繰入金						
	国庫支出金		0							
	県支出金		0							
	地方債		0							
	その他		16,886							
		一般財源	4,429							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	11	3	4,115 0	舞台芸術鑑賞事業費
2	1	10	5	7	11	5	1,007 0	市民舞台芸術創造支援事業費
3	1	10	5	7	11	7	11,000 0	オーケストラと友に音楽祭開催事業費
4	1	10	5	7	11	9	764 0	小中学生芸術鑑賞事業費
5	1	10	5	7	1	3	4,429 0	会計年度任用職員人件費
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		人形劇のまちづくり事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		文化会館			開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			飯田市文化芸術振興基本方針						
			人形劇のまちづくりを推進する新たな仕組みに関する方針						
	法令・例規等								
事業目的		対象	市民						
		意図	人形劇フェスタのみならず、年間を通じて人形劇を鑑賞したり、体験したり、公演の企画運営を行い、人形劇のまちとしての魅力や価値を高めます。						

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・人形劇フェスタ2024は海外劇団含め281劇団が参加し、約26,500人の観劇者に公演を楽しんでもうことができました。記録的な猛暑が続く中、熱中症対策として中央公園で実施していたセントラルパークをムトスぶらぎに移すなどの対策をしました。さらに、実行委員会や関係団体と協議し、安全に安心して観劇ができる環境づくりを行います。
リスク及び機会(ISO)	・公演事業及び創造事業は概ね計画どおり実施しています。フェスタ期間以外にも人形劇に触れる機会の開催・周知を継続していきます。

7年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	・人形劇フェスタ2025は、人形劇に携わる人がもっと楽しみになる4日間となるように支援します。 ・人形劇公演や、演じることを楽しめる講座を、年間を通じて開催します。 ・伝統人形浄瑠璃の保存継承のため、保存会活動への支援を行うとともに、その活動を市民や国内外へ向けて情報発信します。 ・人形劇の友・友好都市国際協会(A V I A M A)を通じて「人形劇の世界都市・飯田」の魅力をWe bサイト等で国内外へ発信します。 ・教育現場での、人形劇の観劇や人形劇制作のための講師派遣を行い、創造力の育成に取り組みます。	いいだ人形劇フェスタ開催事業負担金	18,300
		「いいだ人形劇センター」活動支援負担金	11,000
		人形劇公演・巡回公演事業負担金	3,312
		人形劇講座、地域劇団、人形劇活動への支援	3,262
		人形劇のまち国際化推進事業費	2,890
		伝統人形芝居保存伝承活動への支援	7,237
		「人形劇のまち飯田」運営協議会負担金	534
		人形といけ塔設備保守委託料他	1,052
		会計年度任用職員	8,014
		その他の経費	0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	ワッペン期間中の観劇者数	人	25,000							
	フェスタ以外の公演の観劇者数	人	7,000							
	人形劇講座開催数	回	120							
	伝統人形保存継承のための研修回数	回	19							
	国外劇団の公演数	数	15							
	学校人形劇取り組んでいる学校数	校	20							

7年度予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項	
	事業費 計		55,601	(地) 脱炭素化推進事業債(充当率90%)	
	国庫支出金		0	(そ) ふるさと基金繰入金 23,176千円	
	県支出金		0	(そ) ふるさと寄附金 3,200千円	
	地方債		3,200		
	その他		26,376		
	一般財源		26,025		

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	13	1	12,586 0	人形劇のまちづくり推進事業費
2	1	10	5	7	13	4	18,300 0	いいだ人形劇フェスタ開催事業費
3	1	10	5	7	13	10	3,312 0	人形劇公演事業費
4	1	10	5	7	13	11	3,262 0	人形劇創造支援事業費
5	1	10	5	7	13	12	2,890 0	人形劇のまち国際化推進事業費
6	1	10	5	7	13	14	7,237 0	伝統人形芝居振興事業費
7	1	10	5	7	1	3	8,014 0	会計年度任用職員人件費

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		竹田人形館管理運営事業		会計	一般会計			
				事業区分	経常	実施区分	継続	
担当課等名		文化会館		開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
			人形劇のまちづくりを推進する新たな仕組みに関する方針					
	法令・例規等		竹田扇之助記念国際糸操り人形館設置条例					
事業目的		対象	市民					
		意図	1 人形美術の素晴らしさを鑑賞できるようにする。2 人形劇のまちへの理解を深める。3 竹田人形の糸操り人形技術の継承。					

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・春や秋の行楽シーズン、市内の小学校や公民館の活動、県外の研修旅行等で来館者数が延びてきています。 ・当館の特徴や魅力を知ってもらう機会として、人形作りワークショップの開催や、ブログの定期的更新に努めています。 ・今後も新たな来館者やリピーターを増やす取り組みを行う必要があります。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容	事業費(千円)
	・地元地域や竹田人形座竹の子会との連携による事業（麻績の里桜祭りや初春を寿ぐ竹田人形館の開催）を活用し、多くの市民に竹田人形館を知ってもらう取り組みを行います。 ・いいだ人形劇フェスタと連携し、公演等を開催します。 ・一度も訪れたことのない市民や近隣町村、県外の方々にも人形館を知ってもらえるような効果的な営業活動を進めていきます。 ・人形の展示の鑑賞だけでなく糸操り人形の実演による来館者の満足度の向上にも引き続き努めて行きます。		人形館維持管理費用	10,307
			企画展、展示替えに関する費用	220
			会計年度任用職員	6,654
			その他の経費	0

活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	竹田人形館の年間入館者数	人	2,700							
	営業活動数	回	5							

7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項 (地) 脱炭素化推進事業債(充当率90%) (そ) 竹田人形館観覧料 880千円 (そ) 諸収入 25千円	
	事業費 計		17,181		
	国庫支出金		0		
	県支出金		0		
	地方債		4,000		
	その他		905		
	一般財源		12,276		

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	13	2	10,527 0	竹田人形館管理費
2	1	10	5	7	1	3	6,654 0	会計年度任用職員人件費
3								
4								
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		川本人形美術館管理運営事業			会計	一般会計		
					事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名		文化会館			開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
			人形劇のまちづくりを推進する新たな仕組みに関する方針					
	法令・例規等		飯田市地域人形劇センター条例					
事業目的		対象	市民					
		意図	1 人形美術の素晴らしさを鑑賞できるようにする。2 人形劇のまちへの理解を深める。3 施設を活用した多彩な活動を実施してもらう。					

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・回復傾向が見られる来館者のさらなる増加に向けて、地元地域や関係機関と連携し幅広い層の方に来館していただけるような取り組みが必要です。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・川本喜八郎生誕100年をアピールする企画を連続的に行います。 ・渋谷区と連携した、人形の交流（三国志と平家物語）による多様なターゲット層へのアプローチを行っていきます。 ・地元地域と連携し、丘の上の回遊に向けた取組を行います。 ・季刊誌やWebサイト、SNSを活用した情報を積極的に発信します。 ・観光公社や市内公共文化施設等と連携し継続的に営業活動を行います。		施設管理業務委託料				23,410				
			共用部管理負担金				9,775				
			修繕費ほか				402				
		その他の経費				0					
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	川本喜八郎人形美術館の年間入館者数		人	15,000							
	企画展、展示替え、ワークショップ [※] の開催数		回	10							
	営業活動数		回	15							
	情報誌発行部数		数	28,000							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		33,587								
	国庫支出金		0								
	県支出金		0								
	地方債		0								
	その他		0								
	一般財源		33,587								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	13	9	33,587 0	地域人形劇センター管理費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		文化施設整備事業		会計	一般会計			
				事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		新文化会館整備室		開始	R4	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
	法令・例規等							
事業目的		対象	市民					
		意図	飯田市の文化芸術活動の拠点施設としての新文化会館の建て替えに向けた検討を進めます。					

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	新文化会館の建設に向けて、市民参加により策定した基本構想を具現化するために、建設候補地の選定を行うとともに基本計画づくりを進めます。また、検討状況をさまざまな手段で市民の皆さんへお伝えします。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・新文化会館の整備に向け、市民参加により策定した基本構想を具現化するために、建設候補地の選定を行うとともに基本計画づくりを引き続き進めます。 ・専門家の意見をお聞きするため専門家会議を開催します。 ・基本構想を検討していただいた整備検討委員の意見をお聞きするため整備検討委員会を開催します。 ・市民の声を計画に反映させるため市民や利用団体との意見交換会を開催します。 ・検討状況を様々な手段で市民の皆さんへ伝えます。		基本計画策定費等				8,947				
		その他の経費				0					
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	ワークショップ		回	4							
	検討会議（検討委員会、専門委員会等）		回	6							
	ニュースレターの発行		回	5							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		8,947	(そ) 地域振興基金繰入金							
	国庫支出金		0								
	県支出金		0								
	地方債		0								
	その他		8,947								
	一般財源		0								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	14	1	8,947 0	文化施設整備事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		歴史研究所管理事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		歴史研究所			開始	H15	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画								
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
		○	飯田市歴史研究所6期中期計画						
	法令・例規等		飯田市歴史研究所条例						
			飯田市歴史研究所管理運営規則						
事業目的		対象	市民、研究者等						
		意図	研究所の適正な管理運営を行い、地域遺産である史料を現在および未来の市民や研究者等に活用してもらう。						

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・ 市民や地域から受入れる資料と歴史公文書の増加に対応した適正な保存管理ができるよう、収蔵庫の確保に向けた関係部署との協議・検討が必要です。 ・ 老朽化した施設を定期的に点検し、修繕をするなど適切な維持管理が必要です。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・ 来所者に安心安全に利用してもらえるよう施設の管理運営を行います。 ・ 市民や地域から受入れる資料及び市役所非現用文書から移管される歴史公文書の増加に対応するため、収蔵庫の確保に向けた検討と書庫内の整備を進めます。		会計年度任用職員（レファレンス）				3,170				
			歴史研究所運営経費				1,217				
			歴史研究所施設維持経費				3,360				
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	開所日数		日	250							
	施設の利用者数		人	300							
	相談・資料照会等数（単年度）		件	250							
	新たに収集した史料数		件	10							
	新たに公開した史料数		件	15							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		7,747	(そ) 雑入 55千円							
	国庫支出金		0								
	県支出金		0								
	地方債		0								
	その他		55								
	一般財源		7,692								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	8	10	1	4,577 0	歴史研究所管理費
2	1	10	5	8	1	3	3,170 0	会計年度任用職員人件費
3								
4								
5								
6								
7								

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		歴史研究所事業		会計	一般会計			
				事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		歴史研究所		開始	H15	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市歴史研究所第6期中期計画					
	法令・例規等		飯田市歴史研究所条例					
			飯田市歴史研究所管理運営規則					
事業目的		対象	市民、研究者等					
		意図	歴史的価値を有する資料を収集し、保存して広く利用に供するとともに、調査研究をし、その成果を市民に還元することにより将来の地域づくりにつなげる					

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・地域団体の解散や家屋の解体などにより、所蔵者による保存が困難になった資料を、廃棄や散逸を防ぐために当研究所で受入れるケースが増えています。また、市役所の非現用文書から移管される歴史公文書の増加に対して、収蔵庫の確保と適正な保存管理・公開に向けた関係部署との協議・検討も必要です。
リスク及び機会(ISO)	・少子高齢化の影響もあり、地域史研究に関わる人材の育成が必要です。また、地域史に関心を持つ市民のすそ野を広げ、研究成果を市民に還元するために、学びの場を提供できるよう取り組む必要があります。

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・歴史的価値を持つ資料が散逸しないよう市民に周知し、収集、保存、目録作成や調査研究、公開により多くの方が利活用できるようにします。 ・研究成果を幅広く市民に還元するため、年報や書籍の刊行により公表し、主催する講座等により学びの場を提供します。 ・地域史に関心を持つ市民のすそ野を広げ、地域の学習を支援するため、地区公民館や次代を担う小中学生や高校生を対象とした出前講座の実施に向けて取り組みます。 ・地域の歴史研究団体等と共同調査研究や情報共有をすることにより、地域での調査研究活動の活性化につなげていきます。 ・歴史公文書の適切な保存管理・公開に向けて関係部署との協議検討を進めます。			会計年度任用職員（研究員、研究補助）				15,723			
				研究集会、年報発行				1,694			
				史料調査研究活動				2,149			
				教育普及活動				1,213			
				地域史編さん・出版				1,420			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	刊行物、論文数		件	10							
	地域史研究集会参加者数(延べ人数)		人	180							
	地域史講座等参加者数(延べ人数)		人	200							
	飯田アカデミア参加者数(延べ人数)		人	200							
	歴研ゼミナール等参加者数		人	550							
	出前講座等参加者数		人	500							
	地域団体との共同調査研究数		件	2							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		22,199	(そ) 出版物売却代 500千円 (そ) 諸収入 21千円 (そ) ふるさと基金繰入金 1,000千円							
	国庫支出金		0								
	県支出金		0								
	地方債		0								
	その他		1,521								
	一般財源		20,678								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	8	11	1	3,843 0	歴史研究所調査研究事業費
2	1	10	5	8	11	2	1,213 0	歴史研究所教育事業費
3	1	10	5	8	11	4	1,420 0	市誌編さん事業費
4	1	10	5	8	1	3	15,723 0	会計年度任用職員人件費
5								
6								
7								

遠山郷学園における小学校の再編に向けた基本方針

令和7年8月

飯田市
飯田市教育委員会

1 基本的な考え方

(1) 遠山郷学園内の小学校の配置検討の視点

- ア 上村・南信濃地区の急激な少子化の進行による教育環境の変化に関する地域の皆さんの危機意識を受け止め、「学校は児童生徒の豊かな学びと成長を保障する場」であるとの認識に基づき、児童生徒をまんなかにおいて、児童生徒にとってよりよい学びの環境の整備と安全で安心な教育環境の確保をめざして取組を進めます。
- イ 「学校は地域の将来の担い手や支え手となる人材を育む場」でもあることにも留意し、関係する方々が手を取り合って再編に向けた取組を進めることができるよう、学校・地域・家庭との対話を通じて合意形成を図ります。

(2) これからの学校のあり方に関する審議との関係性

児童生徒数の減少や施設の老朽化が喫緊の課題となる地域の学校のあり方検討については、学園地域の課題感や危機意識の状況を見定めながら、地域や保護者の皆さんと協働して学園内の学校のあり方を検討していく方針であり、遠山郷学園内の小学校の再編に関しては、先行的取組として、市域全体における学校のあり方の審議と同時に進めていきます。

2 5つの基本方針

(1) 小学校の体制の移行について

ア 基本方針

児童の豊かな学びと成長を保障し、グランドデザインに基づく教育をより効果的に実践するため、遠山郷学園内の学校体制を、現在の1中学校2小学校体制から1中学校1小学校体制へ移行します。

イ 課題認識及び方針

- 上村地区における小規模特認校制度や地域を挙げての児童生徒への支援、南信濃地区におけるやまぎと親子留学などの教育移住に関する取組の成果が発現してきているものの、保護者の皆さんや地域の皆さんが抱く先行きに対する不安を解消するには至っていません。
- 現在の上村・和田両小学校における教育環境は、個に応じた指導がしやすいことや異学年間の交流が生まれやすいメリットがある一方で、人間関係の固定化や学校行事などの実施に難しさが生じ、児童生徒の発達を多面的・多角的に評価する機会が少ないといったデメリットも生じています。また、学級数が減少し複式学級となることで、教員の配置数が減り校務遂行が難しい面もあります。
- 上村保育園と和田保育園の合同保育が行われ、幼少期におけるこども同士の関係性が育まれてきていますが、小学校入学に伴い通学区の定めにより通学する学校が2校に分かれることで、合同保育で構築したこどもや保護者の関係性が一旦途切れてしまう課題があります。

- こうした課題を可能な限り克服し、不安を縮減し、児童の豊かな学びと成長を保障し、ランドデザインに基づく教育をより効果的に実践するため、遠山郷学園内の学校体制を、現在の1中学校2小学校体制から1中学校1小学校体制へ移行します。

(2) 活用する学校施設について

ア 基本方針

学校施設の安全性に鑑み、再編後の小学校は、現上村小学校の施設を利用します。

イ 状況認識及び方針

- 上村小学校の校舎及び体育館並びに和田小学校の教室棟以外の施設は、国の改築目安とされる築後50年を経過しており、建築年の面からは、上村小学校が和田小学校に比して安全性が高いと言えます。
- 和田小学校は、体育館の一部が土砂災害特別警戒区域に指定されているほか、教室棟、体育館の全部及びグラウンドの半分程度が土砂災害警戒区域に指定されています。一方、上村小学校は、校舎の東側の一部が土砂災害特別警戒区域に指定されているほか、校舎及び体育館の一部は土砂災害警戒区域に指定されているものの、体育館の大部分及びグラウンドは指定区域外であり、和田小学校に比して土砂災害に対する安全性は高いと言えます。
- 建設後の経過年数、防災面から見た学校施設の安全性に鑑み、現和田小学校施設の学籍、財産などを継承する小学校施設は、現上村小学校の施設とすることが妥当と判断します。

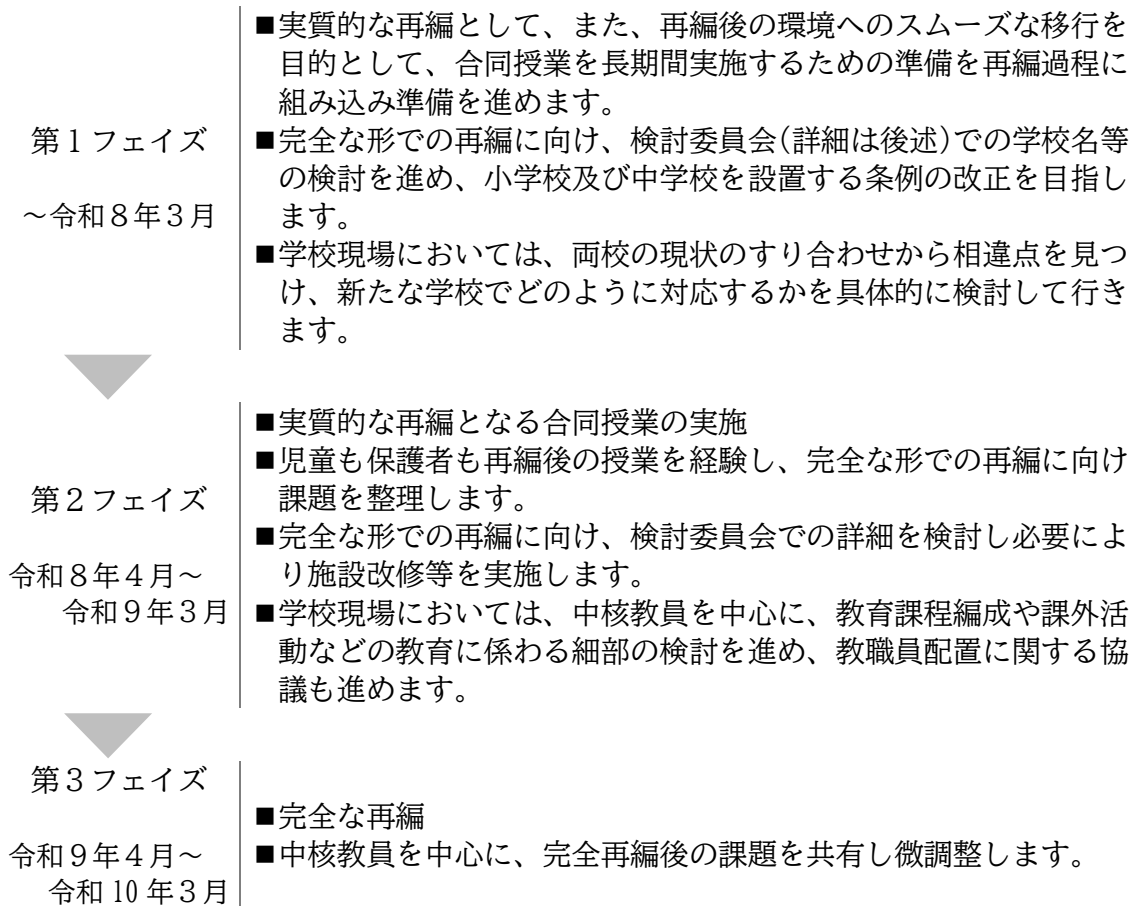
(3) 児童生徒をまんなかにおいた再編過程について

ア 基本方針

上村小学校と和田小学校の児童がともに学習する環境を可能な限り早期に実現する観点から、令和8年4月から実質的な再編となる合同授業を実施しつつ、令和9年4月の完全再編に向けて取り組みます。

イ 課題認識及び再編過程

- 保護者アンケートでは、「児童が環境変化についていけるか心配」、「児童の居場所である学校の環境変化が児童に及ぼす影響への心配」、「戸惑い等を表現できない児童もいることへの配慮が必要」などの意見があり、新たな学校生活へ円滑に移行することができるよう、保護者と学校がともに再編後の学級や授業のイメージを相互に共有するとともに、児童同士の相互理解を深めることに時間をかける必要があります。
- 再編に向け学校現場では、教育課程編成・授業づくり、学校行事や特別活動の調整、日課・清掃・給食といった学校生活、施設や備品の整備、その他学務に関する調整などを、日常的な教育活動とは別に進める必要があり、できる部分から検討や対応を進めるとしても、現状の児童の授業や学校生活への影響を最小限に抑えながら、新たな教育環境の構築に向けた検討や作業を進めるには一定程度の時間が必要です。
- 上記した事情はあるものの、保護者の意見を踏まえ地域一丸となってまとめていただいた要望内容を真摯に受け止め、上村小学校と和田小学校の児童がともに学習する環境を可能な限り早期に実現する観点から、令和8年4月から実質的な再編となる合同授業を実施しつつ、以下の再編過程を経て、令和9年4月の完全再編を目指します。



(4) 小規模特認校指定の継続について

ア 基本方針

再編後の小学校もこれまでと同様に小規模特認校に指定します。

イ 課題認識及び方針

- 遠山郷学園内の学校及び学園地域が一体となって取り組んできている小規模特認校制度は、教育移住の促進による児童生徒数の維持・増加に向けた重要な取組で、遠山郷学園の特色と魅力を高める最も重要な取組であり、再編後の小学校においても継続します。
- なお、令和7年度から導入している遠山中学校の小規模特認校指定も継続します。

(5) 再編の推進体制について

ア 基本方針

再編を円滑且つ確実に実施していくため、遠山郷学園小学校再編検討委員会を設置し、検討・協議事項や決定事項は多様なメディアで随時発信し周知します。
遠山郷学園内の児童(生徒)の声を聴き、再編後の学校生活に生かしていくよう検討します。

イ 遠山郷学園小学校再編検討委員会

- 遠山郷学園内の小学校の再編を円滑に推進するとともに、再編に伴い設置される学校の開校に向けた総合的な検討及び関係者との調整を行うため、遠山郷学園小学校再編検討委員会(以下「検討委員会」という。)を設置します。
- 検討委員会では、以下の事項について意見を交換し、その結果を飯田市教育委員会(以下「教育委員会」という。)へ報告いただきます。
 - ・校名に関すること。
 - ・校歌及び校章に関すること。
 - ・学校運営方針及び学校行事に関すること。
 - ・教育課程再編、学級編成に関すること。
 - ・通学路及び通学方法に関すること。
 - ・PTA組織及び児童会組織に関すること。
 - ・前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事項
- 検討委員会の委員は、以下の方々の中から17名以内で、教育委員会が委嘱します。
 - ・遠山郷学園内の小学校及び未就学児保護者を代表する者
 - ・遠山郷学園内の小中学校長
 - ・上村及び南信濃両地区まちづくり委員会を代表する者
 - ・上村及び南信濃両地区の公民館長
 - ・前各号に掲げる者のほか、教育委員会が必要と認める者
- 意見交換をする事項が多岐にわたるため、以下の3つの部会を設けて検討します。
 - ・校名や校歌及び校章に関する協議をする「校名等検討部会」
 - ・通学路及び通学方法について協議をする「通学等検討部会」
 - ・教育課程再編や学級編成、学校運営方針や学校行事、PTAや児童会組織など学校現場で検討事項を共有する「校務等調整部会」
- この検討委員会の庶務は、教育委員会事務局教育政策課が行います。

3 今後のスケジュール

	令和7年度												令和8年度												令和9年度		
	令和7年												令和8年												令和9年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
基本方針の策定(体制・施設・時期等)	検討・協議					確定																					
魅力ある学校づくり																											
校名										検討、合意形成																	
校歌・校章・校則										検討、周知、合意形成																	
教育課程編成・時間割 (複式解消・学習進度調整を含む)										検討、県教委協議(随時)																	
学校行事 (地域行事との調整を含む)										検討、地域(公民館)等との合意形成																	
学級編成・教室配置 (備品配置等を含む)										検討																	
給食対応										検討																	
通学対策										検討、合意形成																	
PTA・児童会再編										検討、周知、合意形成																	
合同授業(児童ケアを含む)										検討																	
長野県教育委員会との協議										必要により随時協議																	
設置条例の改正										必要により報告・説明 (市議会・教育委員会等)																	
通学区の見直し										必要により報告・説明 (市議会・教育委員会等)																	
施設の環境整備										環境整備検討・合意形成																	
引っ越し																											
閉校・開校式典等										検討																	

実質的な再編 合同授業の実施

完全再編

遠山郷学園小学校再編検討委員会設置